



【参考資料1】
都市型の生活支援ネットワークの普及展開モデル案

都市型の生活支援ネットワークの普及展開モデル案 目次

1. 課題認識と普及展開モデルの基本構図
2. モデル展開可能な地域のイメージ
3. モデルに必要な機能とフロー
4. 機能を実現する多様な主体によるネットワーク
5. ネットワークの核となる世話役
6. ICTによる世話役の情報共有の考え方
7. 想定される支援の形
8. 地域の課題解決力を向上させるプロセスとその支援
9. 地域のつながりづくりとそれを推進する地域のコーディネーターの役割
10. 第2層協議体を活かした横展開の考え方

1. 課題認識と普及展開モデルの基本構図

- フレイルが生じる大きな要因として、社会性の低下があるため、居場所等社会参加の場への誘導によるフレイル予防が、生活支援ニーズへの対応の際に一体的に行われることが重要である。

フレイル予防システム（地域の高齢者の社会参加等の促進）

一人暮らし
ご老人

家族同居の
ご老人

参加者拡大

日常生活の支え合いや
地域参加
勧誘のノウハウ蓄積!!

地域の様々な活動への参加
(何らかの役割も期待)

居場所
サロン、食事会、
イベント、
ボランティア活動
困りごと対応など
...

閉じこもり
の防止
(社会性の維持)
(評価指標)

生活支援システム（地域住民、地域事業者による支え合い）

非参加者

閉じこもり状態
(ゴミ屋敷等の
状況を含む)

生活支援・介護サービスの
提供或は社会復帰へ

二次予防（行政・プロによる介入）

2. モデル展開可能な地域のイメージ

- 本調査で構築したモデルの展開を進めるにあたっては、下記のような課題を持つ、高度経済成長期に開発され、住宅購入によって一斉に居住開始した住宅地を含むような都市近郊地域との相性が良いのではないかと考えられる。

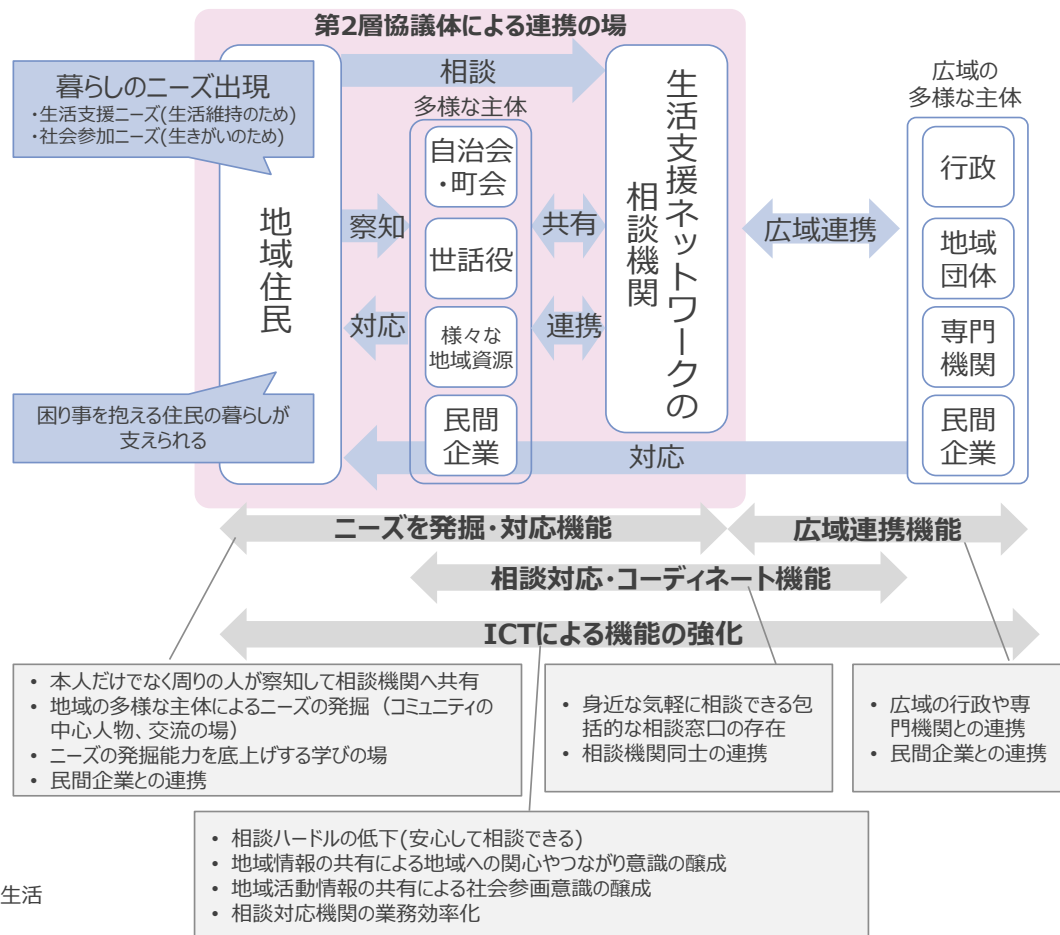
本モデルの適用にあたっての地域の要件

- 今後フレイルが進行する団塊の世代を中心に急速に高齢化が進むなど、介護予防・生活支援に強い課題認識が芽生えやすい地域
- 協議体や生活支援コーディネーターの活動が行き詰っている地域
- 住民主体の地域づくりや互助を進めたいが、なかなか進まない高齢福祉にとどまらない、多世代の地域づくりをすすめたい地域
- 自治会・町会等地縁組織や住民主体の活動（サークル等）が多少ある地域（一方いづれもないような地域でのゼロからの立ち上げや再構築には不向きと考えられる）
- 住民の一定の情報リテラシーがある地域（地域データを使った勉強会やスマホ活用が行われている等）

3. モデルに必要な機能とフロー

- 都市部における支え合いのシステムは、日常生活圏域において、地域住民や生活支援組織ネットワークの相談機関、およびその他多様な主体が連携しながら、下図に示す機能を持つことが必要である。

都市型生活支援システムに求められる機能とフロー

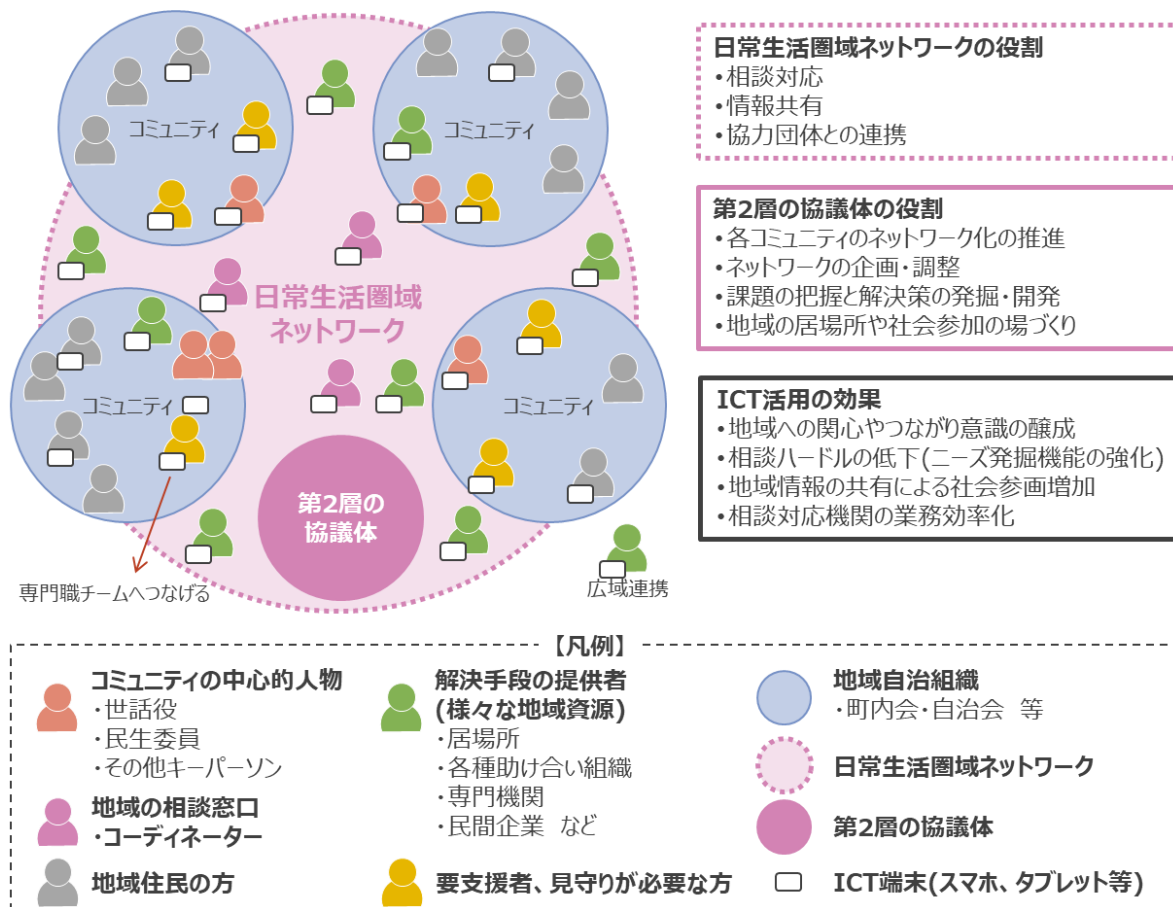


出典：NTTデータ経営研究所,ICTを活用した都市型の生活支援ネットワークに関する調査研究事業（令和3年度）

4. 機能を実現する多様な主体によるネットワーク

- 日常生活圏域のネットワークは、地域の自治会や趣味の集まりなどのコミュニティを、地域の相談窓口やコーディネーターが第2層の協議体を活かしつつ構築する。
- コミュニティの中心的人物（世話役等）が、ネットワーク構築においても重要な役割を果たす。

都市型生活支援ネットワークの関係図



出典：NTTデータ経営研究所,ICTを活用した都市型の生活支援ネットワークに関する調査研究事業（令和3年度）

5. ネットワークの核となる世話役

- 世話役には、地域づくりを担う組織と住民とのつながりを促進することが求められる。

地域の様々な関係者が世話役となり、世話役同士がつながれる体制づくり

- ・ 町会ごとの状況やニーズに応じた体制づくり
- ・ 民生委員（OBOG含む）や商店会・民間企業との連携
- ・ サロン等の小さなコミュニティとの連携

世話役の役割

地域の困りごとや
ニーズを見つけた時

地域の関係者から
相談があった時

交流や活動につながる
お知らせがある時

地域の窓口や民生委員、
地域の世話役に
気軽に相談する
(個人情報には留意)

手助けや情報提供
できそうなこと
があれば、伝える

活動内容や状況を
具体的に知らせる
世話役は身近な人に
伝える・誘い合う

困りごとの早めのキャッチと対応、様々な活動への参加が促進され、
地域全体のフレイル予防・事態の悪化の防止につなげる

6. ICTによる世話役の情報共有の考え方

- 例えばアプリを活用することで、簡単に世話役同士の情報共有ができるようになる。

世話役同士がつながれるアプリ



地域の困りごとや
ニーズを見つけた時

世話役から
相談があった時

交流や活動につながる
お知らせがある時

窓口や世話役への個別連絡、
グループ内での情報交換ができる

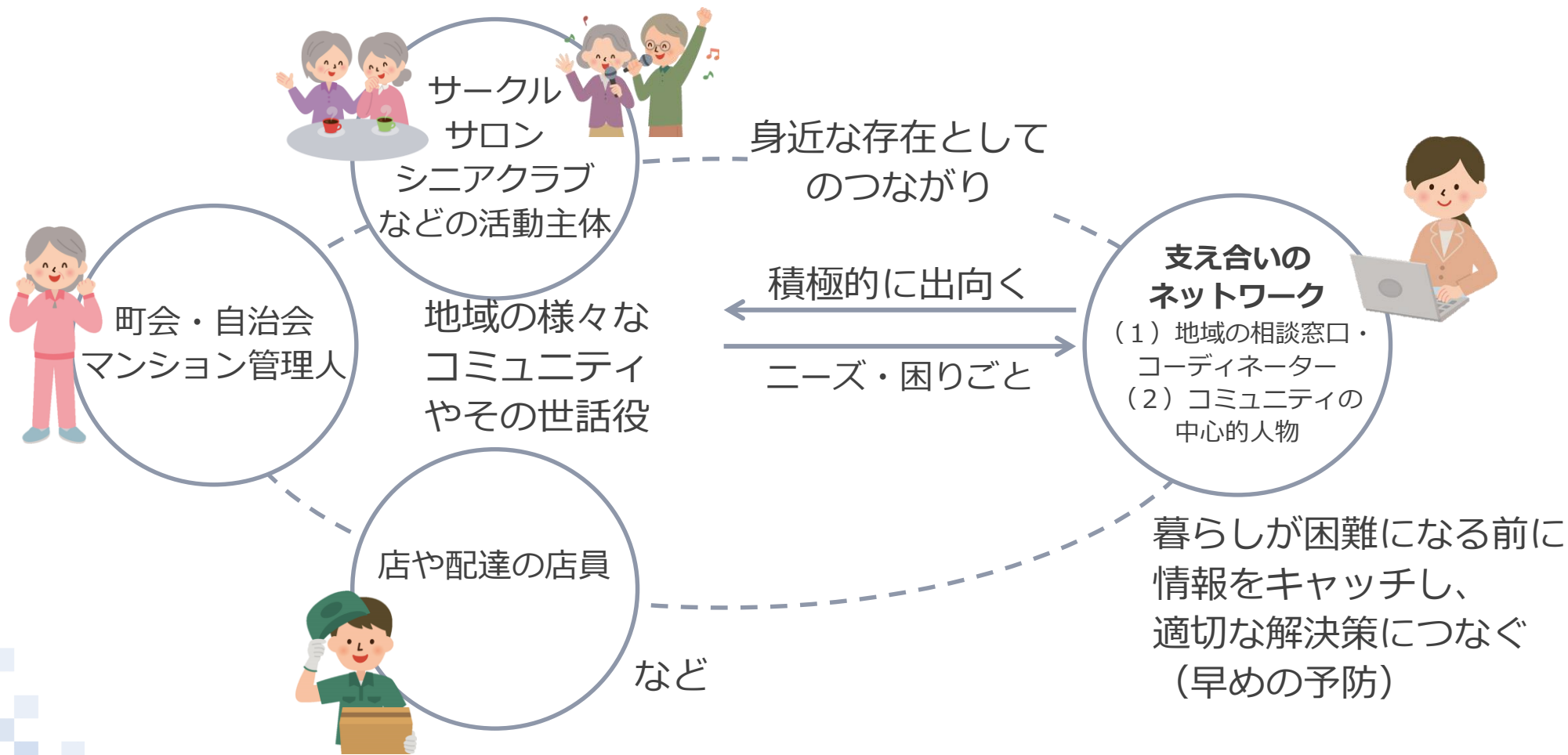


掲示板でお知らせできる
様々な地域の活動を
知れる



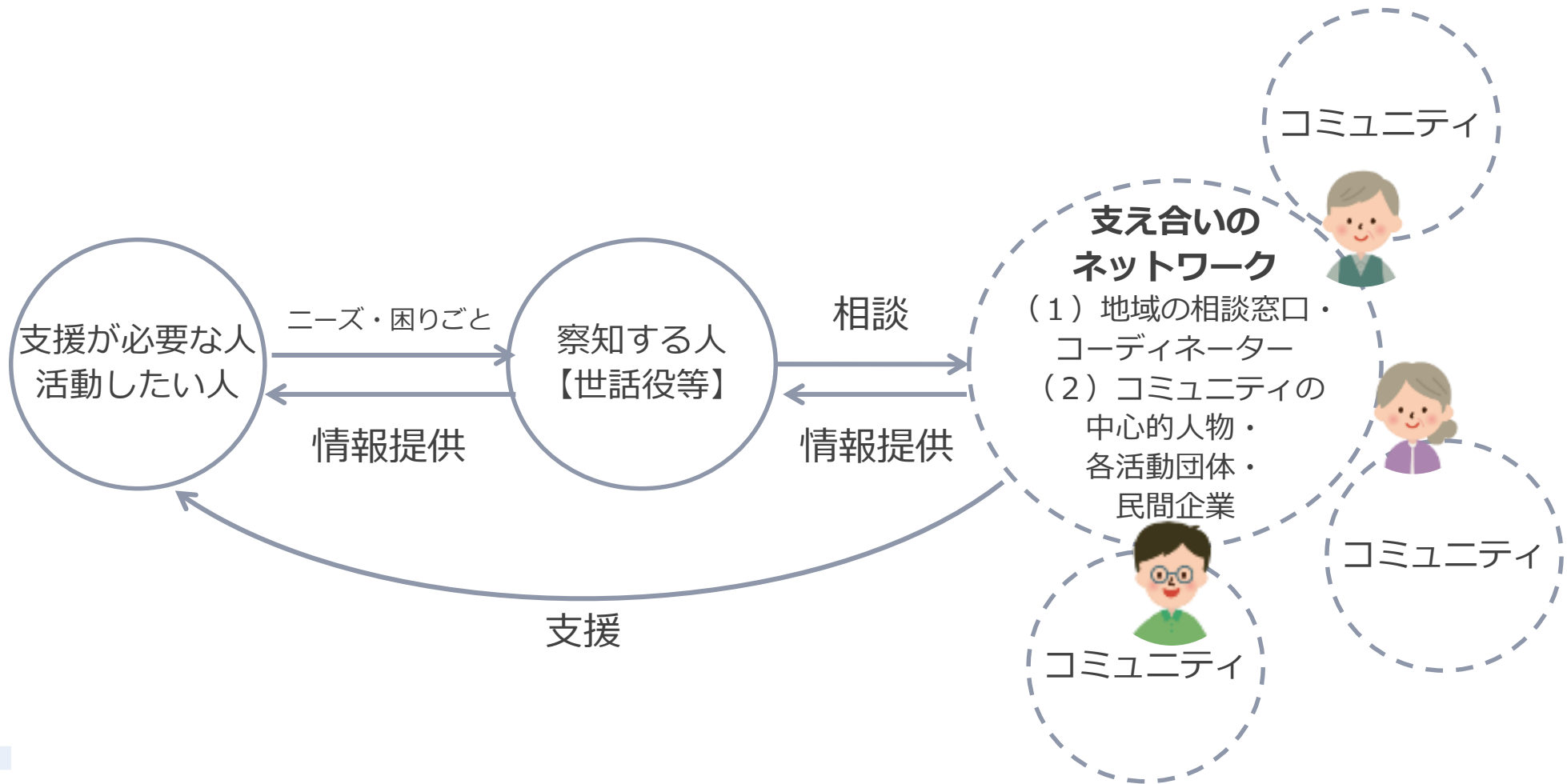
7. 想定される支援の形 ① 困りごとの早めのキャッチ

- 地域の様々なコミュニティと相談窓口が身近につながることで、困りごとを早めにキャッチできる。



7. 想定される支援の形 ② 支援や情報の提供

- 地域のネットワークの人脈・情報を活かすことで、役立つ支援や情報の提供が可能となる。



7. 想定される支援の形 ③オンラインを活用した交流の維持

- 外出しづらい人も時々オンラインで会えれば、相談したり、異変に気づいたりしやすくなる。
- 出かけにくい高齢者には、サロン等にオンラインで参加してもらうのも一案。



8. 地域の課題解決力を向上させるプロセスとその支援

昔ながらの地域は…

- ・住民同士の顔が見える関係
- ・暮らしのニーズや困りごとに自然に気づける
- ・助け合いが当たり前（自分達でできることは解決）

都市部の特徴

- ・住民同士の顔が見えづらい、名前も知らない
- ・暮らしのニーズや困りごとに気づきづらい
- ・自然な助け合いが生まれにくい
(地域の課題解決力が相対的に低い)

都市部では、**地域の課題解決力を上げるための“仕掛け”**がより重要
(行政の役割・責任)

地域の課題解決力を向上させるプロセス

住民が、社会参加の必要性に**気づく**

社会参加の機会や方法を知る

参加してみる/やってみる

地域住民と**顔見知り**になる

人間関係が**構築**される

住民同士でニーズ/困りごとに**気づく**

コミュニティ内で**解決**する

コミュニティ外で**解決**する

AARサイクル*によるアジャイル的な発展

住民・コミュニティへの働きかけ

※都市部では場面に応じたICTの活用が有効

動機付け (フレイルの学び等)

情報提供 (地域での活動機会等)

誘い合い促進/立上げ支援
(コーディネート)

場づくり支援

啓発
事例や資源の共有
場づくり支援

相談される関係構築,
課題解決支援・コーディネート

地域の实情に応じた、コーディネーター等を配置し取り組む

行政の役割

資源のマネジメント

ヒト

SC・世話役等の配置, 育成

カネ

人件費, 活動費確保 (情報共有ICTインフラ費用含む)

情報

地域課題・資源, 事例・ノウハウの共有, 啓発

サービス

公的サービス整備

制度・仕組みの整備

制度

生活支援体制整備
重層的支援体制整備
総合事業 等の活用

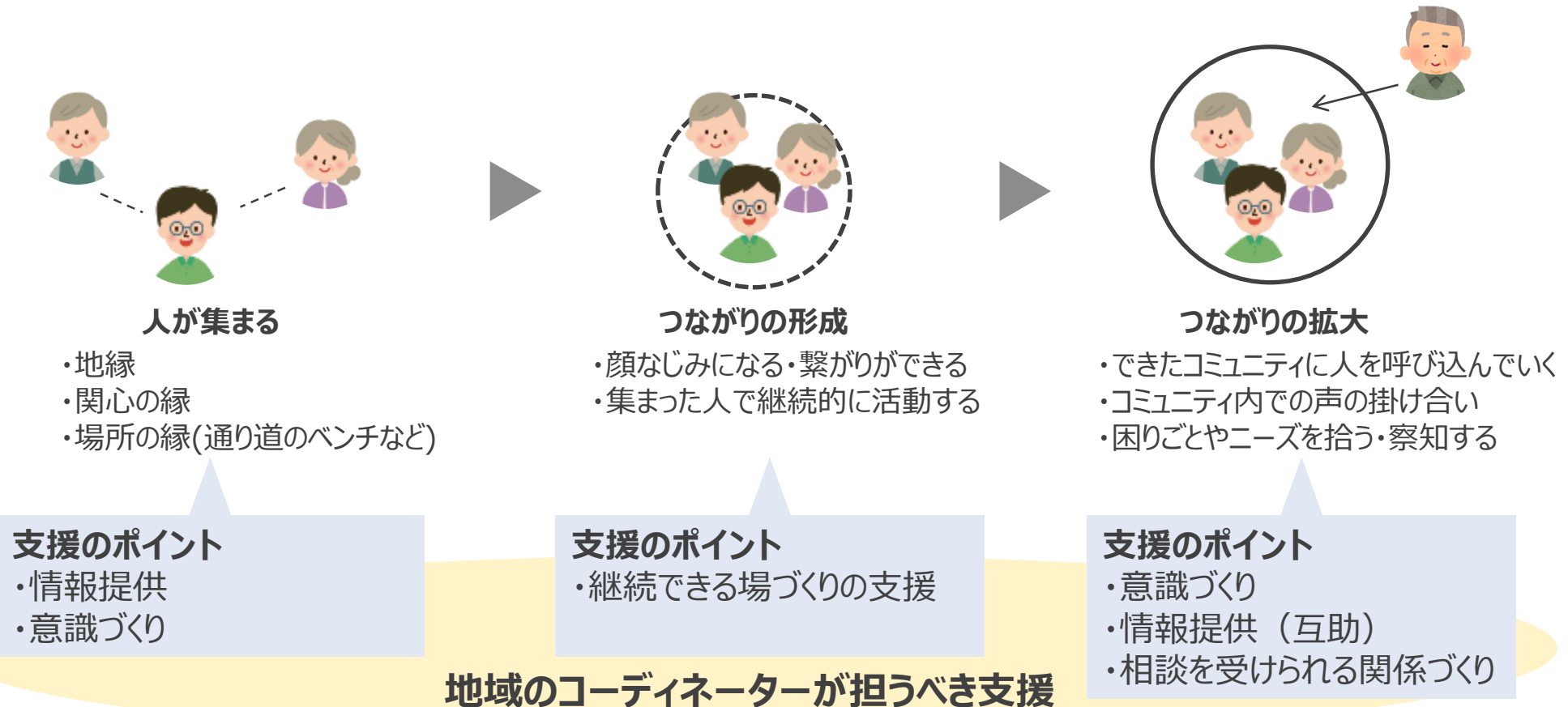
仕組み

地域課題・資源の把握
住民・関係者との対話
PDCA (継続的改善)

*AARサイクル：見直し（Anticipation）、行動（Action）、振り返り（Reflection）を繰り返すことで、地域づくりを進めるという考え方

9. 地域のつながりづくりとそれを推進する地域のコーディネーターの役割

- 困りごとやニーズをキャッチするためには、「いつもとは違う」という違和感に気づくことが重要であり、普段から顔なじみのつながりやコミュニティをつくっておくことがポイント。
- つながりが希薄な都市部においては、地域のコーディネーターの支援が重要となる。



10. 第2層協議体を活かした横展開の考え方

- 取組みの横展開を図るためには、第2層の協議体が核となり、小地域・コミュニティへの支援を実施すると共に、その取り組みを第2層の協議体で他コミュニティに共有することが重要となる。



小地域・コミュニティ

③活動の活性化

- ・ フレイルについての学び
- ・ 地域データの共有
- ・ つながりづくり
- ・ 学び・気づきからの行動

第2層協議体

①広域的な検討

- ・ 日常生活圏域の課題の抽出・共有
- ・ 対策の検討・実行支援

地域の他のコミュニティ

⑥実情を踏まえた取組み

「さんあいネットワークアプリ」利用ガイドライン（案）

2022年11月10日

1. 基本方針・原則

- (1) 「さんあいネットワークアプリ」（以下、「本アプリ」という。）は、豊四季台地域さんあいネットワークの効果や効率を高め、地域の支えあいを推進することを目的としています。（豊四季台地域さんあいネットワークについては、別紙の運用マニュアルを参照ください。）
- (2) 本ガイドラインでは、本アプリを利用する皆様に守っていただきたい指針やルール、マナーについて定めています。
- (3) 本ガイドラインの内容は、豊四季台地域ささえ愛実行委員会（以下、「実行委員会」という。）が策定、変更又は廃止を行います。

2. 本アプリの利用者

- (1) 本アプリは、豊四季台地域の支え合いに協力する関係者が利用できます。
- (2) アプリの利用登録及び利用者情報の管理は、豊四季台地域ささえ愛実行委員会の事務局を担う柏市社会福祉協議会（以下、「アプリ管理事務局」という。）が行います。
- (3) 新しい利用者の追加、利用者情報の変更又は削除の要請は、アプリ管理事務局にご連絡ください。
- (4) 本ガイドラインに沿わない利用をされる方、又はそうした利用が想定される方については、アプリ管理事務局が本アプリの利用を制限することがあります。

3. 本アプリの活用方法

本アプリの利用者は、地域の困りごとやニーズを見つけたり、それに対応するための情報共有をしたりするなど、いわば地域の世話役として地域の支えあいに取り組みます。こうした取組を通じて、地域住民の暮らしが困難になる前に早めに困りごとの情報をキャッチして必要な対応につなげること、多様な社会資源の情報が共有されて誰もが社会参加や社会とつながる機会を持つことを目指します。具体的には、アプリ利用者は本アプリを使った以下のような取組に協力します。

- (1) 身の回りの人の生活上の困りごとや必要としている情報などのニーズをキャッチしたら、アプリのトーク機能や通話機能を使って、気軽に相談することができます。（個人情報の取り扱い方については第4項を参照ください）
- (2) 相談する際は、相手を指定して個別に連絡する方法と、特定のグループに所属するメンバーに一斉に連絡する方法があります。

<相談先の選び方>

- ・ 福祉全般に関する専門的な相談・・・豊四季台ちいき♡いきいきセンター
- ・ 高齢者の介護や介護予防・生活支援に関する専門的な相談・・・柏西口地域包括支援センター
- ・ UR 団地に関する相談・・・UR 生活支援アドバイザー
- ・ その他の相談は、上記の窓口とも適宜相談しつつ、内容に応じて相談先を検討してください。

- (3) アプリ登録者からの相談を受けた際に、少しでも手助けや情報提供ができそうなことがあれば、返信をしましょう。グループトーク上で相談を受けた場合は、グループ内で返信することで一斉に情報を共有することができます。
- (4) 地域住民の外出や社会参加の促進、交流につながる場や活動の情報は、アプリのカレンダー機能でお知らせすることができます。アプリ利用者は、アプリを通じて知った地域の様々な活動の情報を広く周知したり、居場所や社会とのつながりを必要とする身近な人に積極的に伝え、誘い合うことで、外出や社会参加を促しましょう。
- (5) アプリ利用者幅広く知らせたい情報は、掲示板機能でアプリ利用者に周知することができます。
- (6) アプリを利用者で特定のグループをつくり、情報共有をすることができます。例えばささえ愛実行委員会の日程や、議事など、団体内の運営事務に必要な情報共有・連絡の手段としても利用できます。

- (7) その他、本アプリの目的・趣旨に沿った活用をすることができます。本ガイドラインに定めのない活用方法の相談や提案は、アプリ管理事務局までご連絡ください。
- (8) アプリ管理事務局は本アプリの利用状況を定期的に確認し、利用の概況を実行委員会に報告します。

4. 個人情報・機密情報・第三者の権利の保護

- (1) 本アプリでは、個人情報の保護の観点から、他人の個人情報を本人の同意なくトークや掲示板で投稿することはできません。ただし、緊急で支援を必要とする状況等においては、さんあいネットワーク窓口から個人情報をおたずねする場合があります。
- (2) 他人の著作権や肖像権、商標権などの第三者の権利を尊重し、他の人が投稿した写真や文章を、投稿者本人の同意なく本アプリとは別の媒体で使ったり投稿したりしないでください。

5. 禁止事項（してはならないこと）

- (1) 【誹謗中傷の禁止】特定の個人や集団、民族、思想、信条、宗教、政治等への蔑視や侮辱、名誉毀損、攻撃的・差別的・性的・排他的な表現や発言を行わないでください
- (2) 【真偽不明の情報発信の禁止】その真偽を確認できない情報を発信しないでください。
- (3) 【個人 ID、パスワードの第三者共有の禁止】ご自身の登録 ID、パスワードは第三者に共有しないでください。また、お使いのスマートフォンを廃棄される場合には、忘れずに本アプリも削除してください。

6. 非推奨事項

- (1) 本アプリでは投稿されると皆様のスマートフォンに通知が届き、場合によっては音や振動がなります。そのため、早朝や深夜など、他の方の迷惑になりそうな時間帯での投稿はやめましょう。また、さんあいネットワーク窓口は、営業時間内での対応となりますので、時間外での連絡をされた場合、返信は翌営業日となります。
- (2) 豊四季台地域の支え合いの取組みとはかけ離れている話題については、大人数でのトークの場や掲示板への投稿はやめましょう。
- (3) 本アプリで保存できるデータの容量は限りがあるので、動画などのデータ容量が大きいものは投稿しないようにしましょう。写真などの画像データは基本的に問題ありませんが、似たような写真を大量に投稿することなどはやめましょう。
- (4) 本アプリの利用にかかる通信費用は、利用者ご本人の負担となります。特に写真の投稿やビデオ通話は、消費するデータ量が多いため、Wi-Fi（ワイファイ）環境で実施することをおすすめします。

7. 問い合わせ先

アプリ管理事務局は、豊四季台地域ささえ愛実行委員会の事務局を担う柏市社会福祉協議会が担います。アプリ利用者情報の登録・変更・削除の他、アプリ利用や本ガイドラインに関することについては、アプリ管理事務局までお問い合わせください。

豊四季台地域いきいきセンター（豊四季台地域さんあいネットワーク事務局）

電話：XX-XXXX-XXXX

時間：午前10時～午後4時

開所日：毎週 火・水・金（※日・祝日・年末年始は休み）

以上

豊四季台地域 ささえ愛実行委員会

**さんあいネットワークアプリ
(LINE WORKS)
導入説明書**

**2022年 10月 6日
NTTコミュニケーションズ株式会社**

本日はさんあいネットワークアプリが使える状態になるまでの作業を実施します。

不明点があれば随時近くのサポート係までお声掛けください。

◆本日導入するスマホアプリ



◆本日の作業の内容

Wi-Fiの設定



アプリのダウンロード

※既にLINE WORKSを他の活動で利用中の方はダウンロード不要



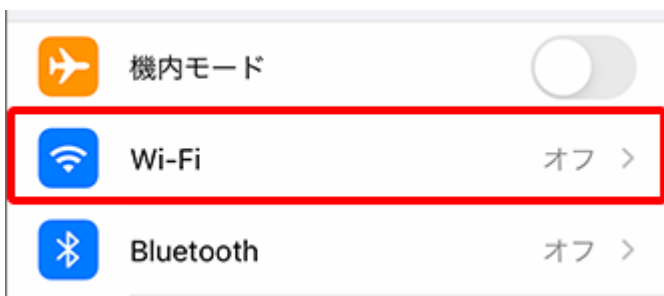
アプリのログイン

<iPhoneの方>

① アプリ「設定」を押す



② 「Wi-Fi」を押す



<Androidの方>

① アプリ「設定」を押す



※機種によってアイコンの
デザインが異なります



② 「Wi-Fi」を押す

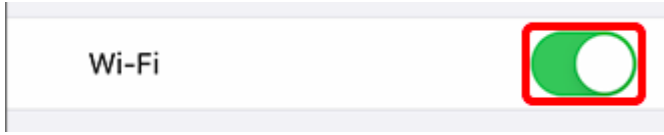


※機種によって「Wi-Fi」の項目が
ない場合は「ネットワークとインター
ネット」や「インターネット」などの項目を
押して下さい

次のページへ続く

<iPhoneの方>

③ Wi-Fiを「ON」にする

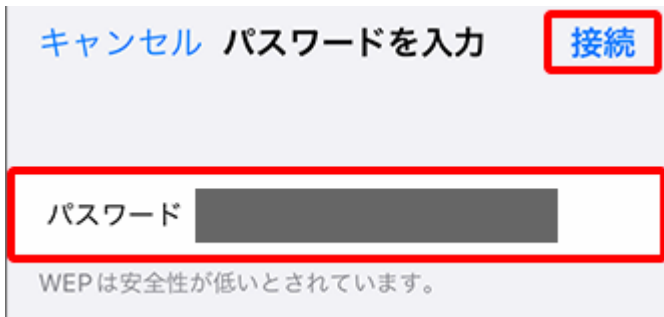


④ Wi-Fiを選択する

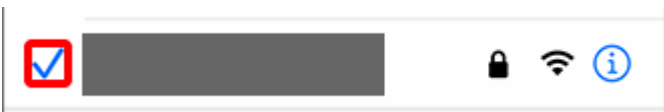
※別紙に記載のWi-Fiを選択



⑤ パスワードを入力し「接続」を押す



⑥ ✓マークがつけば完了



<Androidの方>

③ Wi-Fiを「ON」にする



④ Wi-Fiを選択する

※別紙に記載のWi-Fiを選択



⑤ パスワードを入力し「接続」を押す



⑥ 「接続されました」と表示されれば完了

既にLINE WORKSを「ダウンロードされている方」「別の活動で使われている方」はアプリを起動してP8へ進んでください

<参考> : アプリのアイコン

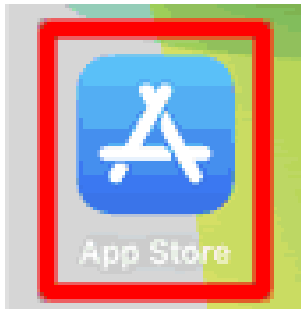


※LINE（ライン）とは別物です。
LINE WORKSアプリのダウンロードされているか
ご確認ください。

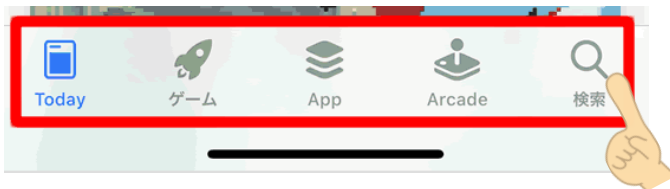
LINE WORKSを初めてダウンロードする方は次のページ（P6）へ進んでください

<iPhoneの方>

① アプリ「App Store」
を押す

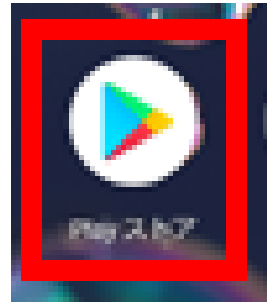


② 画面下の「検索」を押し
検索の欄を押す



<Androidの方>

① アプリ「Play ストア」
を押す



② 画面上の検索の欄を押す



③ 「ラインワークス」と入力し、検索結果から

 アプリを選択する（押す）

<iPhoneの方>

④「インストール」を押す

※「入手」と表示されている場合は入手を押す



<Androidの方>

④「インストール」を押す



⑤「インストール」が「開く」になったら 「開く」を押して下さい



⑥アプリが開いたら画面下の「ログイン」を押す



ガイドはこちら



P9へ進んでください

①画面右下の「その他」を押す

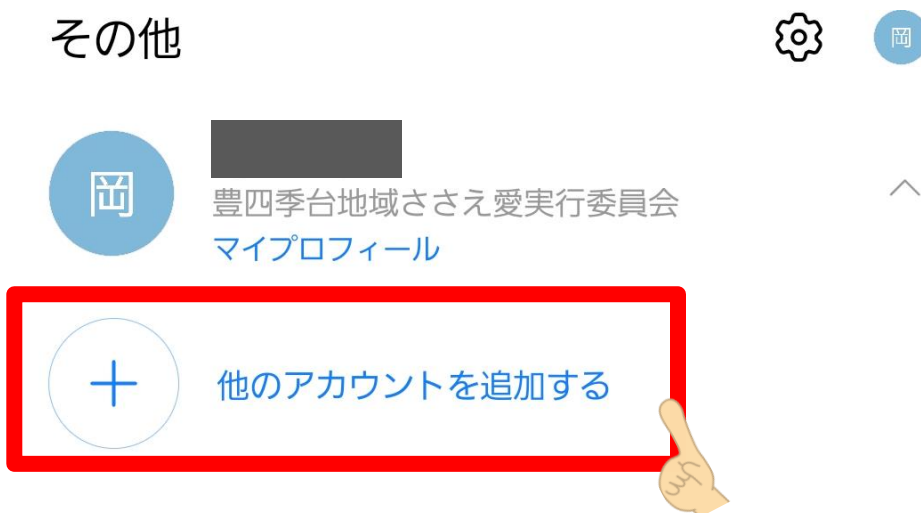


②画面右上の「」ボタンを押す



※「」が表示されていない方は右上の●を押して下さい

③「他のアカウントを追加」を押す



以下の画面が表示されていますでしょうか

×

LINE WORKS

IDでログイン	携帯番号でログイン
---------	-----------

id@company.comまたはid@group

ログイン

ID・パスワードの確認

または

 LINEでログイン

①入力画面を押してご自身のIDを入力し「ログイン」を押す

LINE WORKS

IDでログイン	携帯番号でログイン
---------	-----------

kanri02@sasaeai ×

ログイン

②パスワードを入力し、「ログイン」を押す

LINE WORKS

kanri02@sasaeai

..... 👁

ログイン

③ご自身でパスワードを決めて入力してください。(2回入力が必要)

パスワードを変更してください。

■■■■■ (kanri02@sasaeai)

パスワードの難易度: 半角英数字の組み合わせ
パスワードの長さ: 8文字以上
パスワードの有効期限: 365日
パスワードの再使用禁止: 制限なし
連続する3つの英数字は使用できません。(例: aaa, 111, abc, 123)

パスワード変更

ご自身の名前が表示
されていますか？

◆パスワード メモ欄

④「OK」と「規約に同意してサービスを利用する」を押す

規約に同意してサービスを利用する

同意しない(ログイン画面に移動)

⑤「あとで見る」を押す



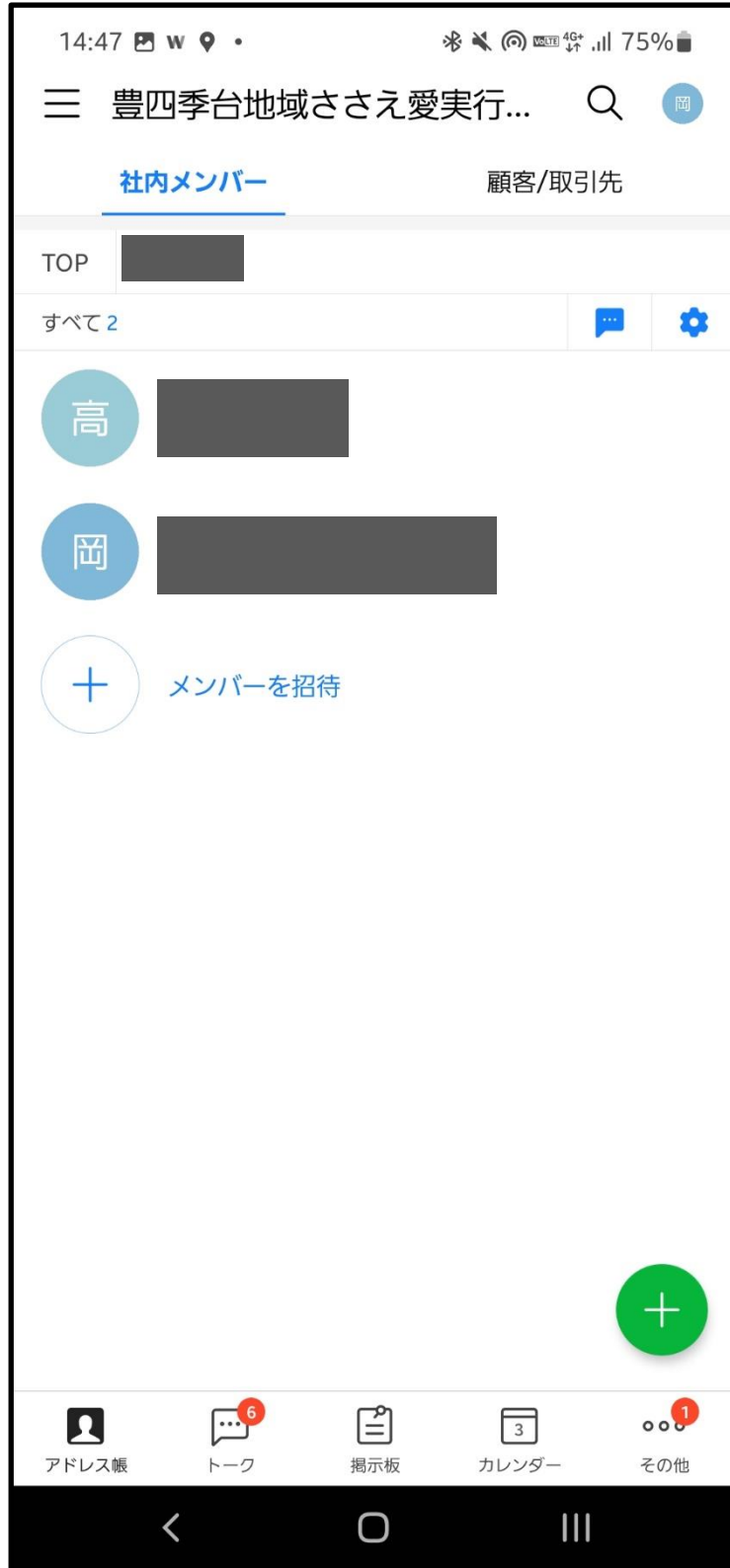
LINE WORKSの登録
ありがとうございます。

まず簡単にLINE WORKSで
どんなことができるかをご紹介します！

何ができるの？

あとで見る

以下のような画面が出ていますでしょうか。

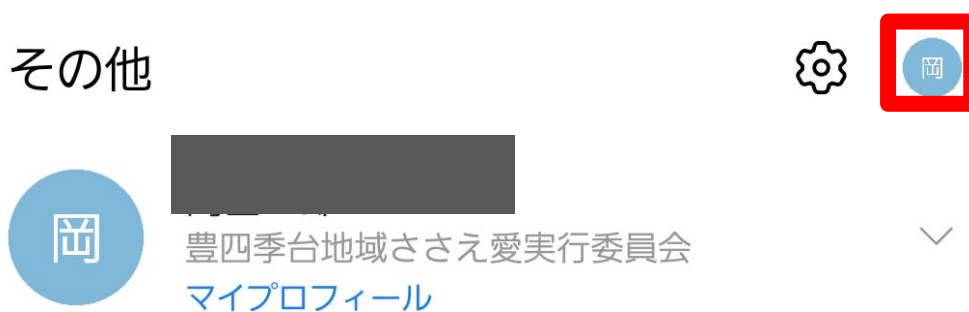


以下のような手順でアカウントを切り替えることができます。

①画面右下の「その他」を押す



②画面右上の「●」ボタンを押す



③切り替えたいアカウントを押す



詳しい操作方法につきましては、11月のささえ愛実行委員会にて操作説明会を実施いたします。

また、11月のささえ愛実行委員会までの間、試験的にメッセージやお知らせをこちらのアプリにて配信します。

画面下の「トーク」または「掲示板」に情報を配信しますので、是非見てみてください。



※LINE WORKSからの通知が届くことがあります。

★お問い合わせ先

NTTコミュニケーションズ株式会社 ウェルネス担当

※サポート対応時間：(月～金) 9:30～17:00

さんあいネットワークアプリ LINE WORKS 活用説明書

2022年 11月 10日
NTTコミュニケーションズ株式会社

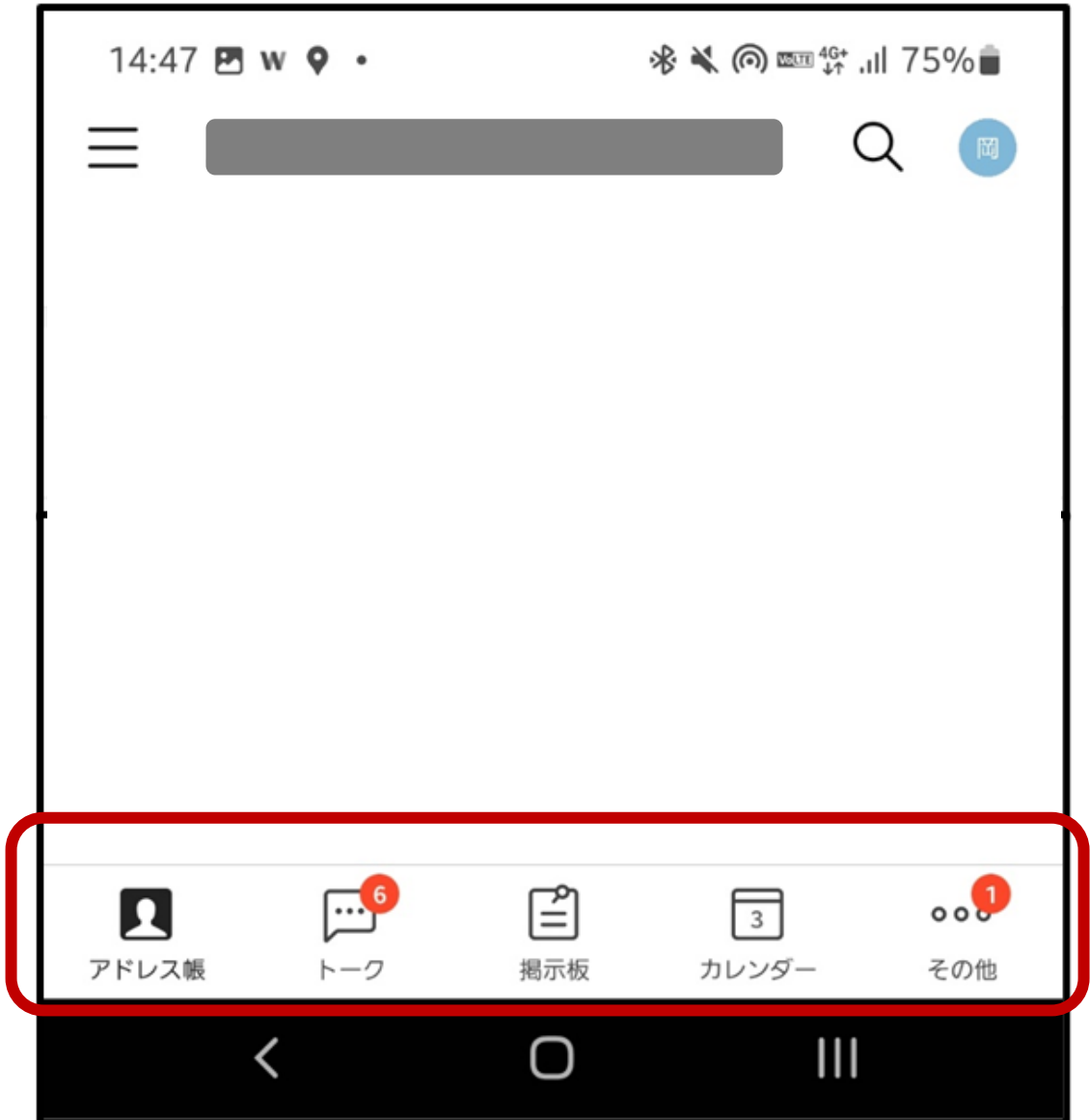
- アプリの基本画面 … P3
- 文字サイズの変更 … P5
- アドレス帳の使い方 … P8
- トークの使い方 … P11
- 掲示板の使い方 … P19
- 通話の使い方 … P23
- カレンダーの使い方 … P27
- 問い合わせ先 … P32



LINE WORKSアプリを起動してください

アプリの基本画面

一番下のアイコンで「アドレス帳」、「トーク」、「掲示板」、「カレンダー」、「その他」の画面切り替えができます。



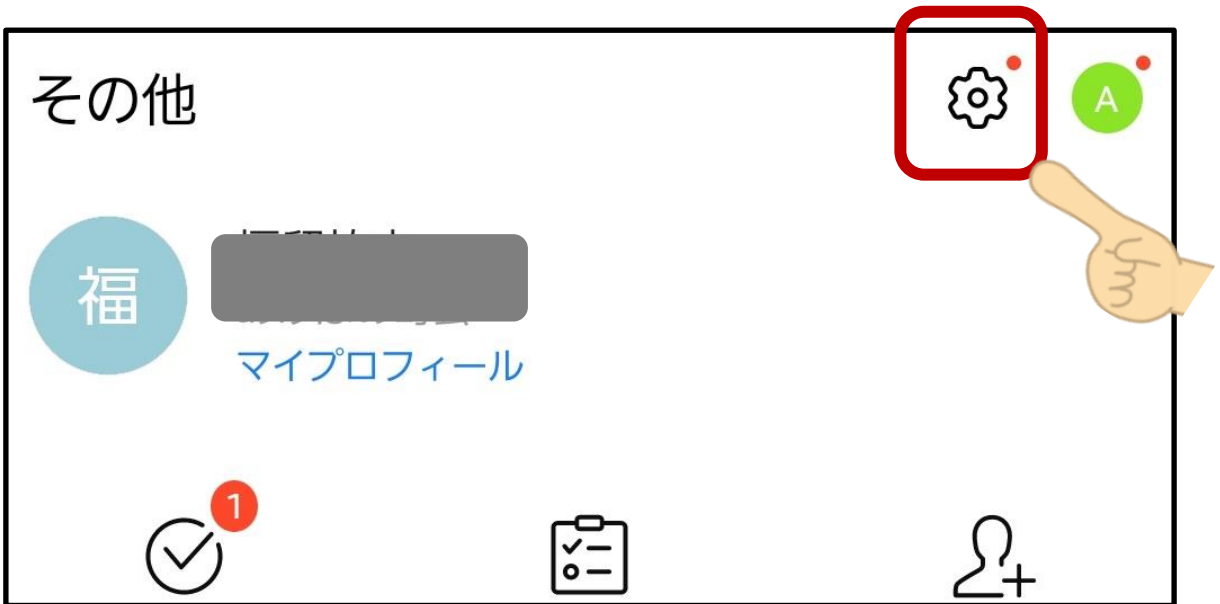
新着のトークや情報がある場合、その件数が「**①**」のように数字で表示されます。

文字サイズの変更

①右下の「その他」を押す



②右上の歯車マークを押す



③真ん中あたりの「文字サイズ」を押す

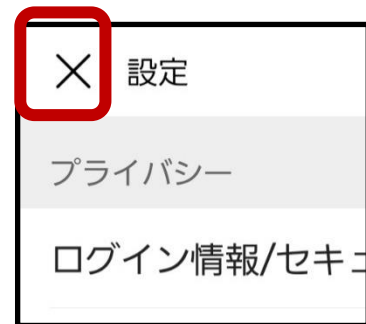
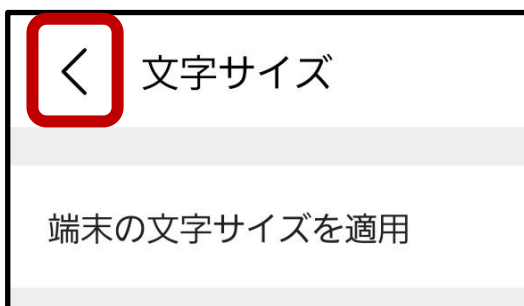


④お好みの文字サイズを押す。



特大がおすすめです

⑤左上の「<」マークを押し、さらに「×」を押す



最初の画面に戻りましたか？

アドレス帳の使い方

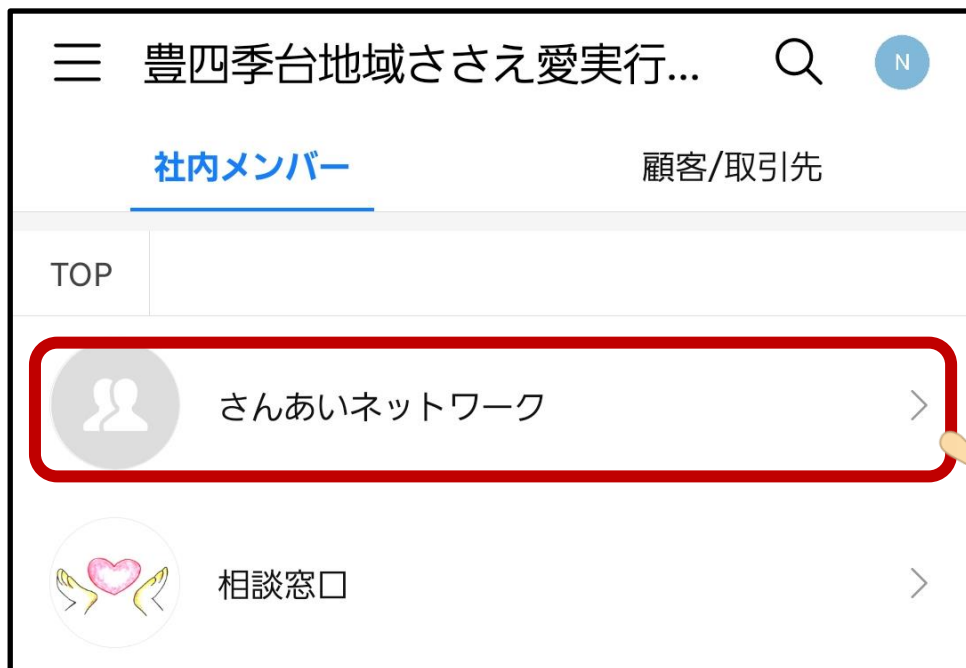
①左下の「アドレス帳」を押す



②「TOP」を押す



③「さんあいネットワーク」を押す



④それぞれのグループを押すことで、グループに所属している利用メンバーを確認できます。

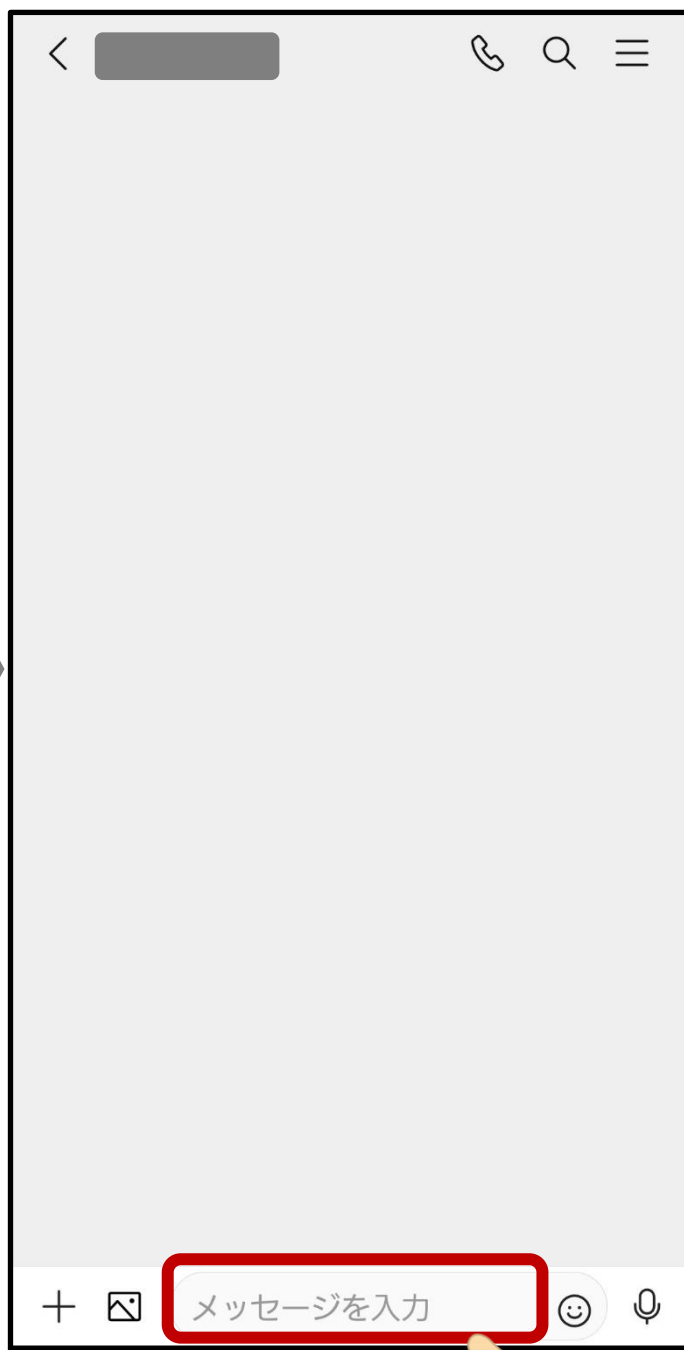
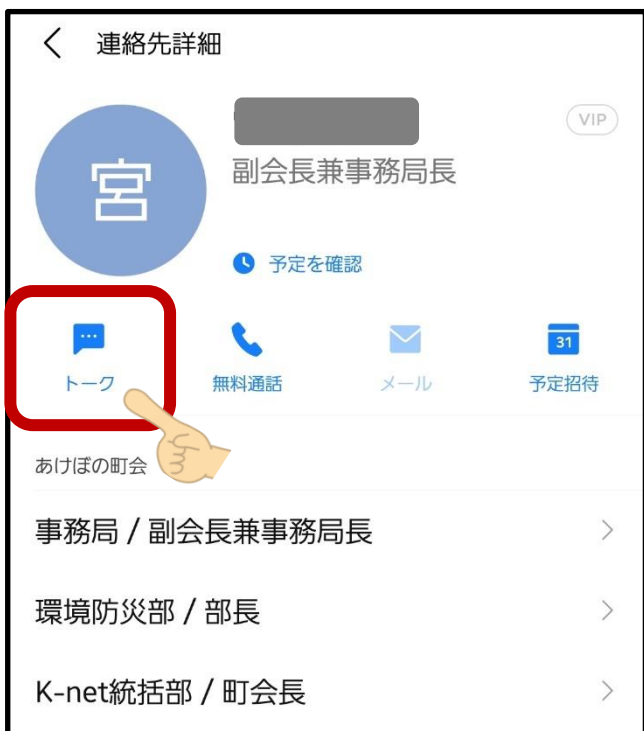
↓メンバーリスト




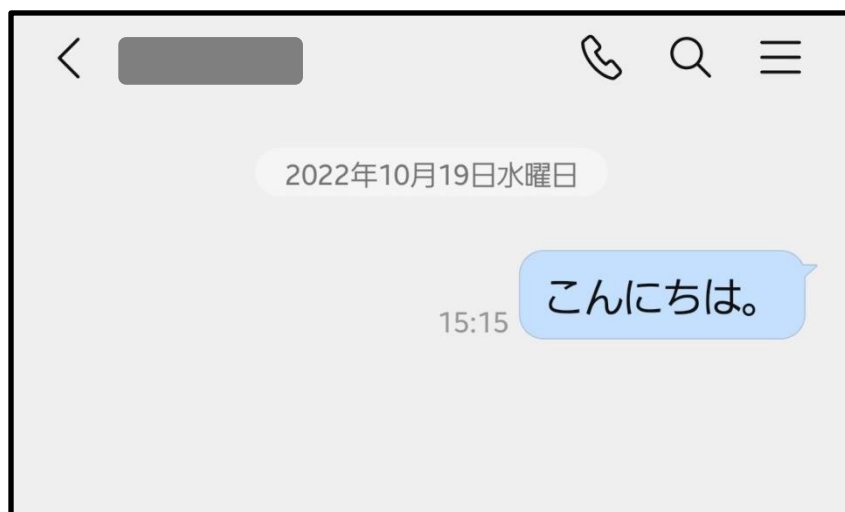
「<」を押すことで
前の画面に戻る

トークの使い方

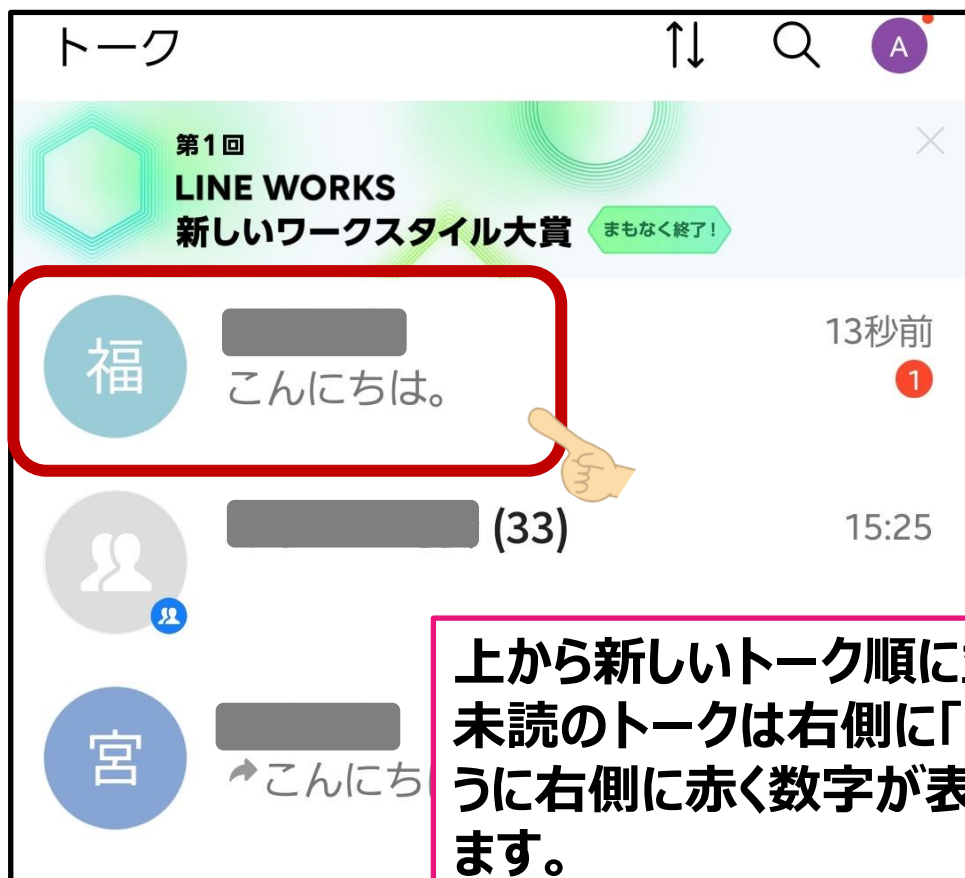
①アドレス帳からトークしたい相手を選んで「トーク」を押す



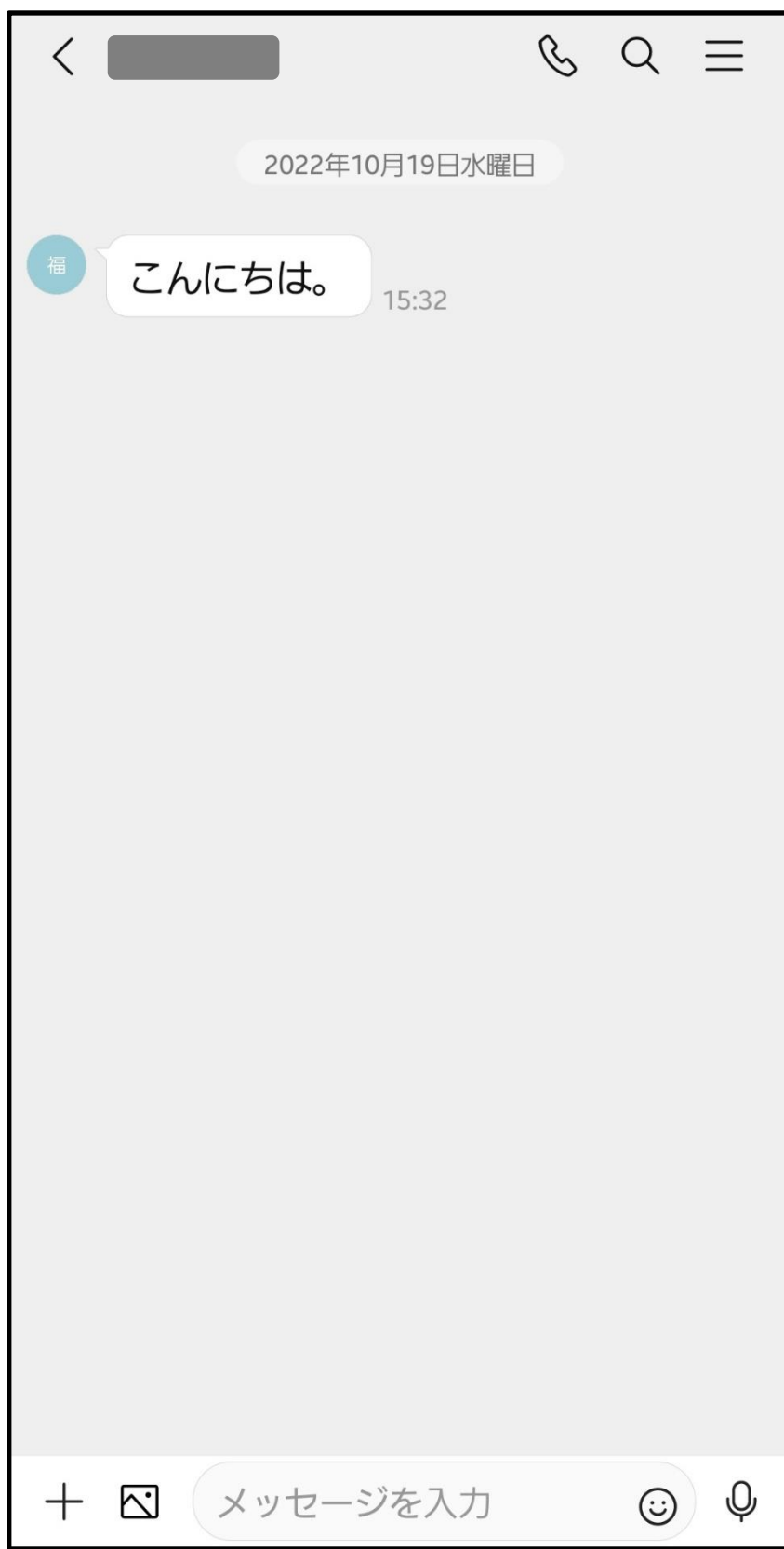
②メッセージを入力し、「」を押すと、内容が相手に送信されます。



メッセージが届くと、トーク画面からメッセージを確認
できます。



上から新しいトーク順に並びます
未読のトークは右側に「1」のよ
うに右側に赤く数字が表示され
ます。



スタンプを送ることで、文字を打たずリアクションをとることができます。

例：「了解です」をスタンプで伝えるとき>



スタンプの種類





所属しているグループのメンバー全員とトークができます。

トーク画面からグループ名を押すことでトークの画面になります。



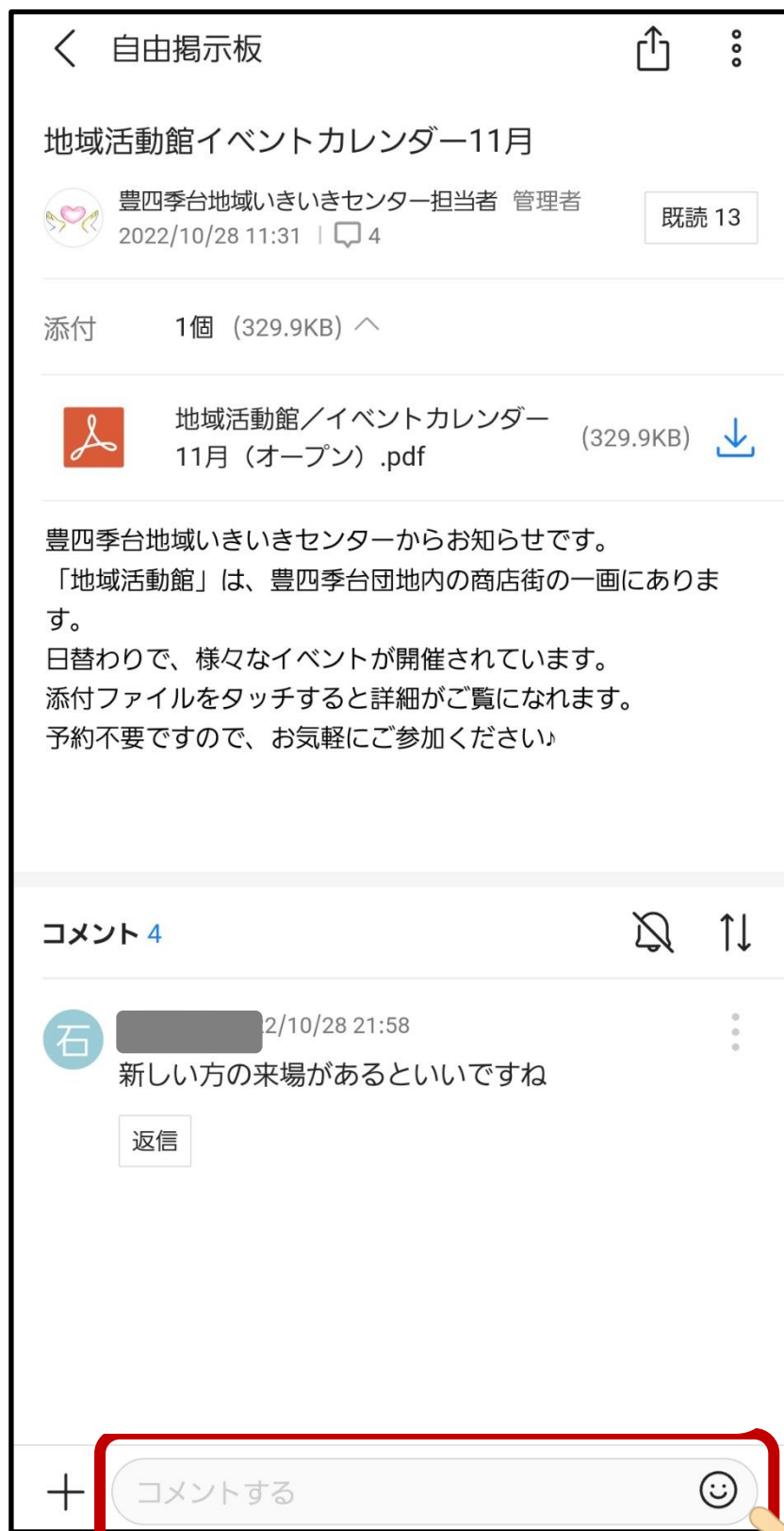
掲示板の使い方

① 下の「掲示板」を押すことで、投稿された掲示板の内容が確認できます。



② 掲示板の種類・タイトル・投稿者が一覧表示されます。





タイトル、投稿者、日付

添付ファイル

本文

コメント一覧

ここでコメント入力
ができます。

① 掲示板の画面で右下「」を押す



② 編集画面にて「掲示板の種類」、「件名（タイトル）」、「本文」を入力してください。

✕ 投稿の作成 投稿 ⋮

掲示板を選択 >

件名 

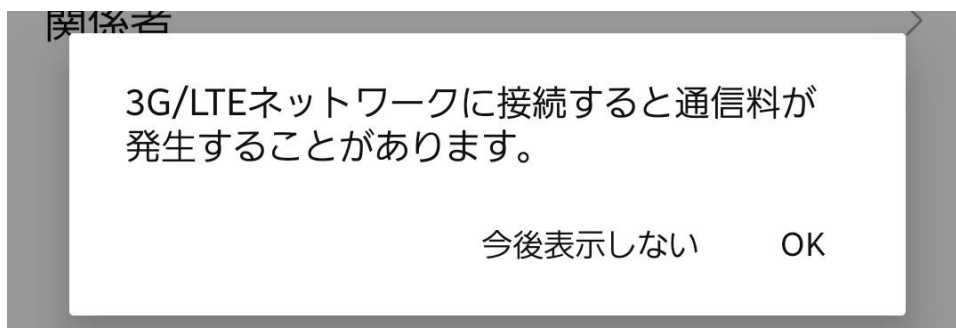
|

通話の使い方

①通話をしたい相手の連絡先から「無料通話」を選択してください。

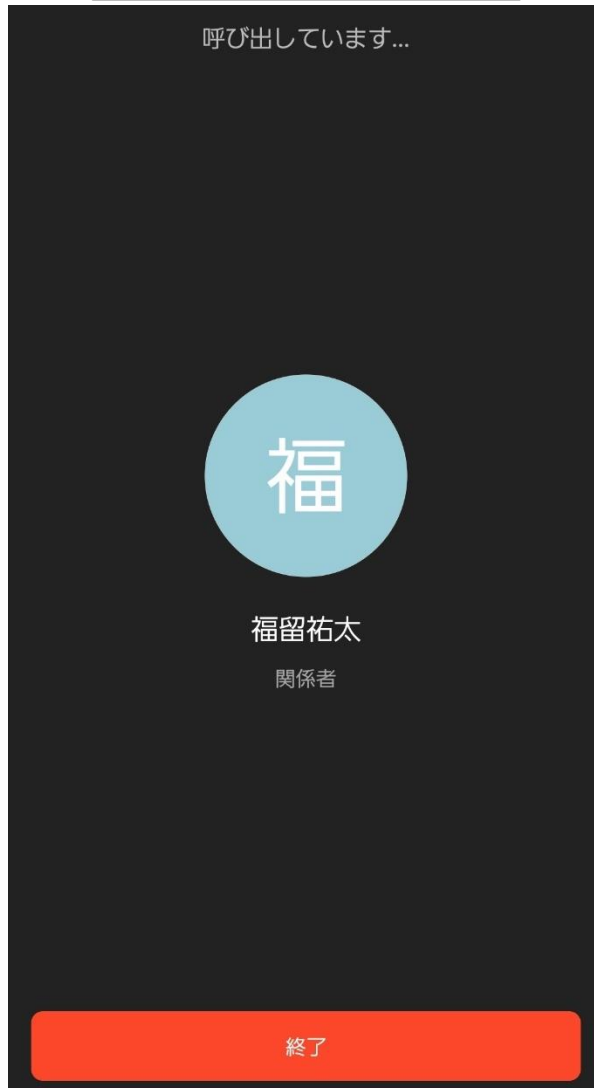


②OKを押す

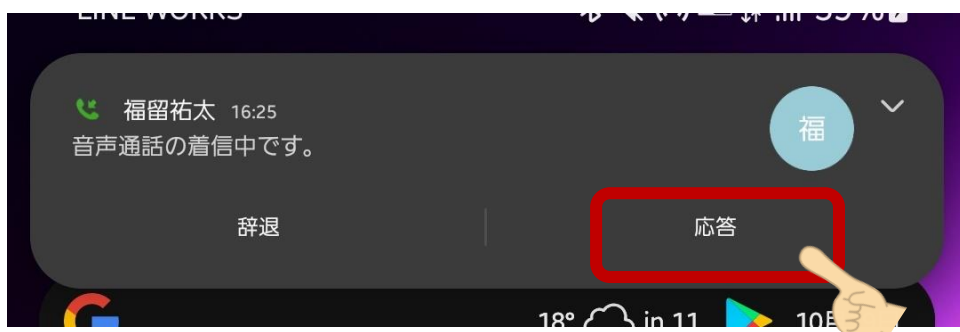


③発信中の画面になると、発信先の相手の画面では通知が来ます。

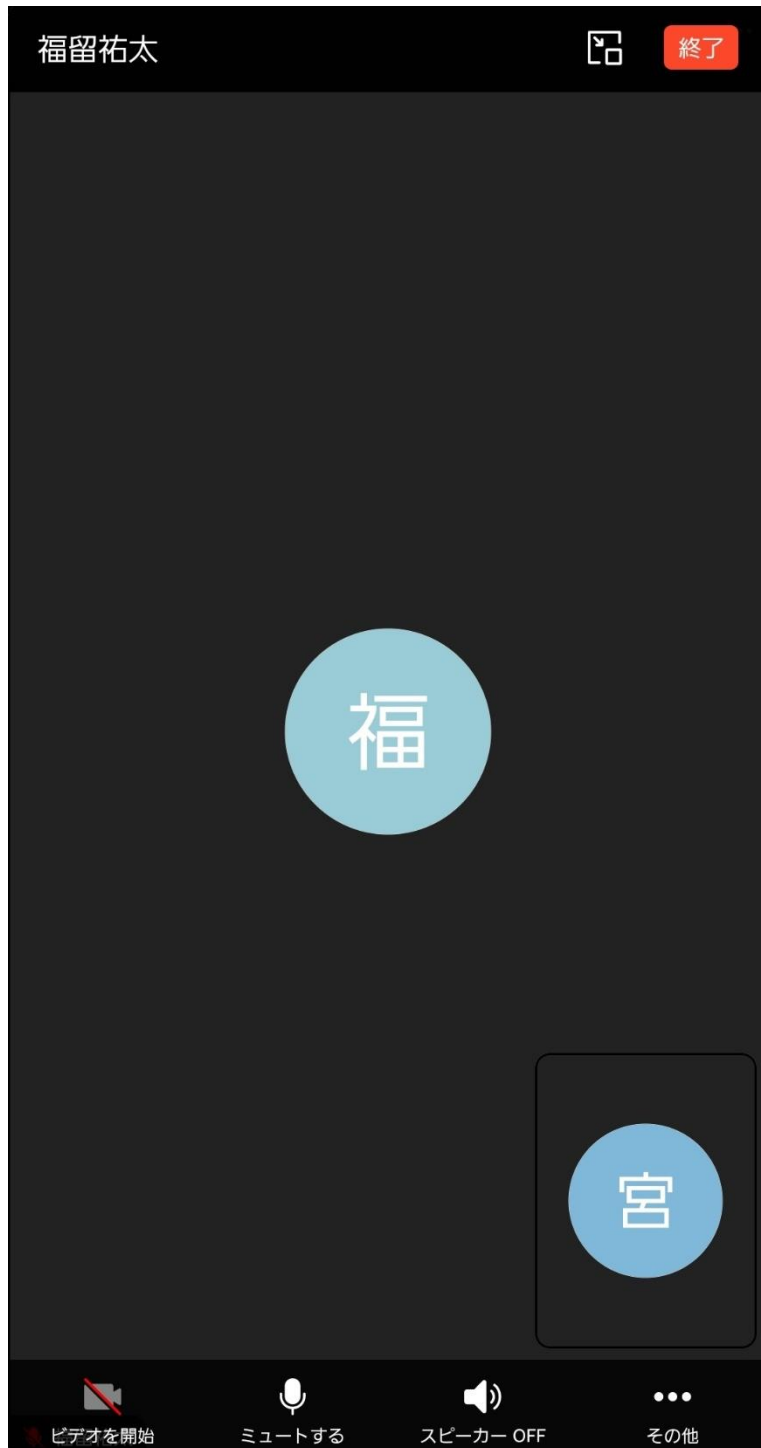
<発信中の画面>



<相手側の着信中の画面>



④ 相手が「応答」を押すと、通話が可能な状態になります。
電話と同じように、スマホを耳に当てて会話が可能です。



「**終了**」を押すと通話が終了します。

応用機能



「**ビデオを開始**」を押すと自分の顔が相手の画面に映ります



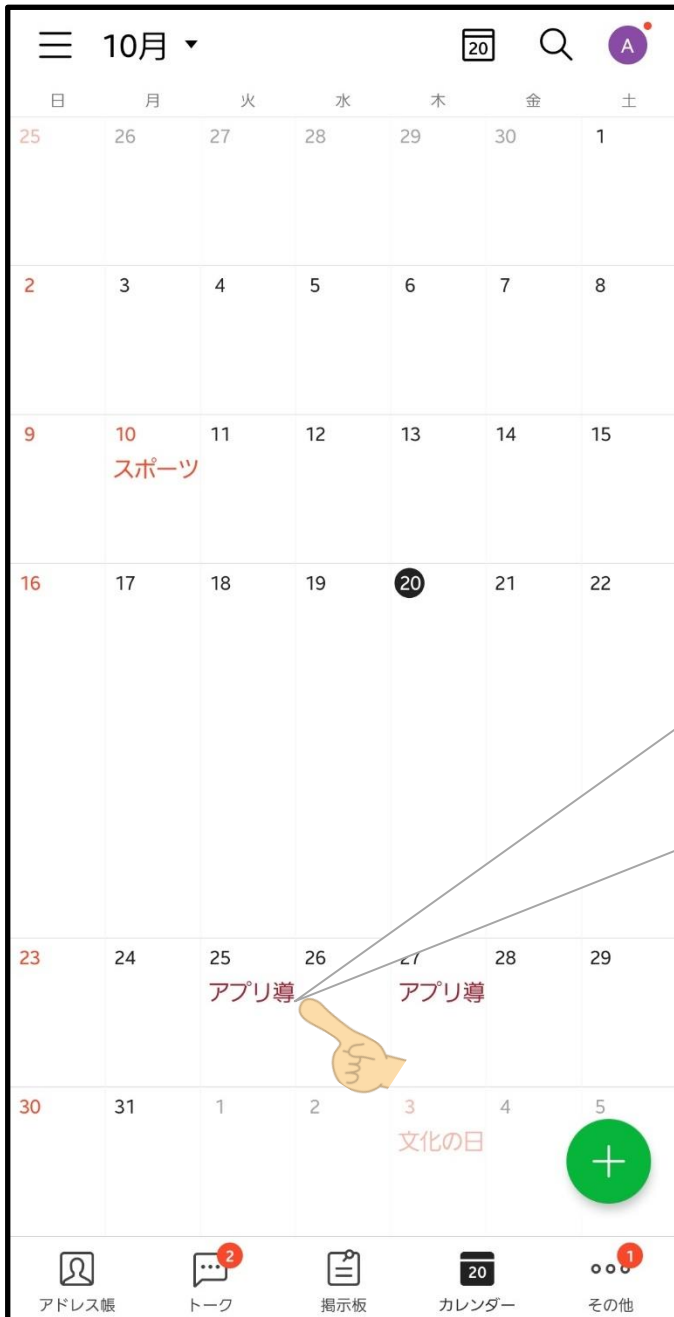
「**ミュートする**」を押すと自分の声が相手に聞こえなくなります



「**スピーカー OFF**」を押すとスピーカーから相手の声が聞こえます

カレンダーの使い方

①「カレンダー」を押すことで、様々なカレンダーの閲覧が可能です



カレンダー上に記載されている予定を押すことで詳細が確認できます。



②「」を押すことで、予定の作成が可能です



保存 → カレンダーの公開


件名 → タイトル


終日 → 日程・時間

開始
2022年10月21日 (金) 16:00

終了
2022年10月21日 (金) 17:00

その他 >


場所 


ビデオ参加用 

参加者 >

設備 >

空き時間を確認する

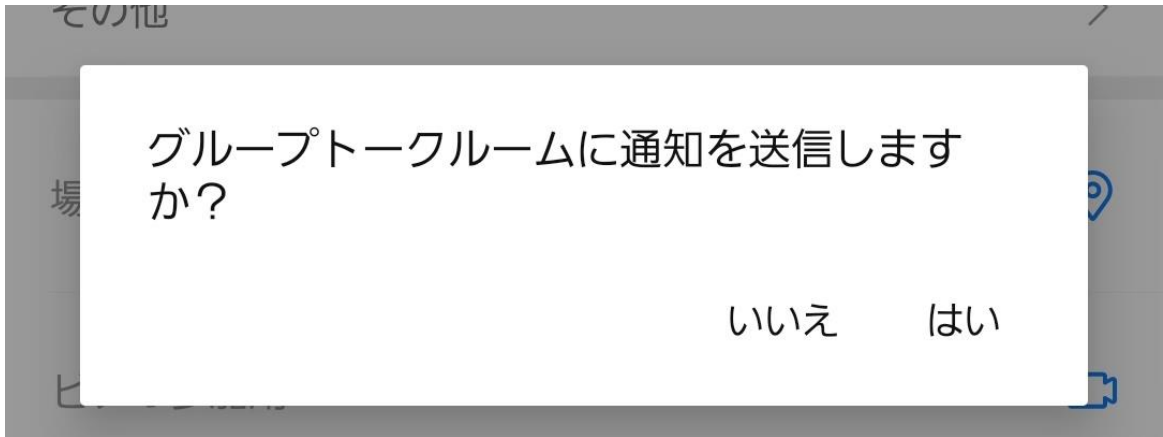
カレンダー [基本]  >

通知 10分前 プッシュ通知 

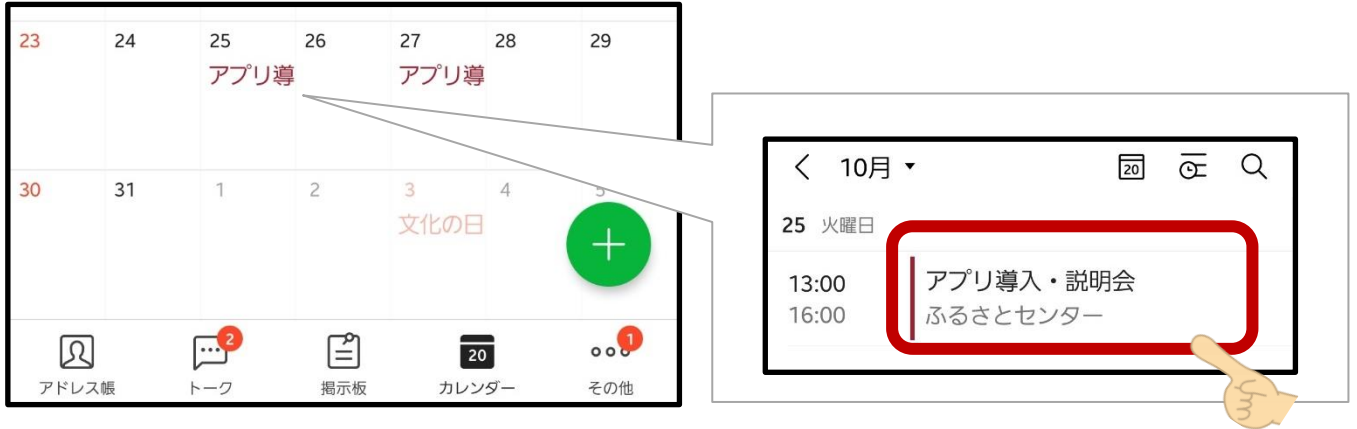
**場所、参加者、設備など
※入力無しでもOK**

カレンダーの公開先（どのグループ）を選択できます。
※[基本]○○では自分だけにしか公開されません

③「保存」を押すと、カレンダー公開先のトークルームにカレンダーを追加したことをお知らせすることができます。

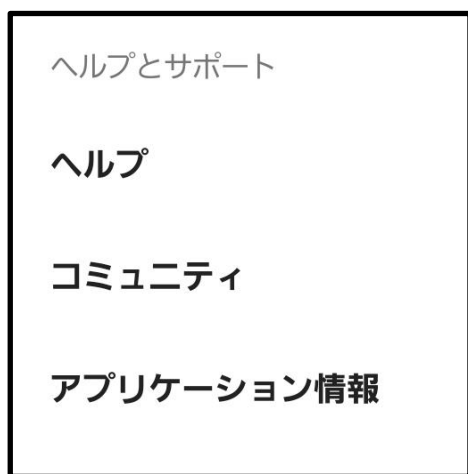


④ 一度載せた予定を情報の編集・削除が可能です。



アプリの使い方に関するご不明点などは、ヘルプサイトを
ご活用ください。

①「その他」画面より「ヘルプ」を選択



②お困りごとの「キーワード」
を入力し検索



調査研究事業の実施期間中、電話でのお問い合わせも受け付けいたします。

★お問い合わせ先

NTTコミュニケーションズ株式会社 ウェルネス担当

※サポート対応時間：(月～金) 9:30～17:00
(土日祝日、12/29～1/3は除く)

あけぼの町 フレイル予防勉強会

- 1 “つながり”こそ 元気を生む ～フレイル予防活動による地域づくり～
- 2 ～人生100年時代を元気にフレイル対策～ やりがいと役立ちがいのすすめ
- 3 柏市豊四季台地域の介護分析（あけぼの町用）

※あけぼの1丁目～5丁目をまとめて「あけぼの町」と表記しています。

“つながり”こそ 元気を生む

～フレイル予防活動による地域づくり～

めざそう!“であい” “ふれあい” “ささえあい”のまちづくり

あけぼの町勉強会
2022.11.17



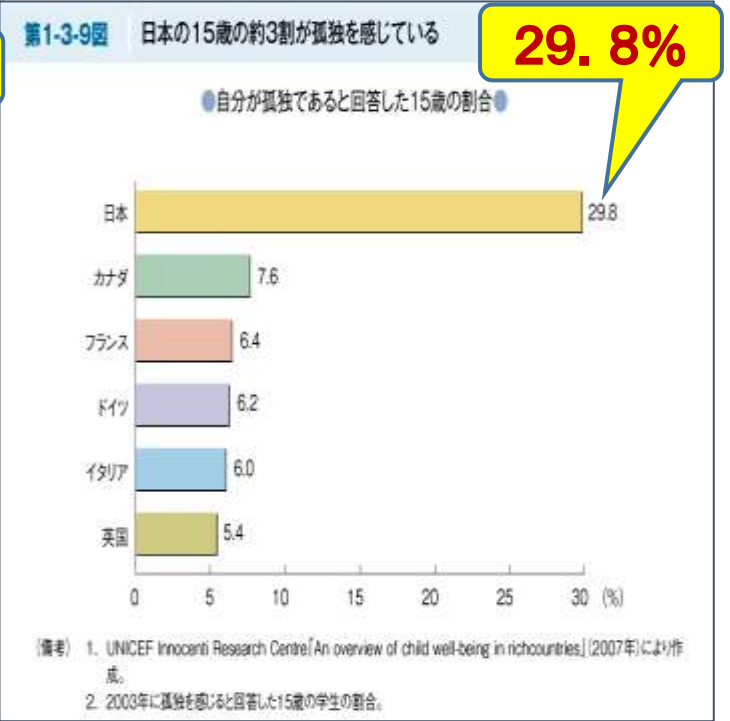
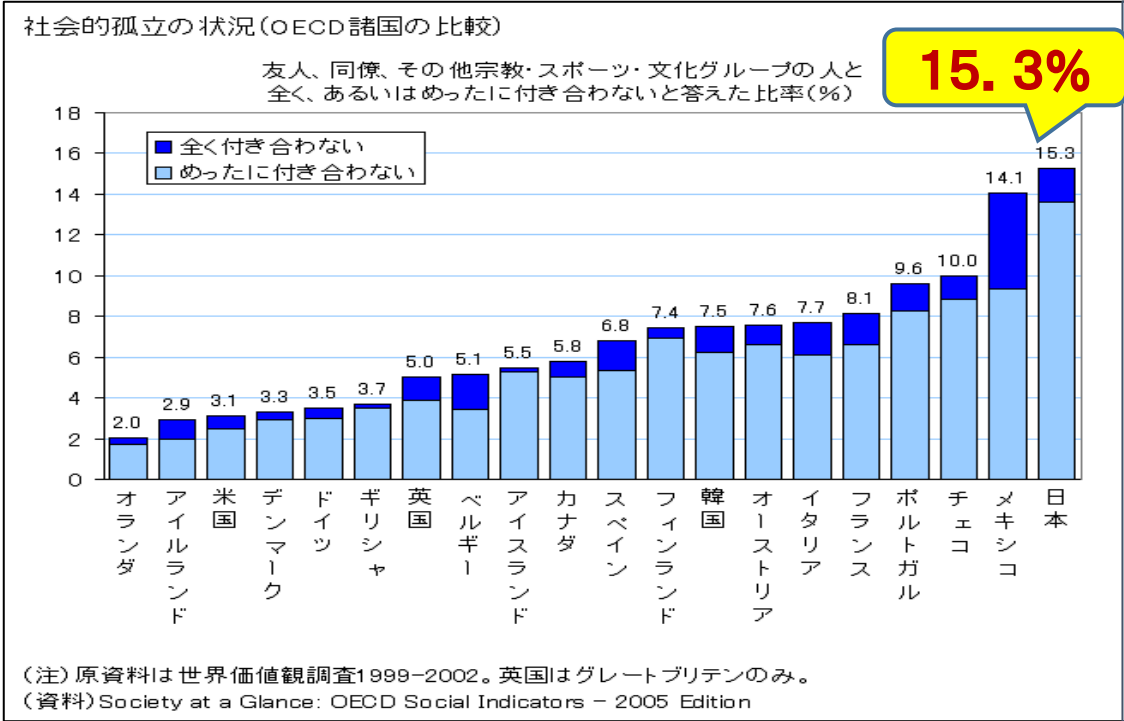
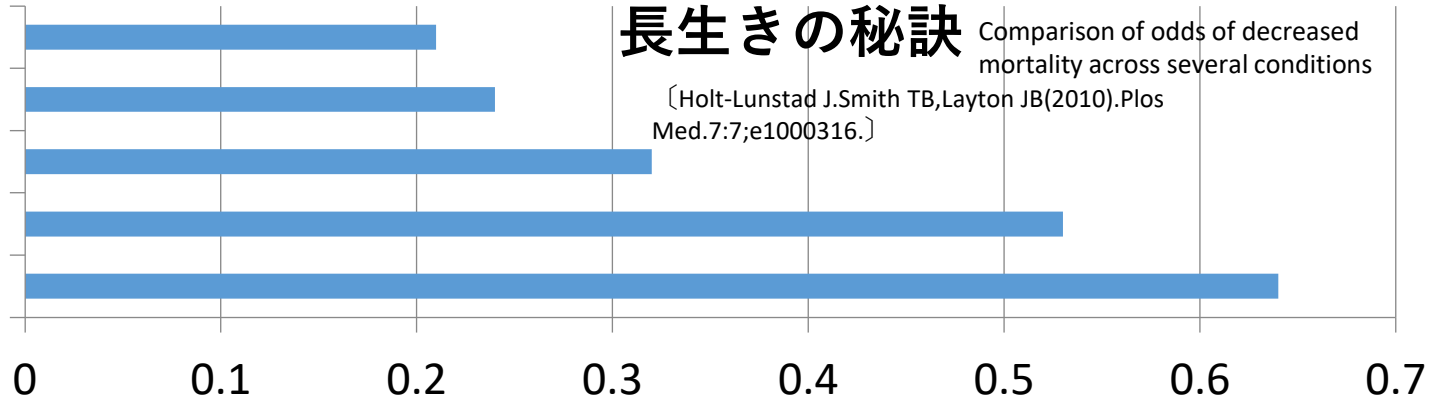
東京大学高齢社会総合研究機構・未来ビジョン研究センター
客員研究員<元柏市保健福祉部長> 木村 清一



つながりと孤独 = 天国と地獄？

データに見る = 様々なデータが示す「驚きの結果」

- 太りすぎない
- 体を動かす
- お酒飲みすぎない
- タバコを吸わない
- 😊 つながりがある



孤独から“ゴミ屋敷”の現実

こんな事案もある



一人暮らしの高齢者の64%が「近所付き合いはほとんどない」もしくは、「挨拶する程度」と回答している。

厚生労働省調査から2011：平成23年)

都内の孤独死 **3,175件**
(平成28年度)

松戸市では **191件**
(平成28年度)

柏市では **? 件**



「孤独死は身近」高齡者の4割強

内閣府調査 単身者では3分の2

「将来に不安」7割

各地で取り組み広がるが...

孤立防止策 試行錯誤続く

「地域の関係濃密に」

孤独死について身近な問題と感じるか

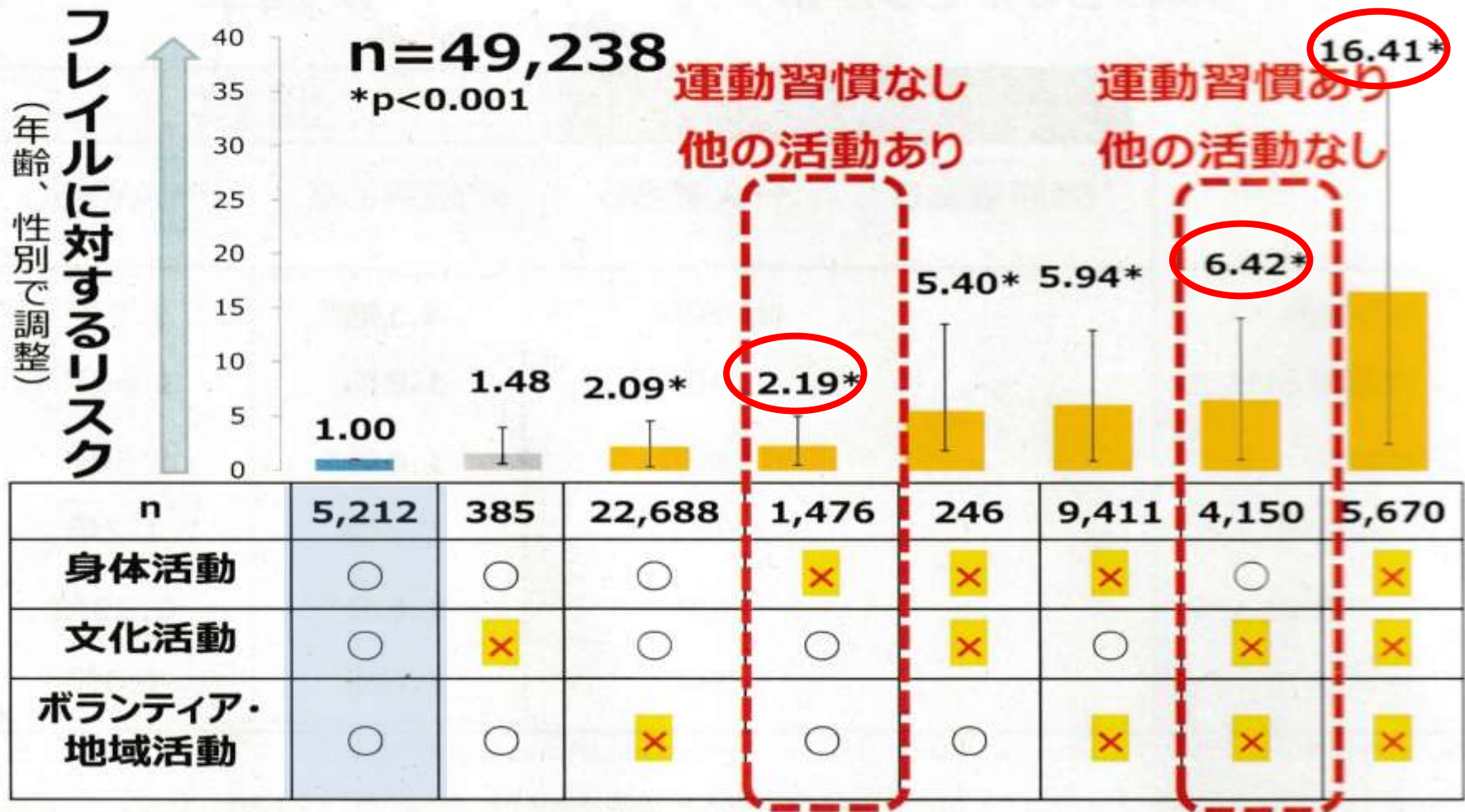
非常に感じる	42.9%
感じる	16.9%
あまり感じない	16.1%
全く感じない	19.7%

内閣府が、高齢者に近いと感じる高齢者は全体の約4割強を占める。単身者では3分の2が「孤独死は身近な問題と感じるか」と回答している。また、将来に不安を感じる高齢者は全体の約7割に達している。また、内閣府が発表した調査によると、単身者では3分の2が「孤独死は身近な問題と感じるか」と回答している。また、将来に不安を感じる高齢者は全体の約7割に達している。また、内閣府が発表した調査によると、単身者では3分の2が「孤独死は身近な問題と感じるか」と回答している。また、将来に不安を感じる高齢者は全体の約7割に達している。

平成22年4月3日付け日本経済新聞

柏での調査から分かったこと…社会とのつながり

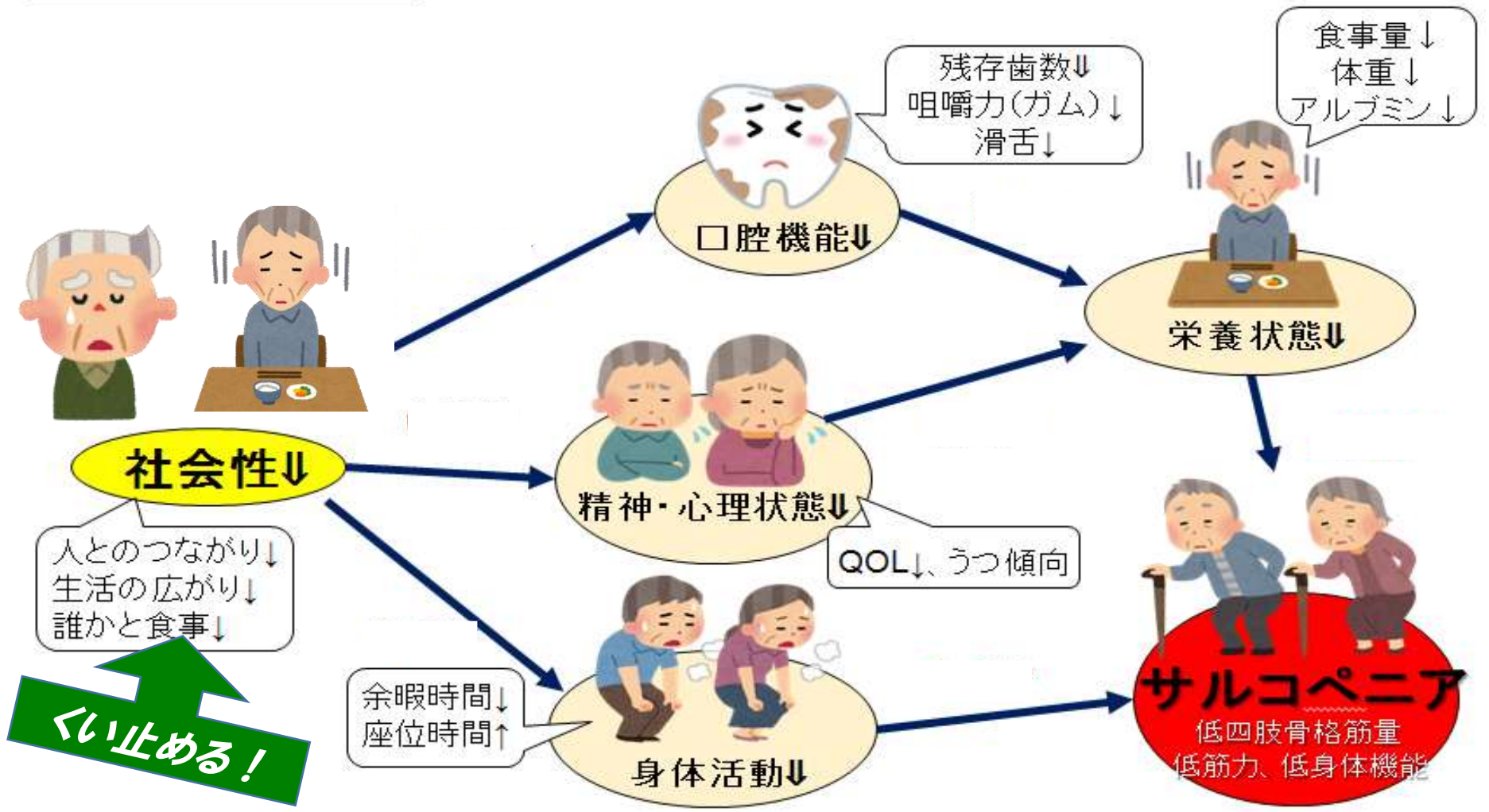
様々な活動の複数実施とフレイルへのリスク



(吉澤裕世、田中友規、飯島勝矢、2017年 日本老年医学会学術集会発表、論文準備中)

なぜサルコペニアになるのか明らかに

《社会性の欠如・低下から始まりやすい》



東京大学 高齢社会総合研究機構・飯島勝矢ら
 厚生労働科学研究費補助金(長寿科学総合研究事業)「虚弱・サルコペニアモデルを踏まえた高齢者食生活支援の枠組みと
 包括的介護予防プログラムの考案および検証を目的とした調査研究」(H26年度報告書より)

データにみる高齢者の社会参加

趣味の会などに週1回参加で介護予防に効果

2006年時の社会参加とその後11年間の要介護期間

	n	全認定 (要支援・要介護)	要介護2以上	要介護4以上
		Mean (SD)	Mean (SD)	Mean (SD)
趣味の会				
まったくない	2833	14.1 (25.8)	7.1 (17.6)	2.2 (8.5)
年に数回	259	9.0 (19.4)	3.5 (9.9)	1.2 (5.3)
月に1、2回	524	10.7 (21.8)	4.6 (14.4)	1.6 (7.5)
週に1回以上	972	10.6 (21.8)	4.1 (13.2)	1.0 (6.0)
		p <.001	p <.001	p <.001
スポーツの会・クラブ				
まったくない	3716	13.7 (25.1)	6.6 (17.0)	2.1 (8.4)
年に数回	91	7.5 (19.6)	4.8 (16.5)	1.2 (5.5)
月に1、2回	125	6.0 (17.3)	2.7 (12.5)	0.5 (2.6)
週に1回以上	572	7.2 (18.1)	2.4 (9.8)	0.5 (3.4)
		p <.001	p <.001	p <.001
ボランティアの会				
まったくない	3899	12.9 (24.4)	6.1 (16.4)	1.9 (7.9)
年に数回	194	7.1 (17.3)	2.9 (11.1)	1.1 (7.7)
月に1、2回	193	9.9 (21.6)	4.3 (13.3)	1.1 (7.2)
週に1回以上	122	6.4 (17.5)	3.1 (10.9)	0.8 (3.2)
		p <.001	p <.001	p =.019

単位: 月数 SD: 標準偏差

資料=愛知県常滑市で平成18年から平成29年まで5,483人の追跡調査より: 齋藤雅茂日本福祉大学教授

つながりの
キーワード

外に出ていく機会が多い

作図：IOG木村清一

人と人が会い交流する取組みが多くある

それは脳と運動機能を適切に維持することになるのです

たとえば、身近なところで

- ・趣味やサークル活動をしている
- ・ウォーキングなどの健康づくりをしている
- ・町会、自治会の活動に参画している
- ・祭りや伝統行事が盛んである
- ・学習活動が活発に行われている
- ・身近なところで就労している
- ・地域の人が集まる場所が多くある

などetc.



(目標)

いつまでも元気で
いきいきとしている

“つながり”のある地域いきいきサイクルを廻す

介護予防

健康寿命の延伸

生活の質を高める

資料1

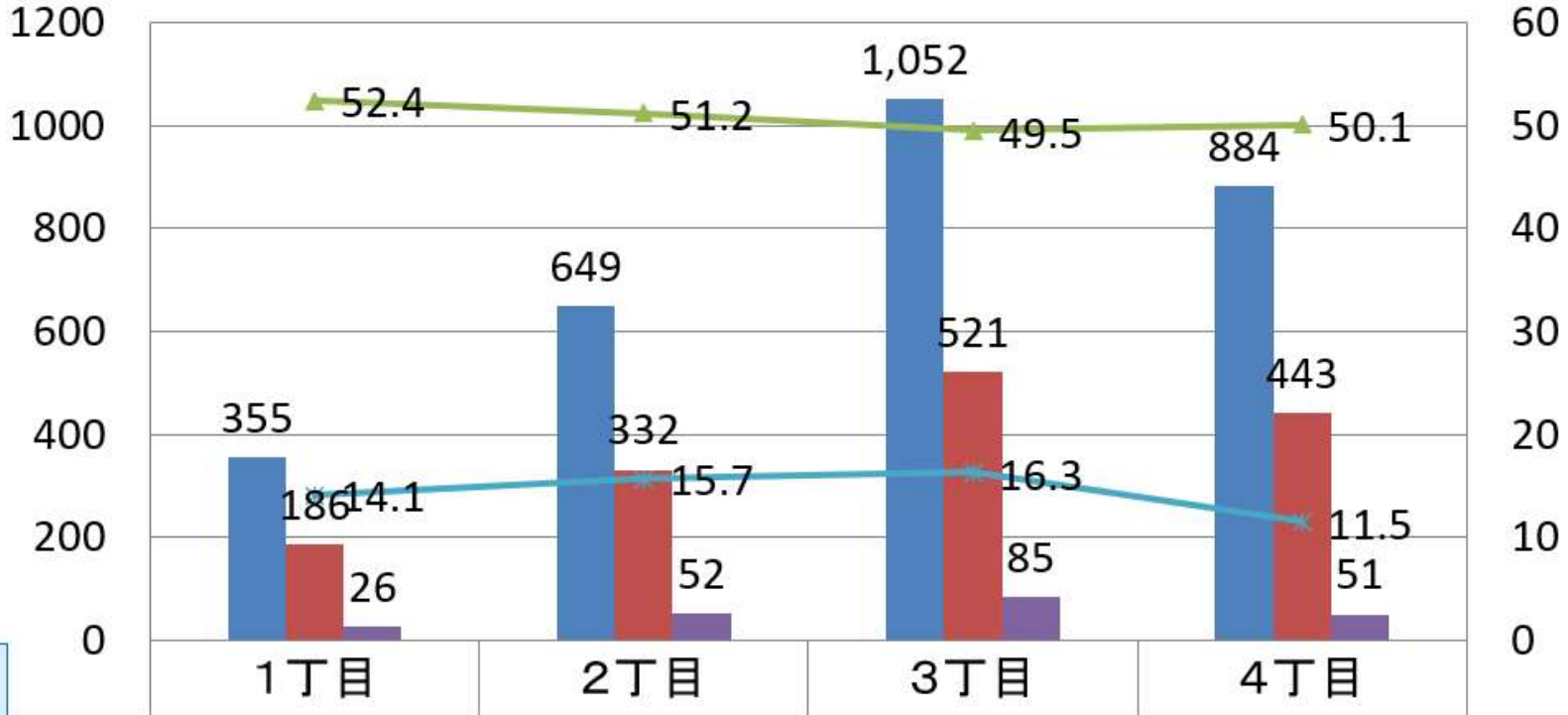
柏市にはこんな地域も

高い地域高齢化率=50.4%
低い要介護認定率=14.4%

2019年9月
30日現在
柏市日常
生活圏域
別データ

世帯数
1,200
人口数
2,940
自治会数
1
住宅形態
一戸建

布施新町



■ 人口	355	649	1,052	884
■ 高齢者数	186	332	521	443
■ 介護認定者	26	52	85	51
▲ 高齢化率	52.4	51.2	49.5	50.1
★ 介護認定率	14.1	15.7	16.3	11.5



高齢化率-介護
認定率の差%

-38.3 -35.5 -33.2 -38.6

この町の主な地域活動紹介(1)

1. ふれあいパトロールの会 平成24年9月から活動:会員85名

- 地域内を週に3回30分のパトロール←メンバー間の交流が深まる
- 自然環境点検や美化・安全確認を行う←防犯活動にもなる
- 自治会との共催事業や委託事業の受託←会話からホームページ作成
- 参加者の健康促進となる←個人で散歩するより楽しい



2. 草花で街を明るくする会 平成25年4月から開始:会員60名

- 自治会内の4つの公園管理を行う←資材は市から支給
- 公園と集会所の花壇の造成・管理←共通の趣味から親睦会が誕生
- 花壇デザイン会議と植え付け実施←年2回春・秋
- 草花研修会や種まき講習会の開催←園芸技術の向上



最近では外国の学生とICTを使い日本語で交流会を始める。

3. ふれあい健康体操の会 平成26年4月から活動:リーダー12名

- 3の公園で週1回30分の体操を実施←夏休みは子供たちと毎日共催
- ラジオ体操・脳トレ体操・げんきりん体操他←常連の最高齢者は93歳
- 体力測定会(フレイルチェック)の実施←東大が開発した健康チェック
- 今年の参加者は延べ4,804人(平均38人/回)←参加者の交流と親睦

4. 在宅ケア促進活動 平成27年度から開始:いきいきネットワークを結成

- 市民啓発と富勢モデル/支え合いネットワークの検討←プロジェクトの設置



この町の最近の地域活動(2)


「みらいプロジェクト活動」として地域活動の有志が集まり「悉皆くらしのアンケート」を行い、キーパーソン・インタビュー、ワークショップを行い活動を始めた。

- 1. ワークショップ「みらいの語り場」開催** 平成29年9月から活動
- まちの「あったらいいな」「もったいないな」を探そう←参加者の交流が深まる
 - 「ふるさとセンターの活用」を考えよう行こう←多様な活動の契機にもなった
 - 「まちのみんなでシェアしたいことは何？」←会話からホームページ作成
 - 「海外の学生と日本語で話してみよう」←日本語を学ぶ外国人と交流する楽しさ

- 2. 全世代が参加する明るい未来のまちづくり活動** 令和元年4月から
- 0歳から130歳まで、住民の誰もが月に1度は、町の中で「あそぶ」「まなぶ」「たべる」「たのしむ」「働く」「交流する」などに参加しているまちづくりを進める
 - 市社協の助成金を獲得する ←多様な活動、共通の趣味から親睦会も誕生
←ぶらりゆめプラザの開催。スマートフォン・パソコン教室。



- 3. 「みんなの広場」を毎週一回開催** 令和元年6月から活動
- | | |
|------------------------|---------------------|
| ○「百人一首」実施←毎回12～20名参加。 | ○「手芸」←毎回8～10名参加 |
| ○「絵手紙」←毎回7～9名参加 | ○「折り紙」←毎回3～5名参加 |
| ○「脳トレドリル・ラダー」←毎回6～8名参加 | ○「カフェ」毎回←毎回10～16名参加 |
| ○「こども広場」←毎回6～8名参加 | ○「ベイゴマ」←毎回5～8名参加 |



～人生100年時代を元気にフレイル対策～
やりがいと役立ちがいのすすめ

「まだまだ、ちいきの力が必要です！」

～フレイル予防、その先に～

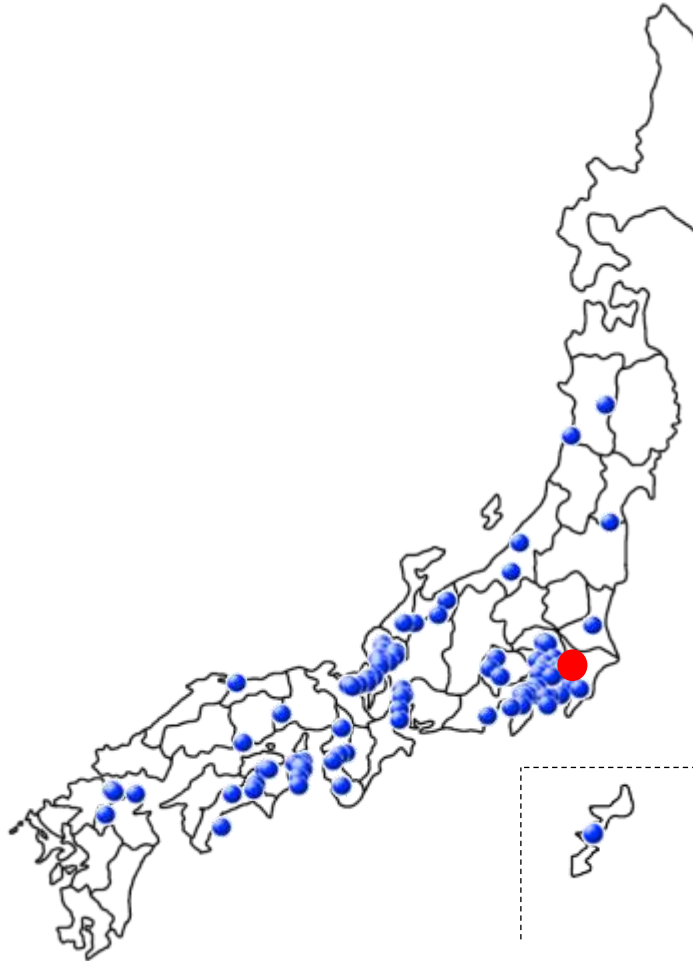
令和4年11月17日(木)

東京大学高齢社会総合研究機構
学術専門職員 神谷 哲朗

IOG地域連携プロジェクト

・フレイルチェック導入自治体：現在96自治体

(2022年度 養成研修中も含む)



1	宮城県	仙台市	26	神奈川県	茅ヶ崎市	51	福井県	永平寺町	76	徳島県	鳴門市
2	秋田県	秋田市	27	神奈川県	逗子市	52	福井県	池田町	77	徳島県	小松島市
3	秋田県	鹿角市	28	神奈川県	三浦市	53	福井県	南越前町	78	徳島県	三好市
4	茨城県	常陸太田市	29	神奈川県	秦野市	54	福井県	越前市	79	徳島県	那賀町
5	群馬県	館林市	30	神奈川県	厚木市	55	福井県	美浜町	80	徳島県	美波町
6	群馬県	板倉町	31	神奈川県	海老名市	56	福井県	高浜町	81	徳島県	松茂町
7	埼玉県	春日部市	32	神奈川県	中井町	57	福井県	おおい町	82	徳島県	藍住町
8	埼玉県	志木市	33	神奈川県	山北町	58	福井県	若狭町	83	徳島県	上坂町
9	埼玉県	八潮市	34	神奈川県	開成町	59	山梨県	北杜市	84	徳島県	東みよし町
10	埼玉県	富士見市	35	神奈川県	湯河原町	60	山梨県	笛吹市	85	高知県	南国市
11	埼玉県	鶴ヶ島市	36	新潟県	新潟市	61	長野県	川上村	86	高知県	四万十市
12	千葉県	茂原市	37	新潟県	長岡市	62	岐阜県	神戸町	87	高知県	大豊町
13	千葉県	柏市	38	富山県	南砺市	63	岐阜県	輪之内町	88	高知県	仁淀川町
14	千葉県	市原市	39	富山県	上市町	64	岐阜県	安八町	89	福岡県	飯塚市
15	千葉県	富津市	40	富山県	朝日町	65	静岡県	静岡市	90	福岡県	八女市
16	東京都	文京区	41	石川県	金沢市	66	静岡県	沼津市	91	福岡県	嘉麻市
17	東京都	目黒区	42	福井県	福井市	67	三重県	鈴鹿市	92	福岡県	上毛町
18	東京都	豊島区	43	福井県	敦賀市	68	三重県	東員町	93	福岡県	北中城村
19	東京都	板橋区	44	福井県	小浜市	69	兵庫県	神戸市	94	岡山県	美作市
20	東京都	江戸川区	45	福井県	大野市	70	兵庫県	尼崎市	95	和歌山県	海南市
21	東京都	東村山市	46	福井県	勝山市	71	和歌山県	田辺市	96	徳島県	徳島市
22	東京都	国立市	47	福井県	鯖江市	72	和歌山県	紀の川市			
23	東京都	西東京市	48	福井県	あわら市	73	和歌山県	かつらぎ町			
24	神奈川県	横須賀市	49	福井県	越前町	74	鳥取県	境港市			
25	神奈川県	平塚市	50	福井県	坂井市	75	広島県	福山市			

東京大学高齢社会総合研究機構HP https://www.iog.u-tokyo.ac.jp/project/?project_category=frailty

日本の高齢化の推移 100歳以上の人口も激増

将来の平均寿命は**男性84.19歳、女性90.93歳**
(2060年女性の平均寿命は90年を超える・・・80歳からどう生きるか)

100歳以上人口	
1963年	153人
1973年	495人
1983年	1354人
1993年	4802人
2003年	20561人
2013年	54397人
2022年	90526人

10万人

5万人

(西暦)

0

500

1000

1500

2000
2050

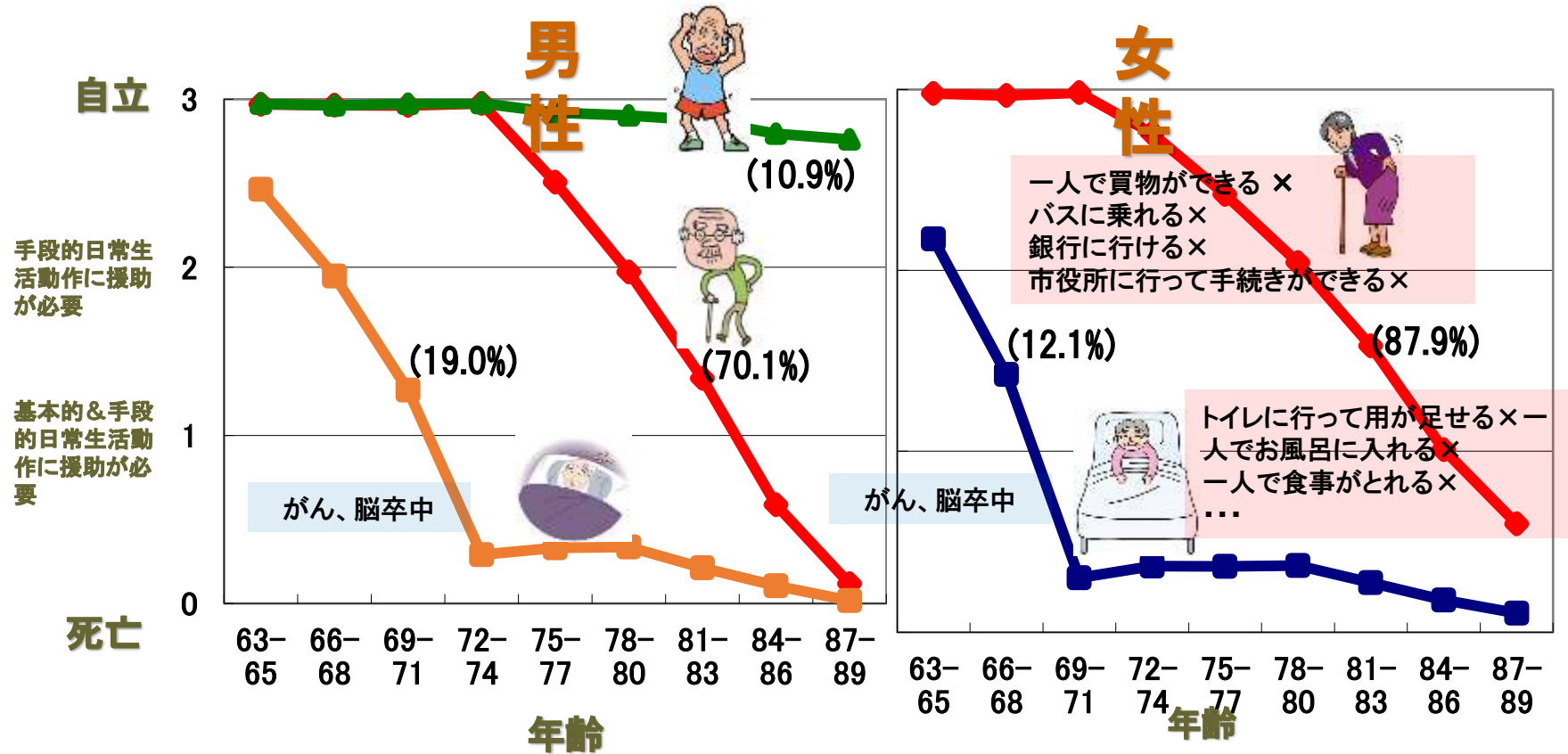
(約9割が女性)
健康であることが
重要!



30~40万人
規模?

高齢者の増加と多様なパターン

(全国高齢者20年の追跡調査)



出典) 秋山弘子 長寿時代の科学と社会の構想 『科学』 岩波書店, 2010

【高齢者の健康余命】

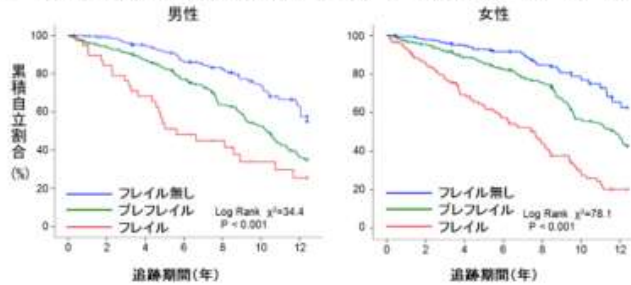
生活習慣病の関与よりは、**フレイル** が大きく関与



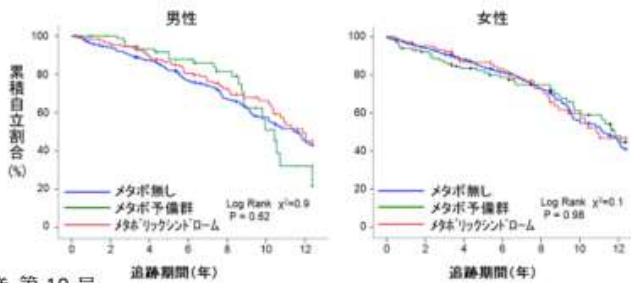
高齢者の健康余命にフレイルが大きく関与、 メタボリックシンドロームの影響は認められず

群馬県の一地域の高齢者約 1,500 人の平均 7 年（最大 12 年）の追跡研究

**フレイル有無別の
自立高齢者**



**メタボ有無別の
自立高齢者**

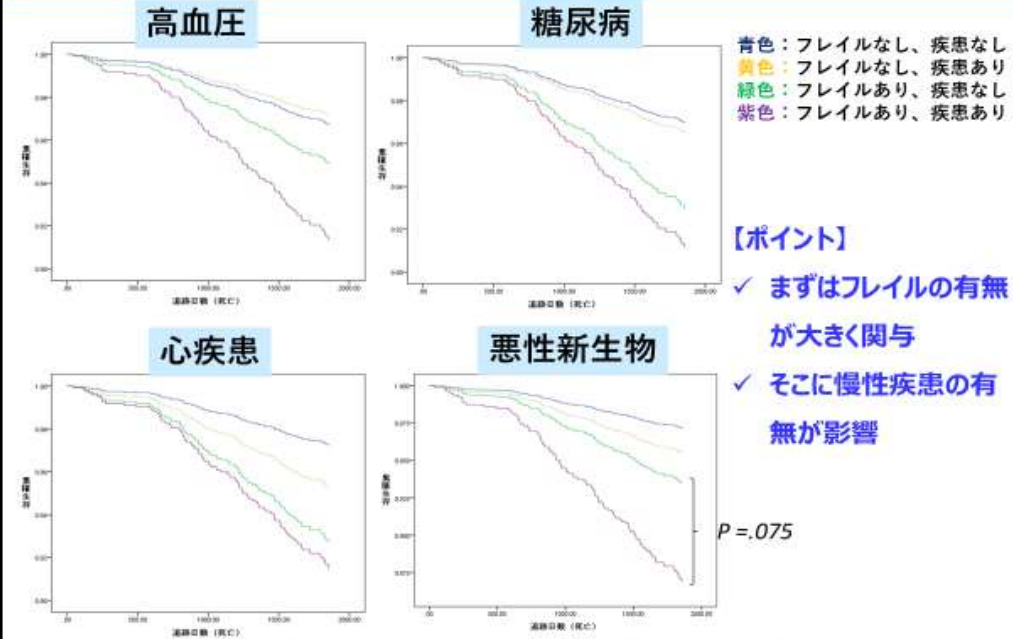


日本公衆衛生雑誌 10 月号 第 64 巻・第 10 号

東京都健康長寿医療センターより

東大ジェロントロジーより

慢性疾患の有無、フレイルの有無別の予後（柏スタディ）



青色：フレイルなし、疾患なし
黄色：フレイルなし、疾患あり
緑色：フレイルあり、疾患なし
紫色：フレイルあり、疾患あり

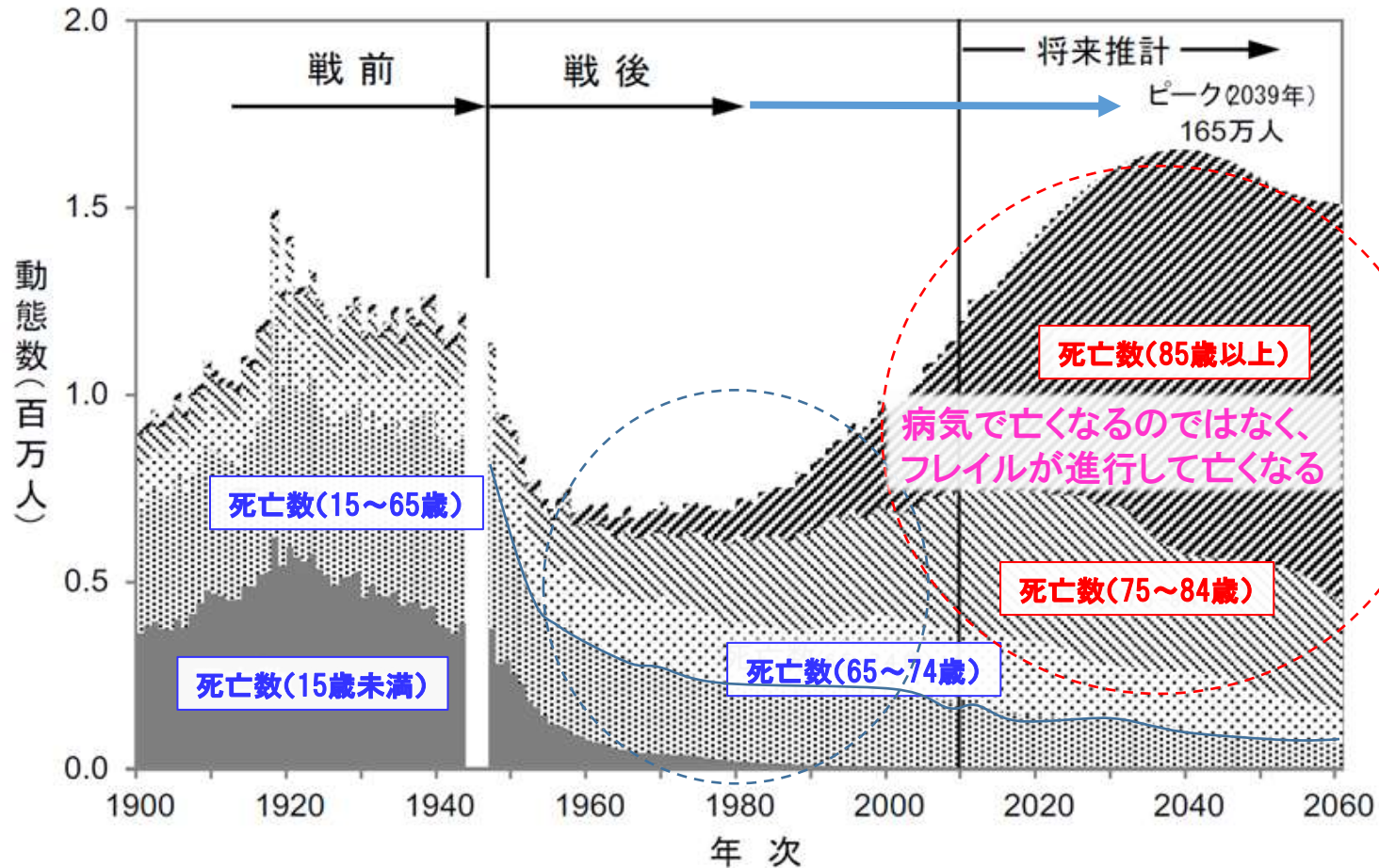
【ポイント】

- ✓ まずはフレイルの有無が大きく関与
- ✓ そこに慢性疾患の有無が影響

累積生存曲線は年齢、性別、BMI、併存症、即うつ傾向、認知機能、教育歴等で調整（東京大学 田中友規、飯島勝矢、論文未発表データ）

年齢別死亡数の歴史的推移

(フレイル予防、対策の時代へ)



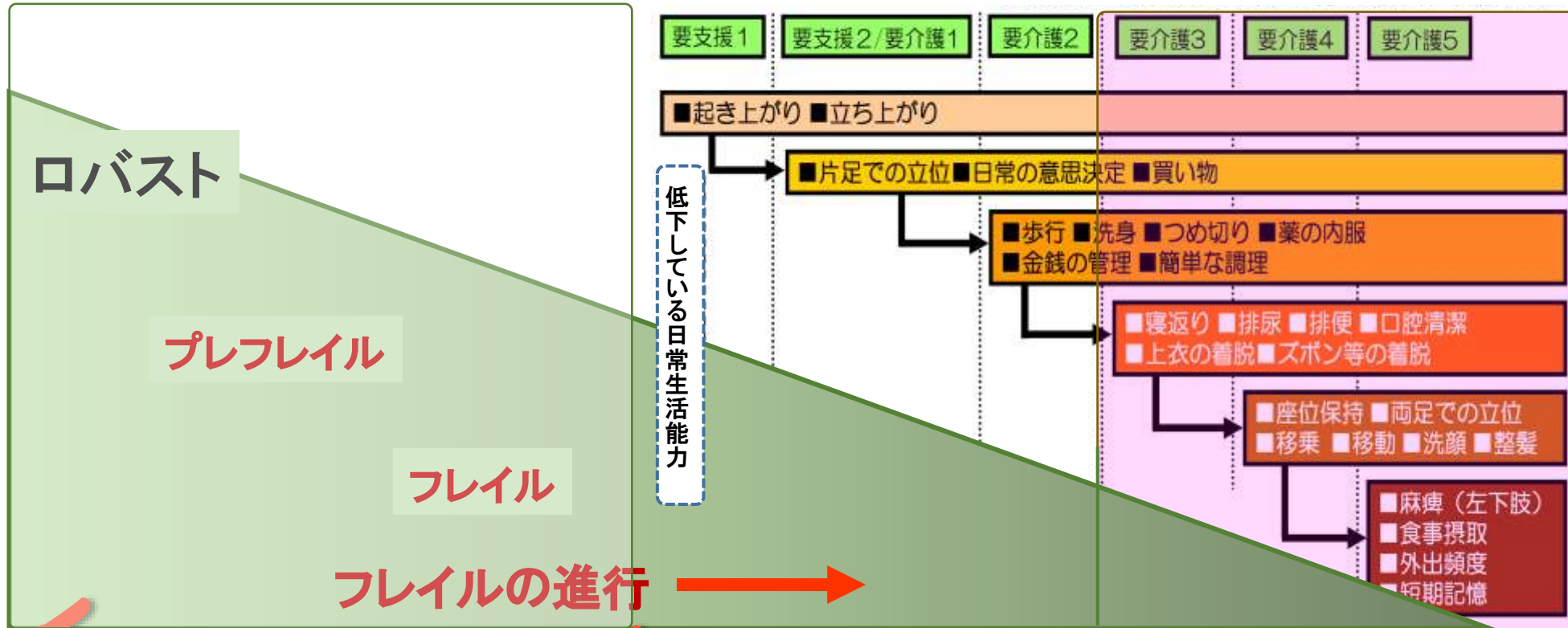
(国立社会保障・人口問題研究所 金子隆一氏資料より)

高齢者のフレイルの進行と介護認定の位置づけ

加齢性フレイル進行の状態像

要介護状態区分の状態増像

↑
自立度

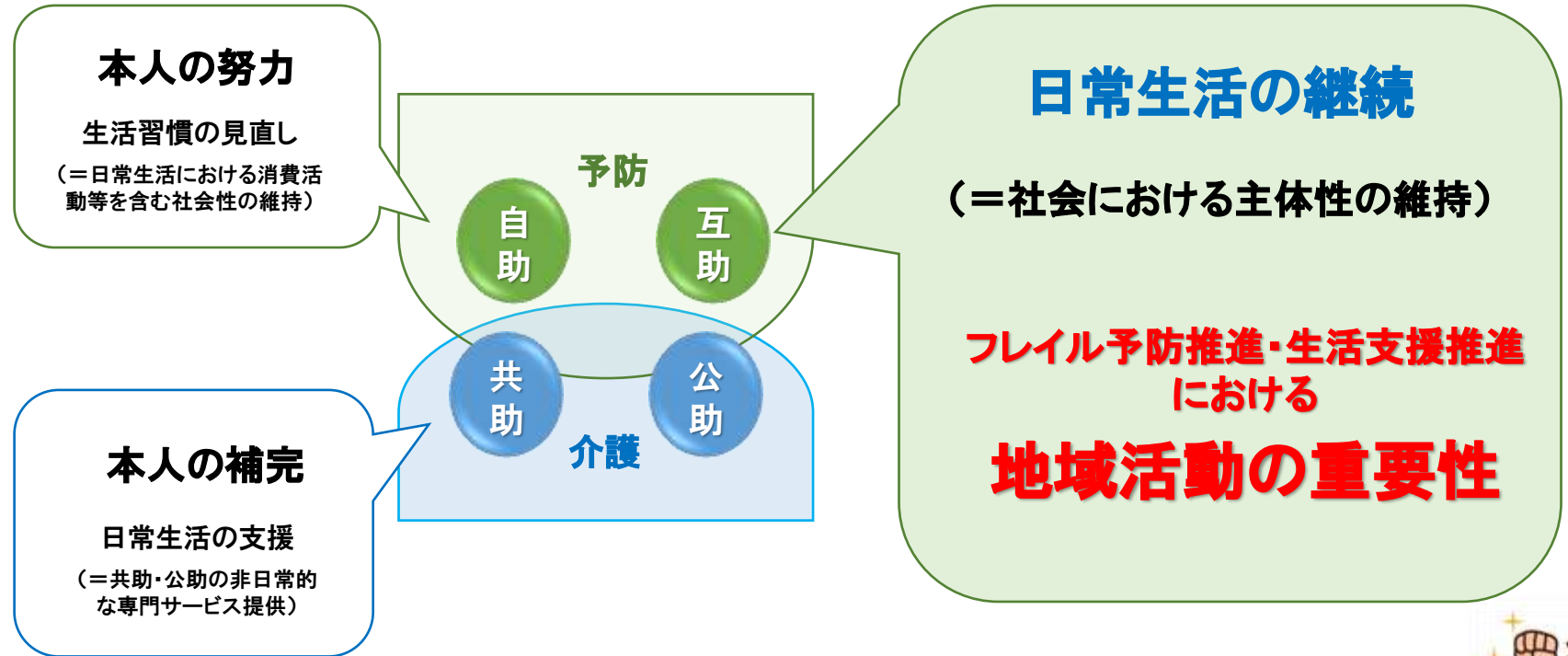


ポピュレーションアプローチ

ハイリスクアプローチ

11
要介護認定の仕組みと手順 厚労省老人保健課資料を基に編集

フレイル予防推進・生活支援推進における 地域活動の重要性



地域・住民の力でフレイル予防推進・生活支援推進を図る



柏市豊四季台地域の介護分析 (あけぼの町用)

① 柏市全体の要介護者の現状

表：年齢・要介護度別の人数・認定率（柏市在住者）

令和4年10月1日現在

年齢 ※1	1号被 保険者 数 【①】	要支援者数 【②】			要介護者数【③】					合計【②+③】		要支援 要介護 認定率 【((②+ ③)/ ①)】	要介護 認定を 受けて いない 人数 【①-② -③】	要介護 認定を 受けて おらず 入院し ている 人数 ※2	入院 者・施 設入所 者を除 く要介 護認定 者数 ※2	入院 者・施 設入所 者を除 く要介 護認定 率※2	住民登 録外の 人数 ※2	住民登 録外の 人数を 含む総 計※2	要介護認定率の比較 ※3																		
		要 支 援 1	要 支 援 2	計	要 介 護 1	要 介 護 2	要 介 護 3	要 介 護 4	要 介 護 5	計	総計								うち 入院 者数 ※2	うち 施設 入所 者数 ※2	あ げ ぼ の 町	豊 四 季 台	柏 市	千 葉 県	全 国												
65～69歳	22,643	65	69	134	125	86	78	63	47	399	533			2.4%	22,110																						
70～74歳	29,986	244	198	442	354	289	171	155	114	1083	1525			5.1%	28,461																						
75～79歳	24,325	537	358	895	613	393	233	229	174	1,642	2,537			10.4%	21,788																						
80～84歳	18,498	928	622	1,550	998	615	454	390	249	2,706	4,256			23.0%	14,242																						
85～89歳	11,116	934	682	1,616	1,221	700	611	516	311	3,359	4,975			44.8%	6,141																						
90～94歳																																					
95～99歳	6,025	436	425	861	934	696	652	683	381	3,346	4,207			69.8%	1,818																						
100歳～																																					
総計	112,593	3,144	2,354	5,498	4,245	2,779	2,199	2,036	1,276	12,535	18,033			16.0%	94,560																						

◎80歳を超えると介護認定率が特に増加する

※1 90歳以上はまとめて集計

※2 今回は不明であるが、今後分析すべき項目

※3 あげぼの町・豊四季台地域及び柏市は令和4年10月時点データ、千葉県及び全国は令和3年1月時点データから算出

【参考】介護保険第1号被保険者の人数

全国：35,744,590人 千葉県：1,720,065人 柏市：112,593人 豊四季台地域：8,359人 あげぼの町：1,444

②豊四季台地域の要介護者の現状

表：年齢・要介護度別の人数・認定率（豊四季台地域在住者）

令和4年10月1日現在

年齢 ※1	1号被 保険者 数 【①】	要支援者数 【②】			要介護者数【③】					合計【②+③】		要支援 要介護 認定率 【(②+ ③)/ ①】	要介護 認定を 受けて いない 人数 【①-② -③】	要介護 認定を 受けて おらず 入院し ている 人数 ※2	入院 者・施 設入所 者を除 く要介 護認定 者数 ※2	入院 者・施 設入所 者を除 く要介 護認定 率※2	住民登 録外の 人数 ※2	住民登 録外の 人数を 含む総 計※2	要介護認定率の比較 ※3					
		要 支 援 1	要 支 援 2	計	要 介 護 1	要 介 護 2	要 介 護 3	要 介 護 4	要 介 護 5	計	総計								うち 入院 者数 ※2	うち 施設 入所 者数 ※2	あ け ぼ の 町	豊 四 季 台	柏 市	千 葉 県
65～69歳	1,620	8	4	12	15	10	3	4	6	38	50			3.1%	1,570					2.7%	3.1%	2.4%	4.2%	4.3%
70～74歳	2,027	19	13	32	31	25	16	13	10	95	127			6.3%	1,900					6.1%	6.3%	5.1%		
75～79歳	1,598	42	25	67	48	23	15	7	8	101	168			10.5%	1,430					11.4%	10.5%	10.4%	17.5%	18.7%
80～84歳	1,437	79	59	138	87	39	36	32	12	206	344			23.9%	1,093					18.8%	23.9%	23.0%		
85～89歳	1,091	86	70	156	115	68	73	61	23	340	496			45.5%	595					43.3%	45.5%	44.8%		
90～94歳																							57.4%	59.2%
95～99歳	586	44	48	92	78	53	52	87	38	308	400			68.3%	186					65.0%	68.3%	69.8%		
100歳～																								
総計	8,359	278	219	497	374	218	195	204	97	1,088	1,585			19.0%	6,774					16.9%	19.0%	16.0%	16.7%	18.7%

◎80歳を超えると豊四季台地域でも介護認定率が特に増加する

※1 90歳以上はまとめて集計

※2 今回は不明であるが、今後分析すべき項目

※3 あけぼの町・豊四季台地域及び柏市は令和4年10月時点データ、千葉県及び全国は令和3年1月時点データから算出

【参考】介護保険第1号被保険者の人数

全国：35,744,590人 千葉県：1,720,065人 柏市：112,593人 豊四季台地域：8,359人 あけぼの町：1,444

③ あけぼの町の要介護者の現状

表：年齢・要介護度別の人数・認定率（あけぼの町在住者）

令和4年10月1日現在

年齢 ※1	1号被 保険者 数 【①】	要支援者数 【②】			要介護者数【③】					合計【②+③】		要支援 要介護 認定率 【(②+ ③)/ ①】	要介護 認定を 受けて いない 人数 【①-② -③】	要介護 認定を 受けて おらず 入院し ている 人数 ※2	入院 者・施 設入所 者を除 く要介 護認定 者数 ※2	入院 者・施 設入所 者を除 く要介 護認定 率※2	住民登 録外の 人数 ※2	住民登 録外の 人数を 含む総 計※2	要介護認定率の比較 ※3						
		要 支 援 1	要 支 援 2	計	要 介 護 1	要 介 護 2	要 介 護 3	要 介 護 4	要 介 護 5	計	総計								うち 入院 者数 ※2	うち 施設 入所 者数 ※2	あ け ぼ の 町	豊 四 季 台	柏 市	千 葉 県	全 国
65～69歳	339	1	1	2	1	5	0	0	1	7	9			2.7%	330						2.7%	3.1%	2.4%	4.2%	4.3%
70～74歳	375	2	2	4	6	6	2	1	4	19	23			6.1%	352						6.1%	6.3%	5.1%		
75～79歳	246	5	7	12	9	3	3	1	0	16	28			11.4%	218						11.4%	10.5%	10.4%	17.5%	18.7%
80～84歳	213	8	5	13	11	8	4	3	1	27	40			18.8%	173						18.8%	23.9%	23.0%		
85～89歳	171	14	8	22	14	17	14	5	2	52	74			43.3%	97						43.3%	45.5%	44.8%	57.4%	59.2%
90～94歳																									
95～99歳	100	5	8	13	11	11	7	19	9	57	70			65.0%	35						65.0%	68.3%	69.8%		
100歳～																									
総計	1,444	35	31	66	52	50	30	29	17	178	244			16.9%	1,200						16.9%	19.0%	16.0%	16.7%	18.7%

◎80歳を超えると、他の地域に比べると低いものの、あけぼの町でも介護認定率が増加傾向にある

※1 90歳以上はまとめて集計

※2 今回は不明であるが、今後分析すべき項目

※3 あけぼの町・豊四季台地域及び柏市は令和4年10月時点データ、千葉県及び全国は令和3年1月時点データから算出

【参考】介護保険第1号被保険者の人数

全国：35,744,590人 千葉県：1,720,065人 柏市：112,593人 豊四季台地域：8,359人 あけぼの町：1,444

④豊四季台地域の「現在の要介護度別・男女別・年齢別人数」（推計）

表：豊四季台地域在住者の性別・年齢別の要介護認定状況 【参考】 柏市平均寿命 男性：81.7歳 女性87.6歳

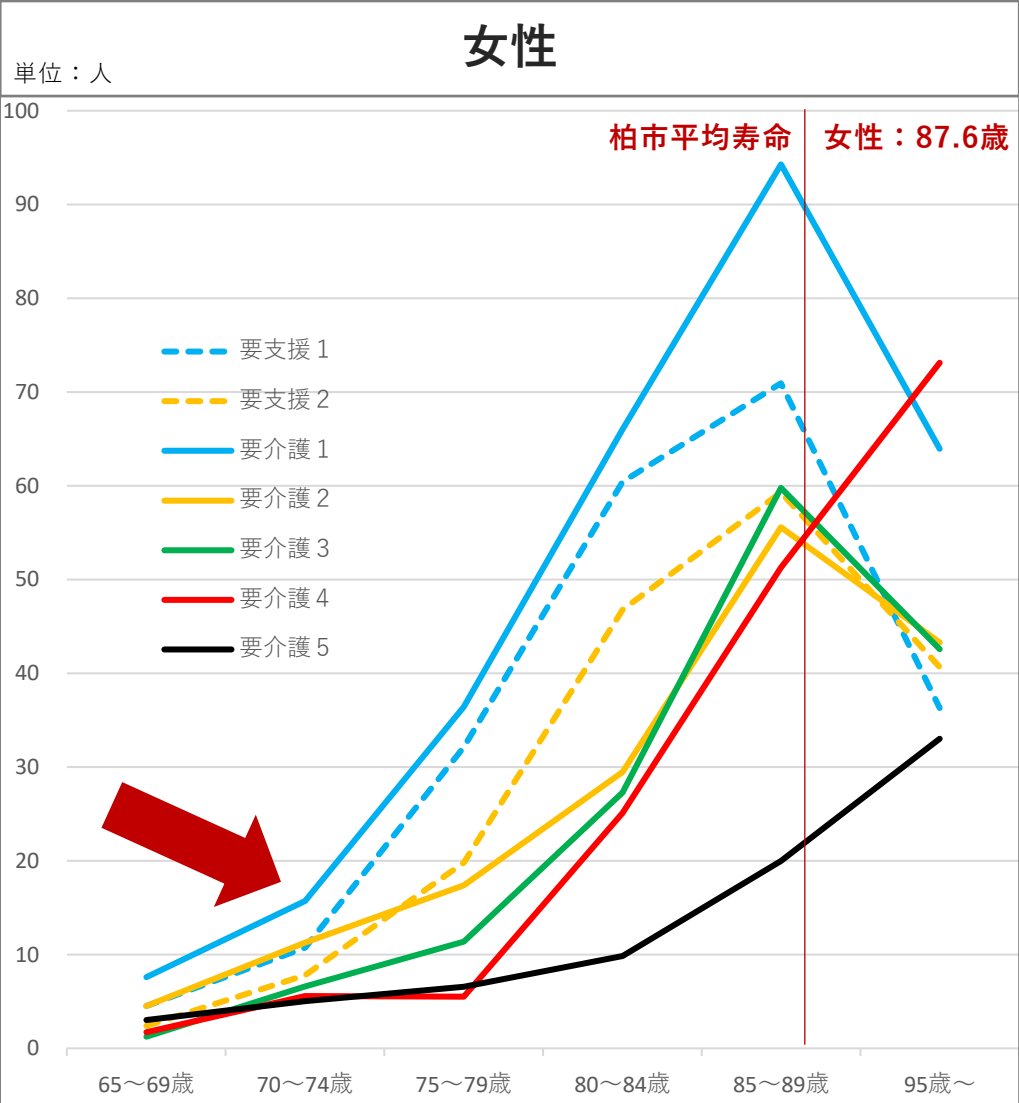
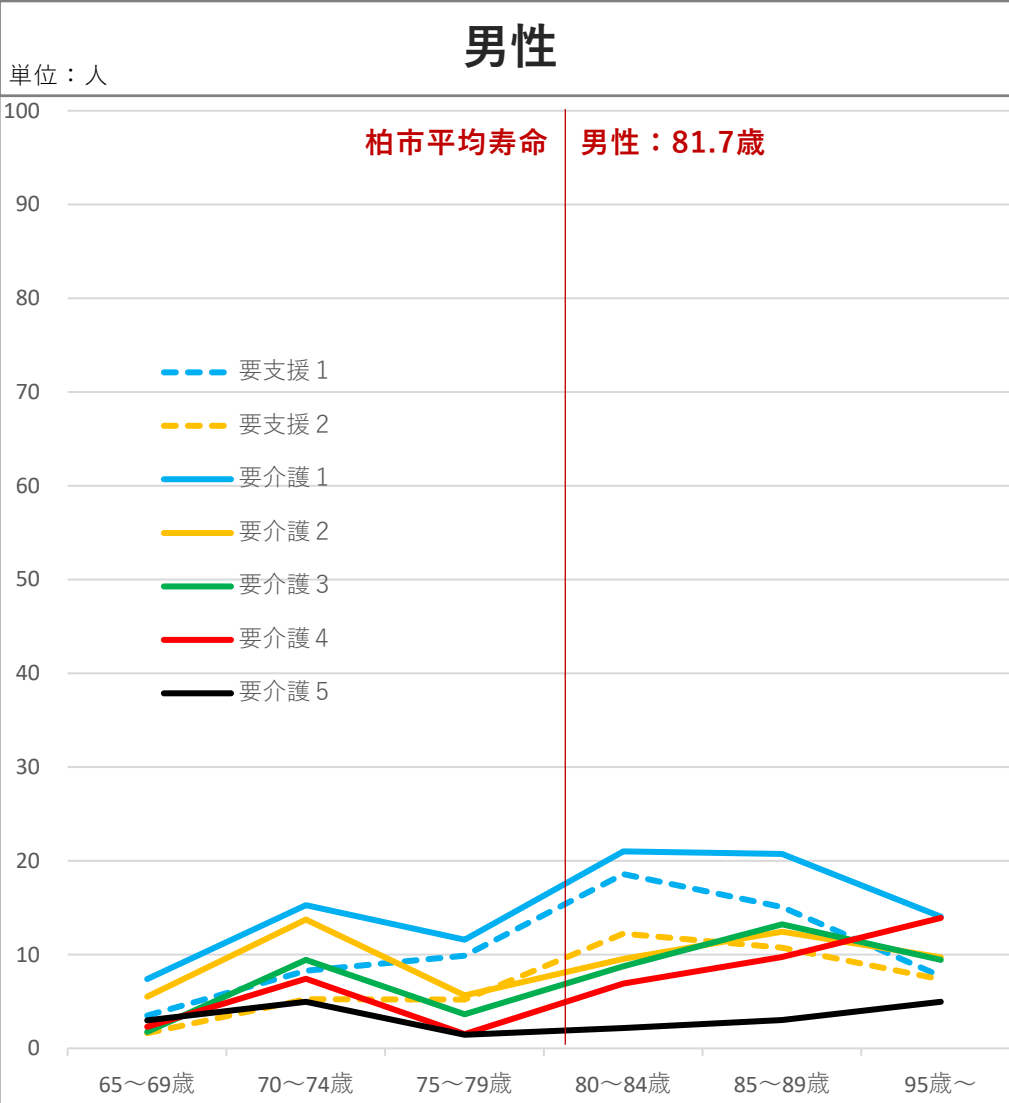
男性	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110				
	65～69歳					70～74歳					75～79歳					80～84歳					85～89歳					90歳～																								
要支援1	3					8					10					19					15					8																								
要支援2	2					5					5					12					11					7																								
要介護1	7					15					12					21					21					14																								
要介護2	5					14					6					10					12					10																								
要介護3	2					9					4					9					13					9																								
要介護4	2					7					2					7					10					14																								
要介護5	3					5					1					2					3					5																								
小計	25					64					39					79					85					67																								
合計																																														359人				

女性	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110				
	65～69歳					70～74歳					75～79歳					80～84歳					85～89歳					90歳～																								
要支援1	5					11					32					60					71					36																								
要支援2	2					8					20					47					59					41																								
要介護1	8					16					36					66					94					64																								
要介護2	5					11					17					29					56					43																								
要介護3	1					7					11					27					60					43																								
要介護4	2					6					5					25					51					73																								
要介護5	3					5					7					10					20					33																								
小計	25					63					129					265					411					333																								
合計																																														1,226人				

総計																																														1,585人				
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---------------	--	--	--	--

注：算出方法については、練馬区の年齢別・要介護度別の男女比（令和2年7月末時点）を、豊四季台地域の年齢別・要介護度別の実人数（令和4年10月1日時点）に当てはめて推定。

⑤豊四季台地域の「現在の要介護度別・男女別・年齢別人数」(④のグラフ化)



特に女性は

- ◎70歳を超えると軽度要介護認定者が増加
- ◎平均寿命を超えると重度要介護認定者が増加

⑥あけぼの町の「現在の要介護度別・男女別・年齢別人数」(推計)

表：あけぼの町在住者の性別・年齢別の要介護認定状況

【参考】 柏市平均寿命 男性：81.7歳 女性87.6歳

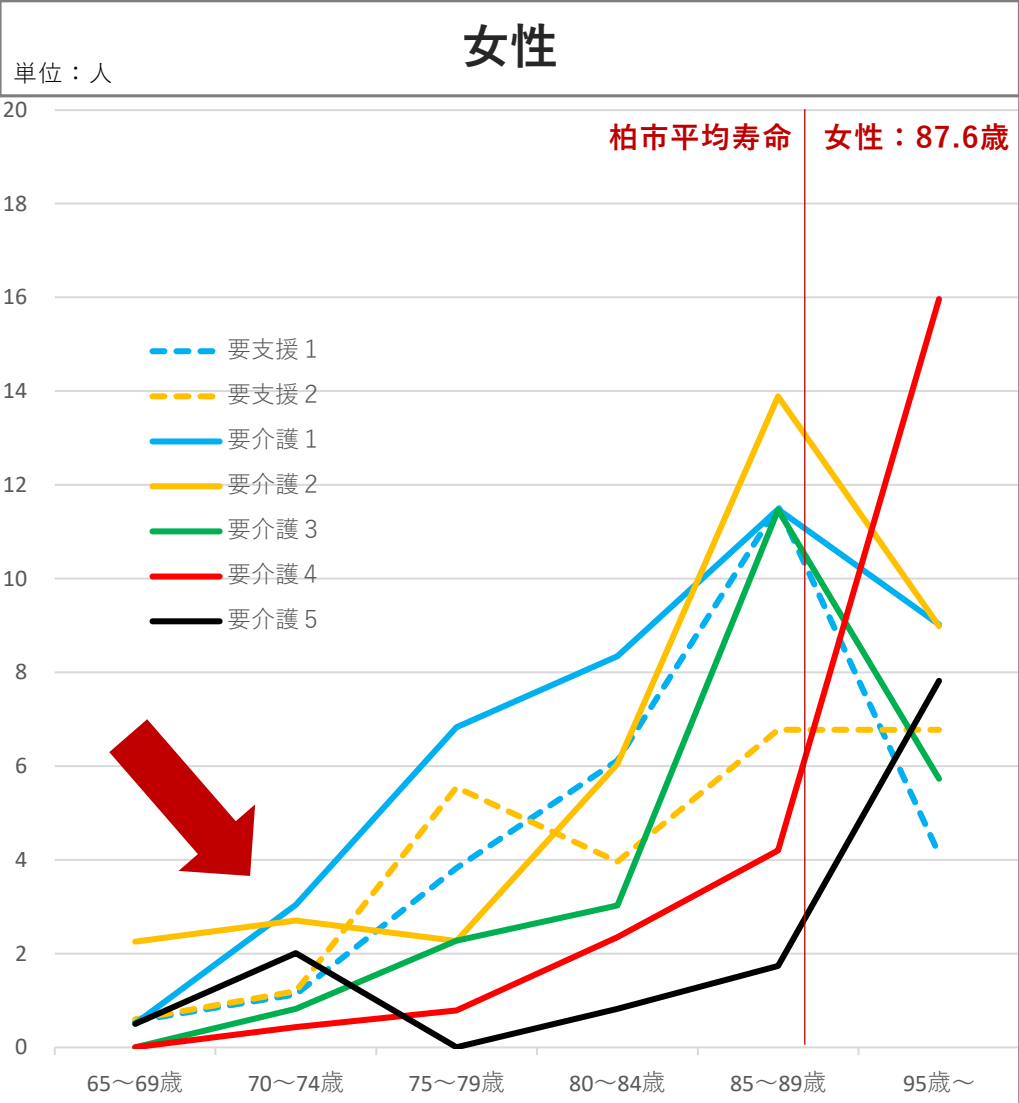
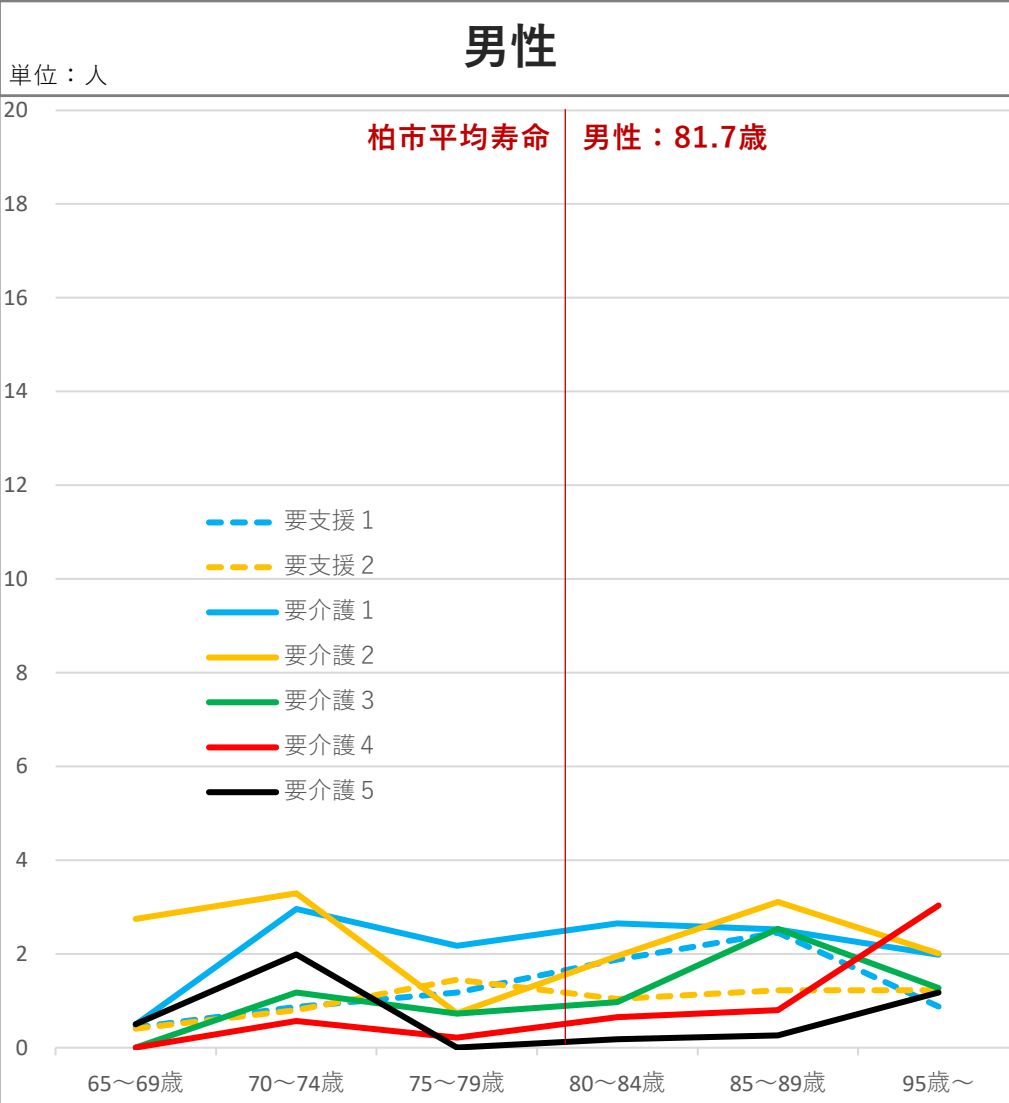
男性	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110
	65～69歳					70～74歳					75～79歳					80～84歳					85～89歳					90歳～																				
要支援1	0					1					1					2					2					1																				
要支援2	0					1					1					1					1					1																				
要介護1	0					3					2					3					3					2																				
要介護2	3					3					1					2					3					2																				
要介護3	0					1					1					1					3					1																				
要介護4	0					1					0					1					1					3																				
要介護5	0					2					0					0					0					1																				
小計	5					12					6					9					13					12																				
合計	57人																																													

女性	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110
	65～69歳					70～74歳					75～79歳					80～84歳					85～89歳					90歳～																				
要支援1	1					1					4					6					12					4																				
要支援2	1					1					6					4					7					7																				
要介護1	1					3					7					8					11					9																				
要介護2	2					3					2					6					14					9																				
要介護3	0					1					2					3					11					6																				
要介護4	0					0					1					2					4					16																				
要介護5	1					2					0					1					2					8																				
小計	4					11					22					31					61					58																				
合計	187人																																													

総計	244人																																									
----	-------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

注：算出方法については、練馬区の年齢別・要介護度別の男女比（令和2年7月末時点）を、あけぼの町の年齢別・要介護度別の実人数（令和4年10月1日時点）に当てはめて推定。

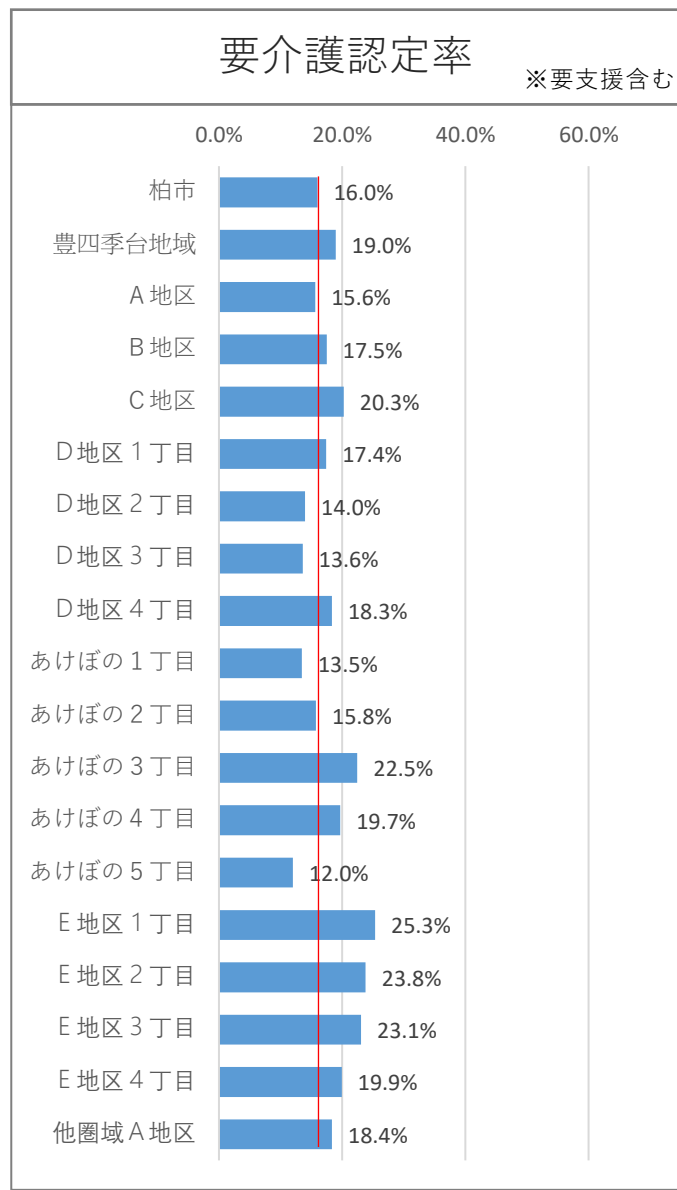
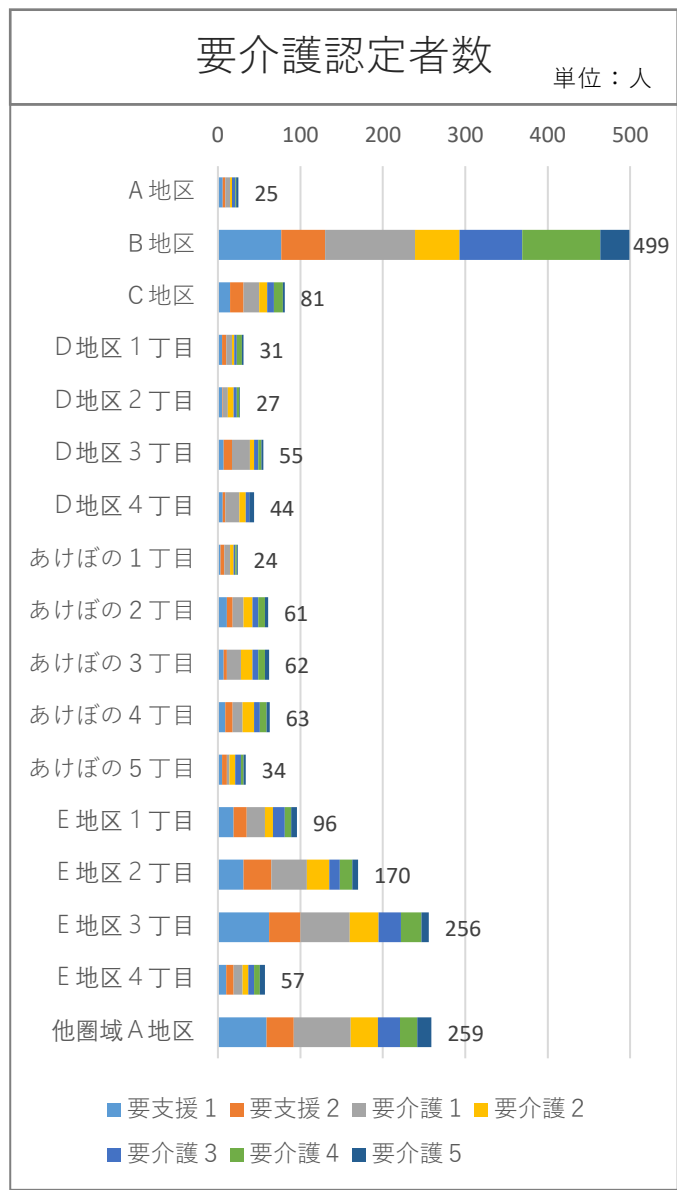
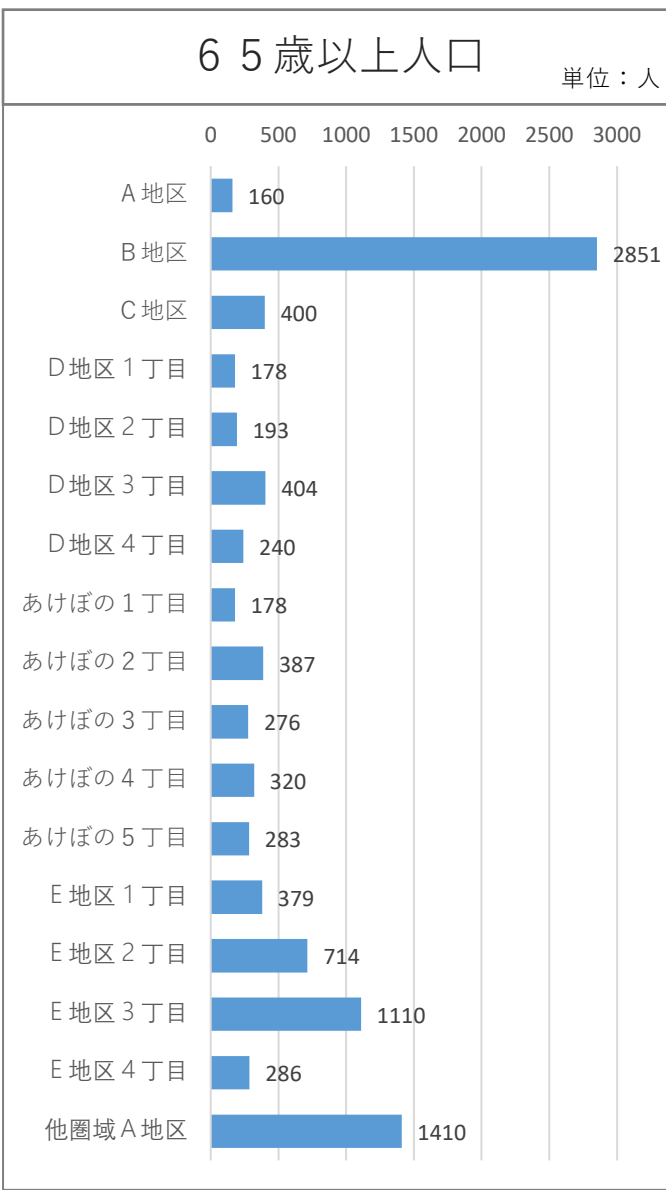
⑦あけぼの町の「現在の要介護度別・男女別・年齢別人数」(⑥のグラフ化)



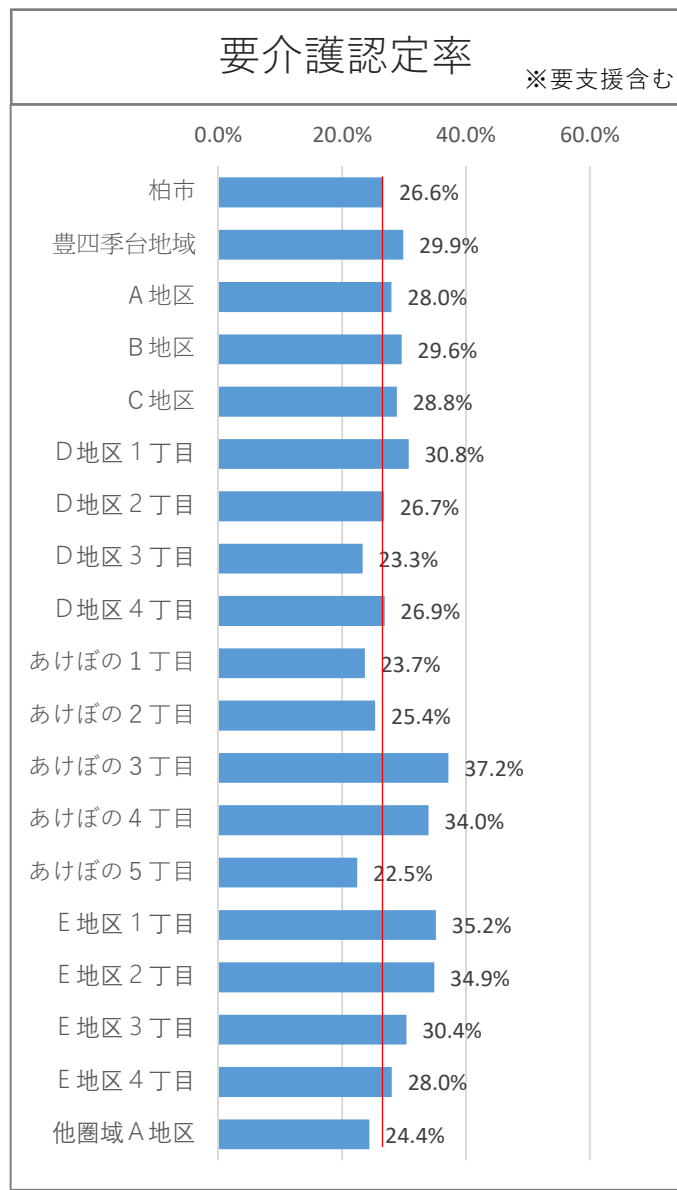
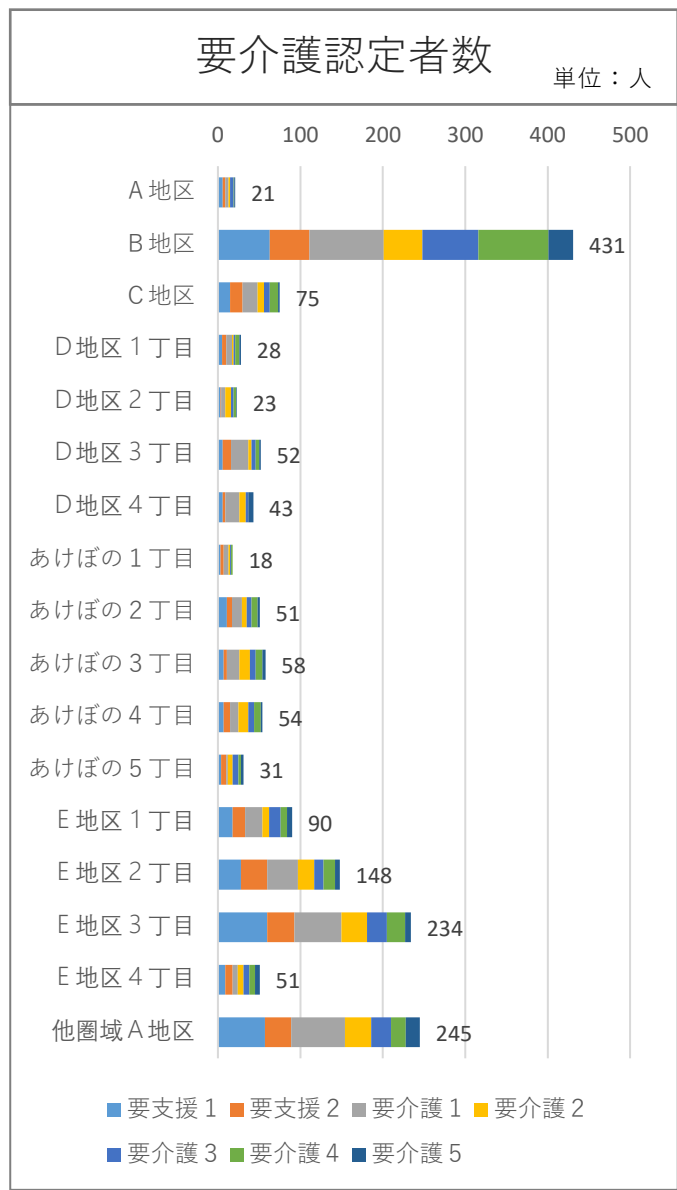
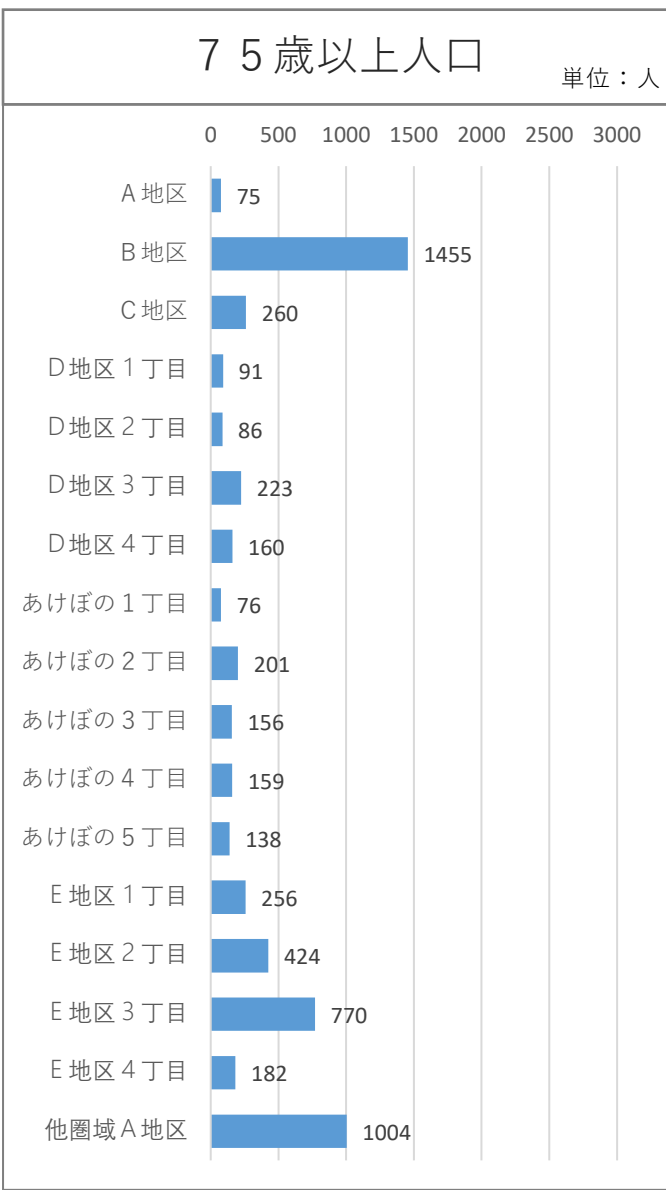
あけぼの町においても、女性は

- ◎70歳を超えると軽度要介護認定者が増加
- ◎平均寿命を超えると重度要介護認定者が増加

⑧豊四季台地域の町丁目単位での要介護者の現状（65歳以上）

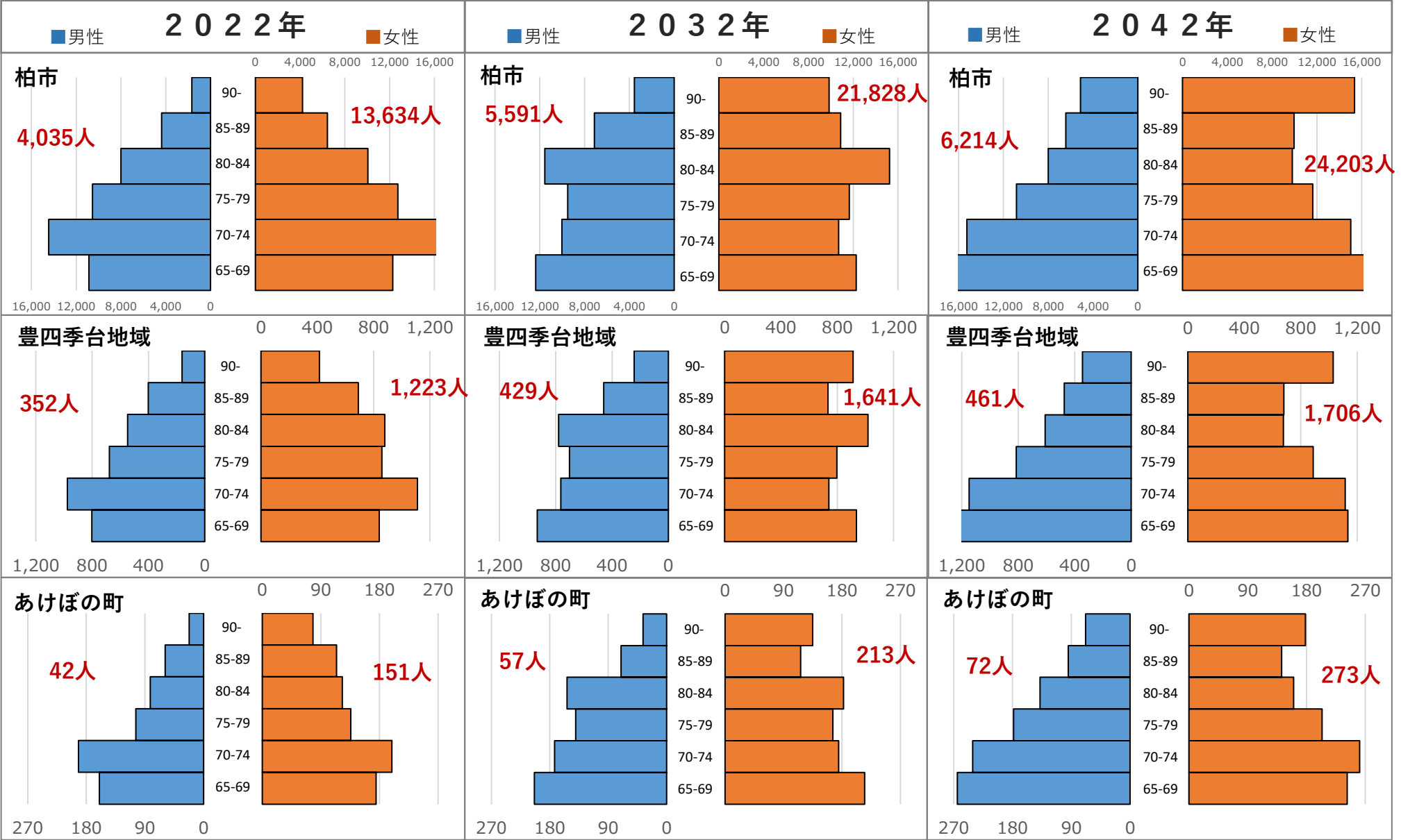


⑨豊四季台地域の町丁目単位の要介護者の現状（75歳以上）



⑩豊四季台地域の現在～将来年齢別人口予想

※2022年4月1日付け住民基本台帳データを基に作成



赤字は要介護認定者数

※厚生労働省「令和2年簡易生命表」における死亡率（5歳間平均値）に経過年数（10年）を乗じ、推移データを作成

参考資料 4 - 2

**【別添 4】フレイル予防による地域活動力の向上
に関するあけぼの町の取組の総括
関連説明資料**

東京大学高齢社会総合研究機構

1、あけぼの町会における 地域活動の現状

説明の要点

あけぼの町会はこれまで集会所に役員が常駐した形で様々な活動を運営する体制※を取ってきている。具体的には下記の取り組みがあげられる。夏祭り等のイベントが歴史的に古くから行われており、場所を柏第1小学校校庭へと移し多世代がふれあうイベントとして発展した。

その後平成10年頃から地域の多世代交流が活発に進み始めた（2.3.4.5）。

そして近年に至っては、広報誌の発行等の広報活動、並びに高齢者の居場所づくり等が充実し、令和4年からはフレイル予防活動に進展したあけぼのほのぼの会へと展開した。

1. 夏祭り「あけぼの納涼の夕べ」
町会設立当初から開催、その後場所を柏第1小学校校庭を使用し多世代がふれあうイベントとして定着
2. あけぼのクラブ 平成10年頃から活動 <シニアクラブ活動>
3. あけぼの広場 平成10年頃から活動 <主に“母と子の集い”を中心に活動>
4. 防犯パトロール活動 平成10年から活動 <子供たちも楽しく参加>
5. 三世代ふれあいの集い 平成10年頃から活動 <ワイワイガヤガヤ楽しく開催>
6. 広報誌「あけぼのだより」の発行 平成17年頃から発行 <広報活動の充実>
7. あけぼのサロン 平成20年から活動 <高齢者の“居場所”づくり>
8. あけぼのほのぼの会 令和4年から活動 <楽しくみんなでフレイル予防>

上記の町会が実施する取り組み以外に、柏市やふるさと協議会が主催するイベントにも積極的に参加し、明るい町会づくりやコミュニティ活動の推進を行っている。

各取り組みの内容については、①地域のコミュニティづくりに向けた取り組み、②地域の子育て支援・防犯等の地域の支え合いに向けた活動、③さらにはフレイル予防に資する活動に分類される。

※あけぼの町会の事務局体制

およそ15年前から、町会所有の集会所「あけぼのふるさとセンター」の一室を町会事務所として活動。

町会長と副会長は、週5日ほど事務所に通い、打ち合わせや事務作業等を行いながら町会活動を推進している。

町会の活動拠点が明確に存在することで、町会役員が集まる機会も多くなり、町会活動の発展に繋がっている。

あけぼの町会の主な地域活動紹介①

あけぼのサロン 平成20年から活動<高齢者の“居場所”づくり>

- 毎月第2水曜日10：00から2時間を限度に開催
- 高齢者の話し合う場づくりを目標に立ち上げたサロン。
- あけぼのクラブ役員・民生児童委員がリーダーとなり、西口地域包括支援センターの協力を得て開催している。
- 内容についてはその都度話し合っ決定する（フレイル予防体操・脳トレ手遊び等）

あけぼのクラブ 平成10年頃から活動<シニアクラブ活動>

- 高齢期を共に生きるため健康増進活動、友愛ボランティア活動、自己を高める学習活動等を実施。
- 60歳以上の方を対象に、誕生会（年3回）・映画会（年4回）・カラオケ（月2回）旅行会（年2回）・グラウンドゴルフ（週2回）・書道教室（40年以上続く）手芸会・演芸会・絵手紙・ボランティア活動・暑気払い会・新年会等を実施。

あけぼの町会の主な地域活動紹介②

あけぼの広場 平成10年頃から活動 <主に“母と子の集い”を中心に活動>

- 毎月第4木曜日10：00から11：30
- 地域で子育てをする方々の情報交換や友達作りに気軽に参加できる交流の場として開催
- 手遊び・絵本の読み聞かせ・エプロンシアター・身近なものでおもちゃ作り・季節の行事等を実施
- 健康づくり推進員・子育て支援員も参加

防犯パトロール活動 平成10年から活動 <子供たちも楽しく参加>

- 月2回 20：00から1時間実施（歳末にも5日間の特別パトロールを実施）
- 2人1組に分けて町内全域をパトロール（歳末パトロールは子供たちが20名以上参加）
- 地域や子供たちの安全のため、明るい町づくりを目指して活動
- 柏警察・柏市防犯協会が毎年秋に開催している、『電話de詐欺・空き巣「0」作戦』にも参加。



あけぼの町会の主な地域活動紹介③

三世代ふれあいの集い 平成10年頃から活動 <ワイワイガヤガヤ楽しく開催>

- 毎年歳末に実施
- 子ども・親子・高齢者など多くの方々が参加
- 餅つき体験やアートバルーン教室などを実施



夏祭り「あけぼの納涼の夕べ」 町会設立当初から開催 <多世代が“ふれあう”イベント>

- 毎年8月に開催
- 柏第一小学校校庭を会場に様々な住民が集まり、語り合い・ふれ合いながらそれぞれの絆を深め合うことをテーマに開催し、地域連携の輪を広げている。
- 町会・商店会・親子会の出店、こども太鼓の演奏、のど自慢カラオケ、よさこいソーラン、盆踊り、あけぼの大賞抽選会などを実施。
- 多数のボランティアの方も協力し開催している。



あけぼの町会の主な地域活動紹介④

あけぼの ほのぼの会 令和4年から活動 <楽しくみんなでフレイル予防>

- 毎月第3木曜日10:00から11:30
- 楽しみながらのフレイル予防活動を通して、地域のコミュニケーションもより活性化していこうと発足。
- 高齢者をはじめとする地域の方々が、気軽に出かけて、家族や近隣の友人等と交流を保ちながら心暖かい日々を送っていただき、元気に暮らしていけることを目的としている。
- 方言ラジオ体操・ストーンカーリング・ボッチャ・フレイルチェック・輪投げ大会・風船バレー・握力指力測定・体操教室・踏まネット運動・クリスマス会・ご当地マップ・すごろく・的当て遊び・ソフトエアロ等を実施



広報誌「あけぼのだより」の発行 平成17年頃から発行（現行形式）<広報活動の充実>

- 年4回発行
- 実施されたイベントの様子や今後の予定等を発信し、町会活動を周知している。



あけぼの町会の主な地域活動紹介⑤

その他に行っている様々な活動 <多様な団体・サークルが取り組んでいる>

- **敬老の日イベント**・・・民生委員が、高齢者250名以上1人ひとりにお元気な様子を伺いながらお祝いの品を配布。
- **防災避難訓練**・・・地震や風水害などに備え、町会をあげて実施。消火器使用体験、車いす試乗、心肺蘇生訓練、AED訓練、炊出し等も行い、多くの方が参加。
- **作品展会**・・・書道、手芸、絵手紙、水彩画、写真など各サークル活動の成果や町会活動記録写真等を展示。来訪者には甘酒を提供し歓談の場となっている。
- **寄席あけぼの亭**・・・コミュニティ活動推進の一環として、落語家の方を招いて寄席を開催。お楽しみ抽選会等も行い、多くの方が参加。
- **ごみ「0」デー**・・・町内各所から親子連れや高齢者の方が参加し、ごみ拾いを実施。
- **朝の通学路あいさつ運動**・・・児童の見守りも兼ねて、PTAや民生児童委員が参加し小学児童に対する挨拶運動を実施。



II、あけぼの町における 要介護認定率等の現状

説明の要点

【図 1、2】豊四季台地域 地域毎の高齢者数と高齢化率

豊四季台地域にお住まいの65歳以上、75歳以上、85歳以上の高齢者数と高齢化率をみると豊四季台地域全体ではUR団地がある豊四季台地区の高齢化が進行しているが、戸建て、マンションにお住まいのあけぼの町1～5丁目の高齢化率は全市平均より65歳以上、75歳以上で若干低い状況であるが、85歳以上ではほぼ同等である。

【図 3】豊四季台地域の町丁目単位での要介護者の現状（65歳以上）

豊四季台地域の各地域の65歳以上人口、介護認定者数及び介護認定率を示している。

あけぼの町3丁目、4丁目にはサービス付き高齢者向け住宅（3丁目：ユノトレメゾンかしわ 40戸）と（4丁目：オアシス柏あけぼの 48戸）がある。

あけぼの町以外からの入居者が推測されることから、入居者の内、介護認定者を差し引いて地域の要介護認定率を推計した。（推計方法は参考資料に記載）

その結果、あけぼの町1～5丁目の平均介護認定率は**12.2%**となり、柏市全体（16.0%）及び豊四季台地域（19.0%）の中ではかなり低い値を示している。

【図 4】豊四季台地域の「現在の要介護度別・男女別・年齢別人数」（推計）

特に女性は、70歳を超えると要支援1から要介護1認定者の増加が顕著である、また80歳を超えると要介護2から要介護5認定者が増加する。

各介護認定者数は平均寿命の87.6歳付近がピーク。介護度が進展して最期を迎えるわけではない。

注：算出方法については、練馬区の年齢別・要介護度別の男女比（令和2年7月末時点）を、あけぼの町の年齢別・要介護度別の実人数（令和4年10月1日時点）に当てはめて推定。

【参考資料】あけぼの町のサ高住入居者数を除いた要介護認定率の推計

図1 豊四季台地域 地域毎の高齢者数（65歳以上、75歳以上、85歳以上）

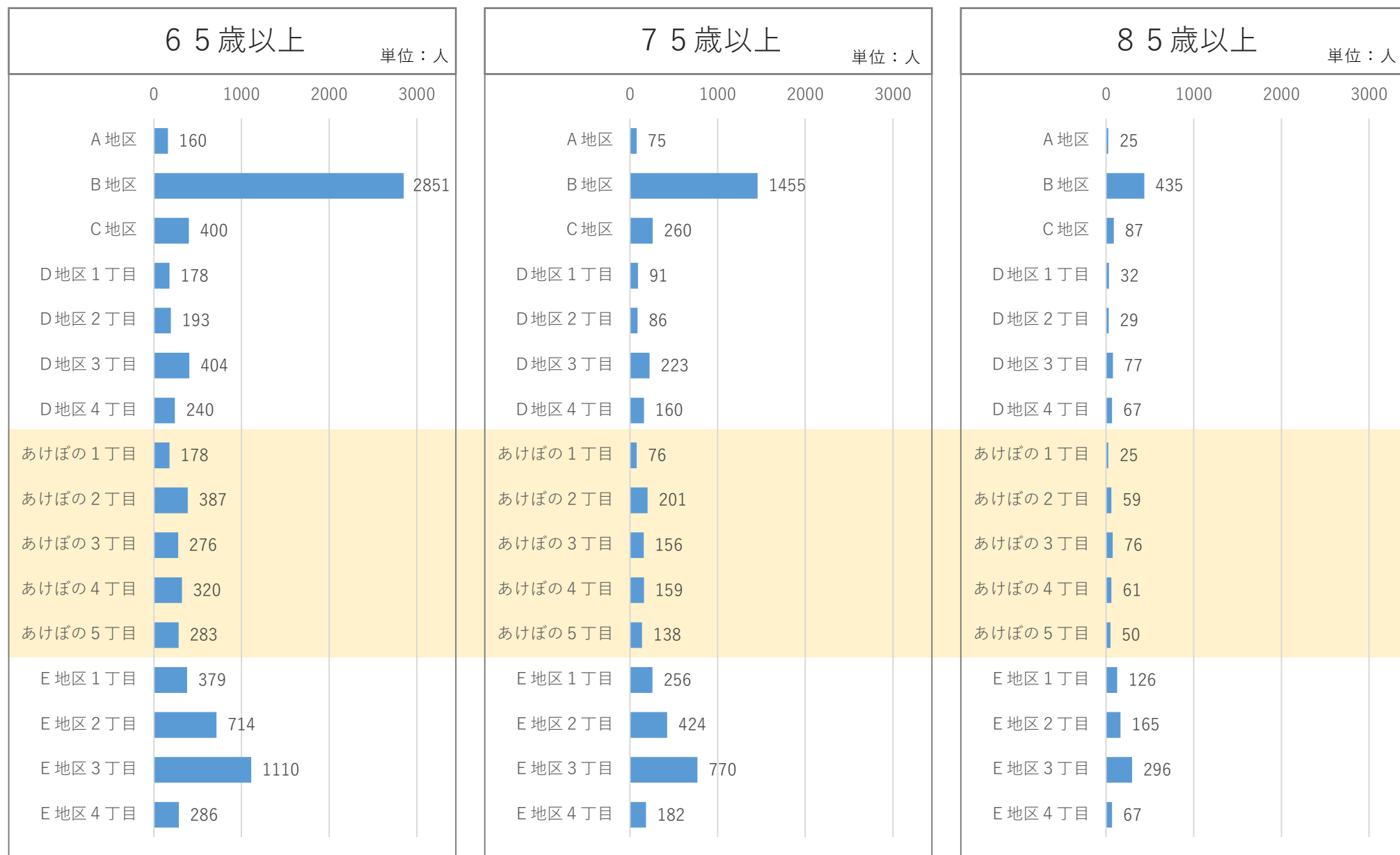
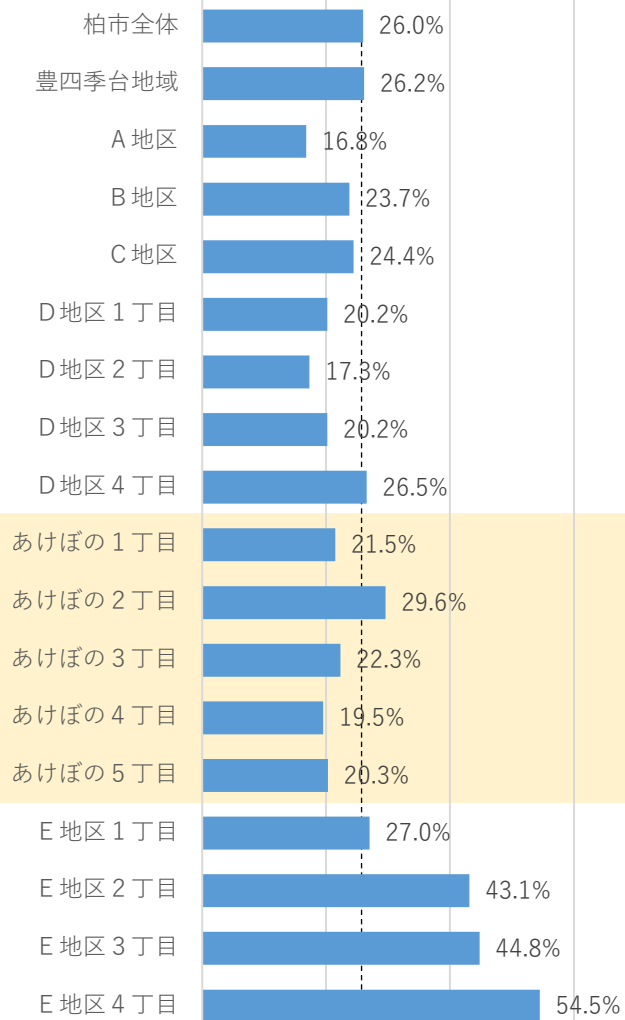


図2 豊四季台地域 地域毎の高齢化率（65歳以上、75歳以上、85歳以上）

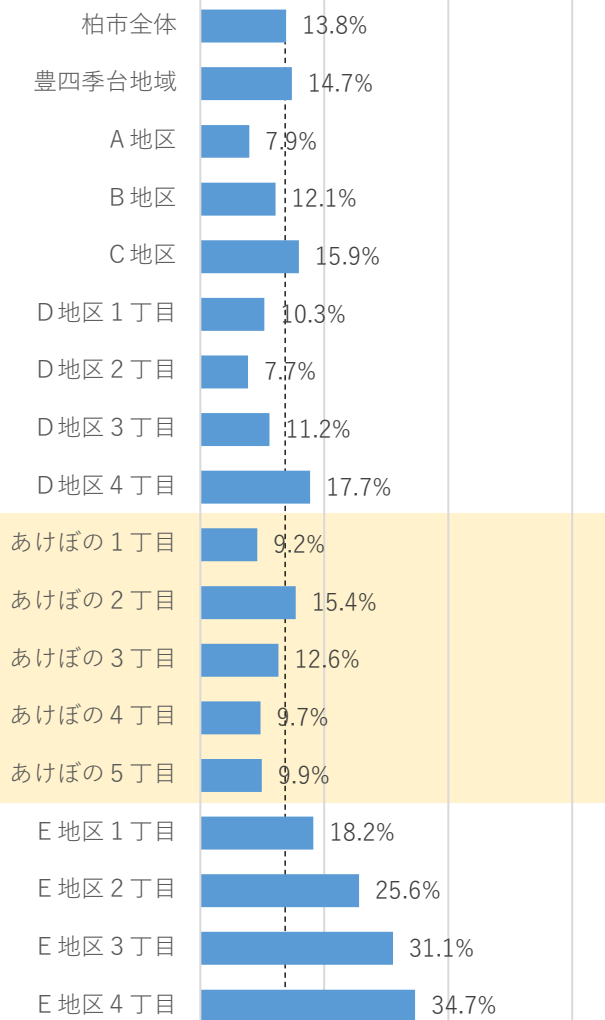
65歳以上

0.0% 20.0% 40.0% 60.0%



75歳以上

0.0% 20.0% 40.0% 60.0%



85歳以上

0.0% 20.0% 40.0% 60.0%

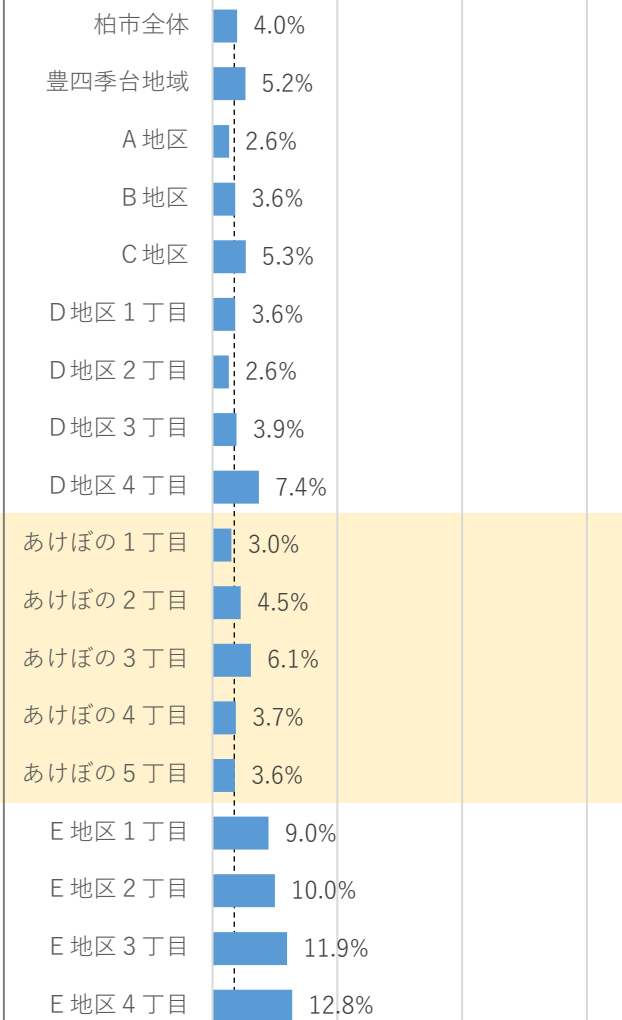


図3 豊四季台地域の町丁目単位での要介護者の現状（65歳以上）

令和4年10月1日現在

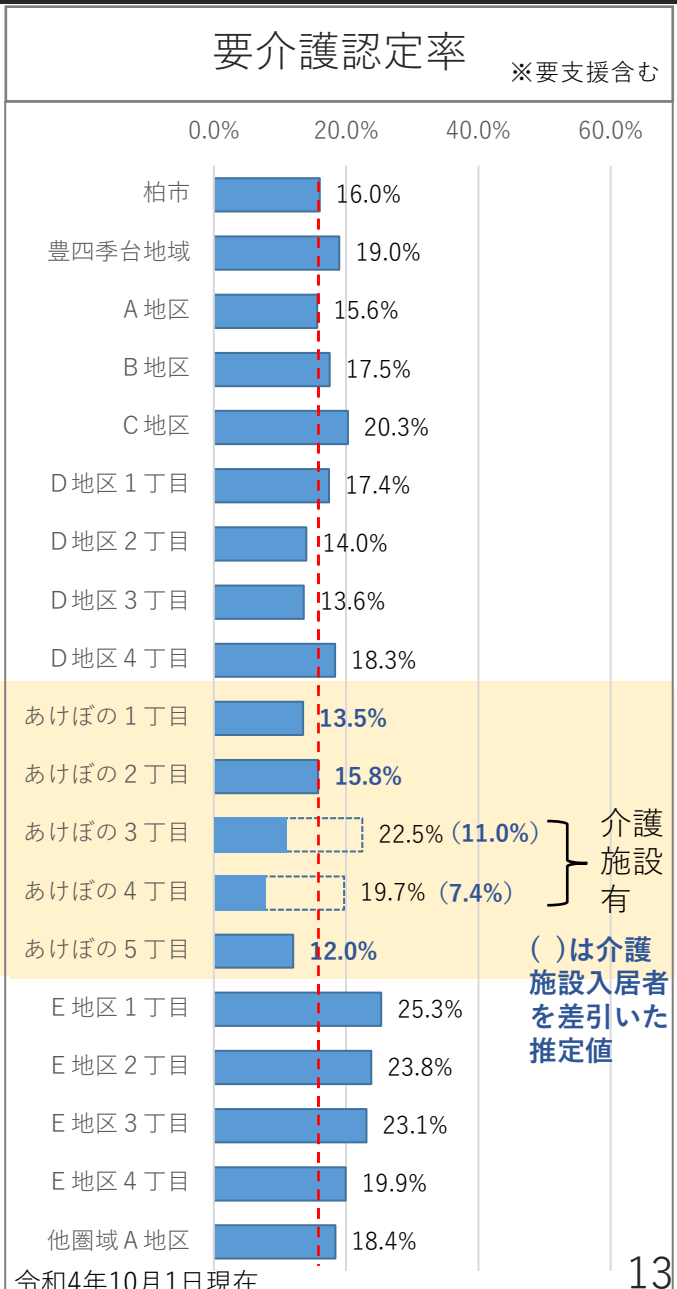
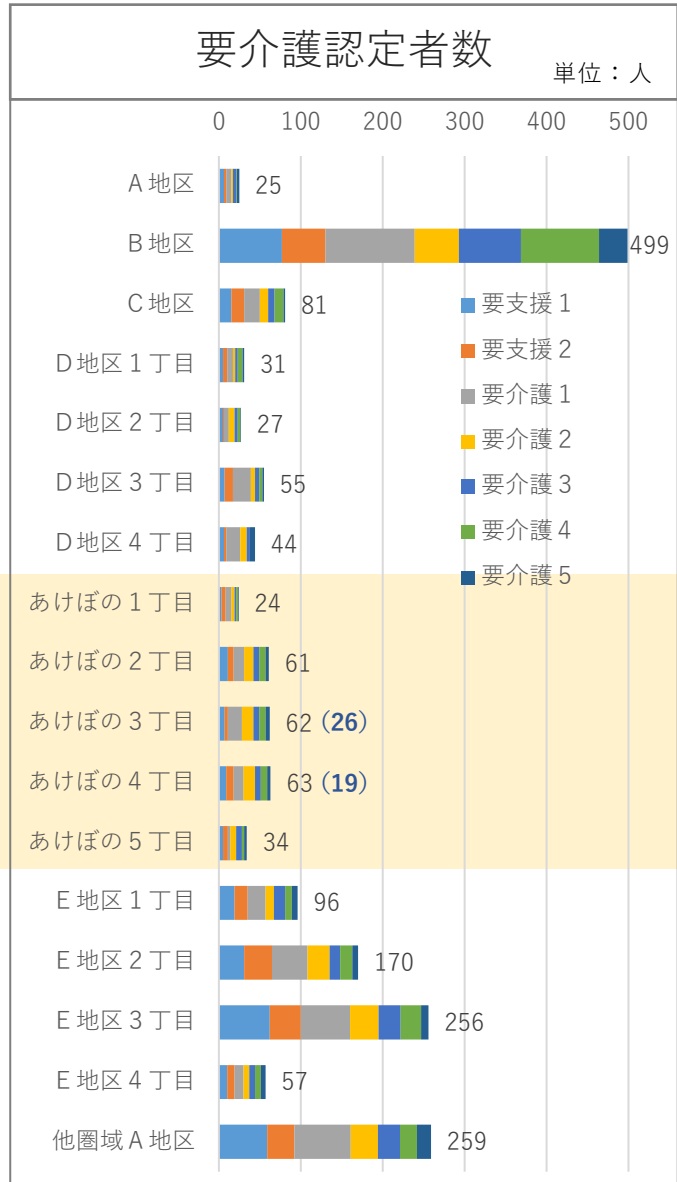
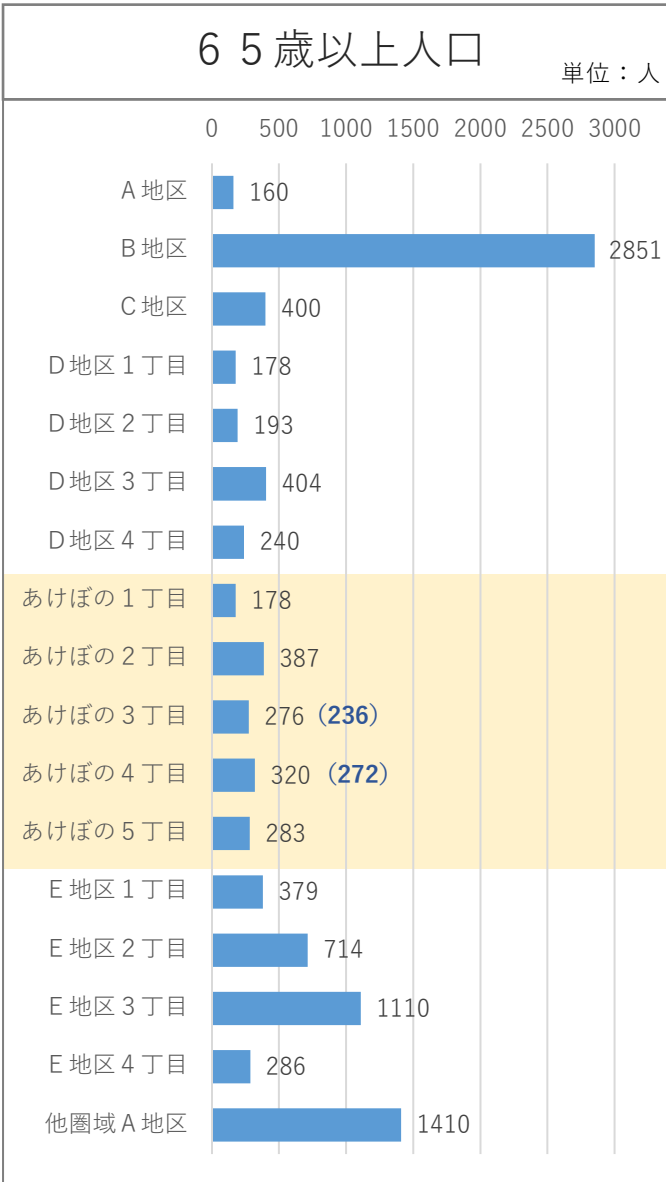
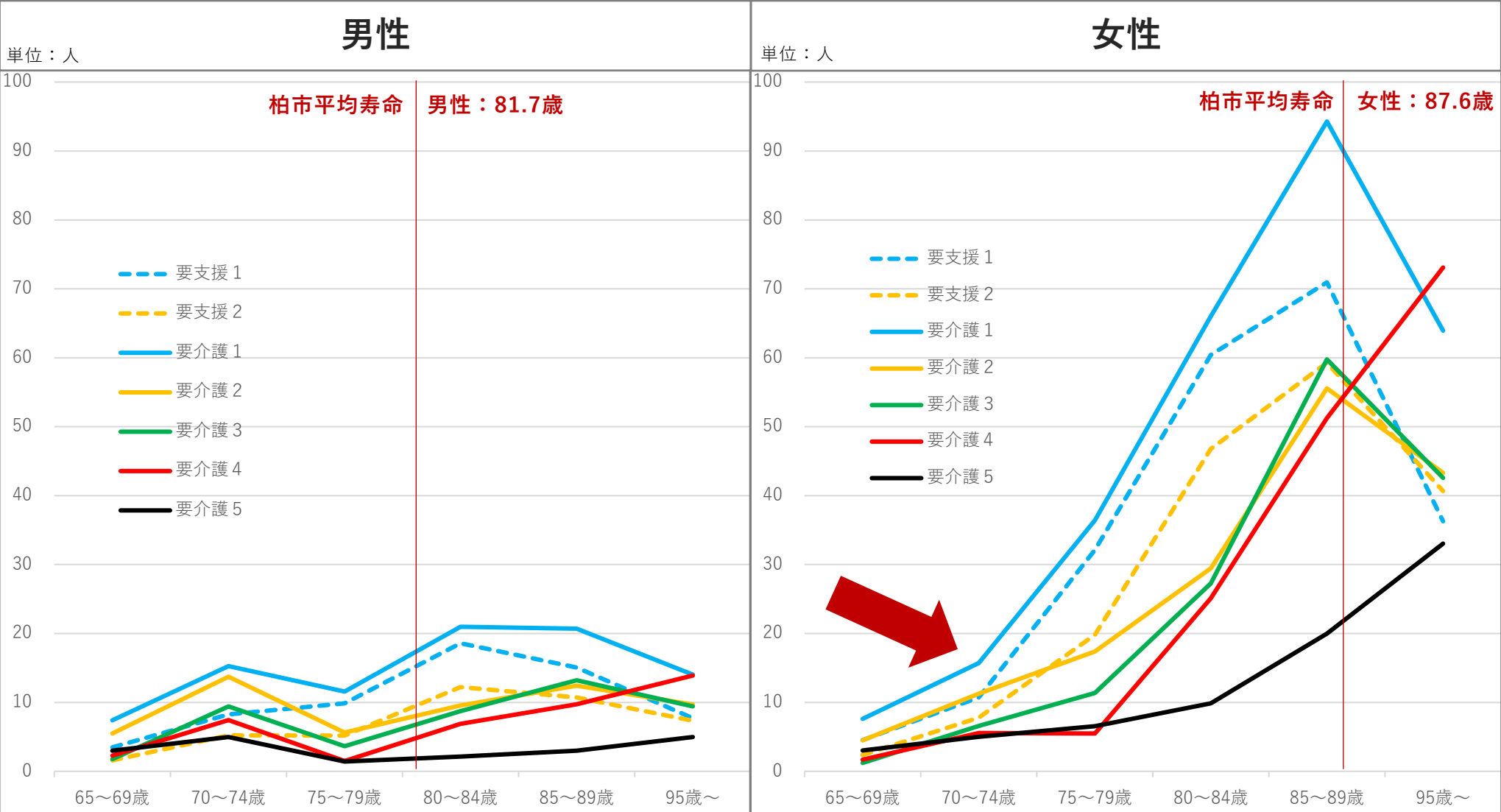


図4 豊四季台地域の「現在の要介護度別・男女別・年齢別人数」(推計)



◎70歳を超えると要支援1から要介護1認定者の増加が顕著である
 特に女性は ◎80歳を超えると要介護2から要介護5認定者が増加
 ◎各介護認定者数は平均寿命の87.6歳付近がピークとなる

【参考資料】あけぼの町のサ高住入居者数を除いた要介護認定率の推計

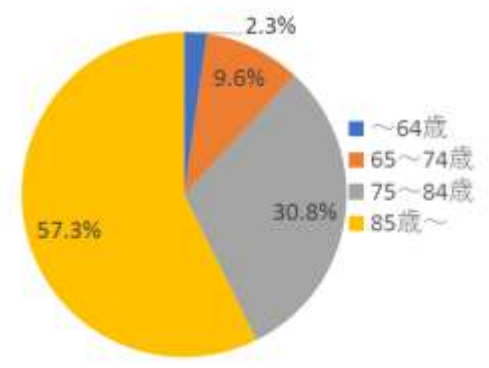
ユノトレメゾンかしわ：あけぼの3丁目・サ高住・40戸
 オアシス柏あけぼの：あけぼの4丁目・サ高住・48戸

上記戸数に下記資料の認定無し割合「9.2%」を乗じて、サービス付き高齢者向け住宅に入居している要介護者数を算出。

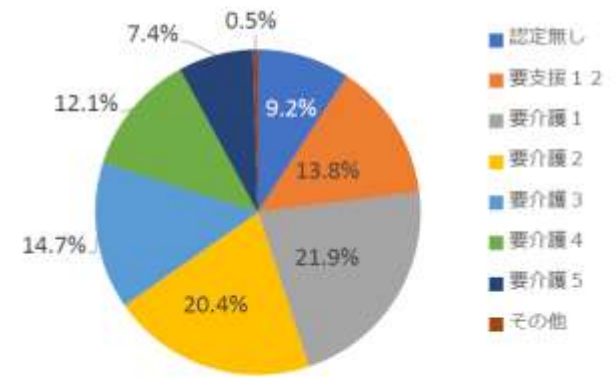
運営情報を提供した住宅の入居者情報

- ・入居者の年齢別では、「85歳～（57.3%）」「75～84歳（30.8%）」が多く、全体の9割弱が75歳以上である。
- ・要介護度別では、要介護1が21.9%、要介護2が20.4%と、要介護1～2が全体の約4割を占める。要介護3以上の重度者も全体の3割強となっている。

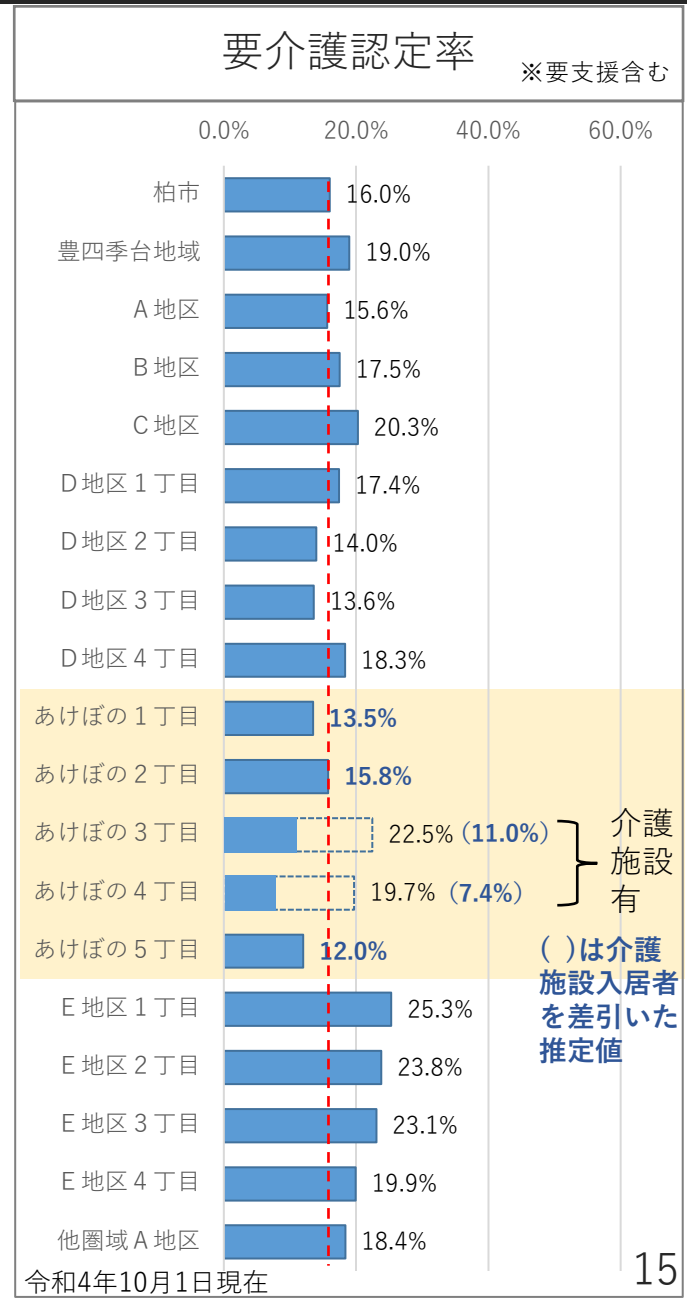
■入居者の年齢別比率



■入居者の介護度比率



※サービス付き高齢者向け住宅情報提供システム運営情報（R2年8月末時点）より作成。
 全4,036件（登録総数7,680件の52.6%）、142,079戸（登録総数258,321戸の55.0%）。うち、86件入居者数情報なし。



Ⅲ、今後のあけぼの町会での 重点的な取り組み

1, 従来の取組みを継承しつつ、フレイル予防を基軸としたほのぼの会の活動をより強化する。

具体的には、テーマを決めた勉強会などの開催、参加者増加へ向けた取組み、メニューの多様化等を企画検討し実行する。

2, 地域の小学校や色々な関係者との連絡をより密にできるよう、地域コミュニケーションを充実させる（LINEWORKS等、スマートフォンの利活用も含め）。

3, 町会で実施している取組みに親子での参加の促しや、若い世代へ向けた町会活動の周知などを行い、更なる多世代交流の推進を目指していく。

IV、ソーシャルキャピタルからみた地域の差 ー地域でのヒアリングより

東京大学高齢社会総合研究機構：吉澤、飯島や. 投稿論文準備中
(転載禁)

質的分析：インタビュー調査

量的研究の結果

- 同じ市であっても生活圏域によってフレイルの割合の差がある
- 同じ地域であっても前期・後期高齢者のフレイルの割合の差がある
- 生活圏域によって運動・文化・社会活動の不参加者の割合に差がある
- 運動、文化、ボランティア関係のグループに参加する人が多い地域は、フレイル・プレフレイルの人が少ない

インタビュー調査

【対象者】

量的研究結果より、フレイルの割合が高い豊四季台地区、前期・後期高齢者のフレイル割合に差がある田中地区、地域活動が高く、フレイル割合が低い松葉及び増尾地区、富勢地区の社会福祉協議会の方に行った。

【インタビュー内容】

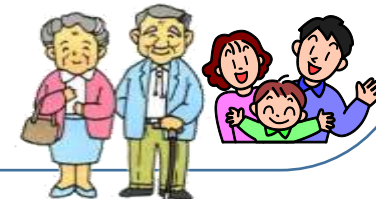
・地域活動について

(活動内容、頻度、主催者、参加人数、新規参加者数、参加者の年齢、参加の楽しみ、独居者数等)

・広報活動の方法 (口コミ、回覧板、掲示板、社協及び包括からのお知らせ、インフルエンサーの有無等)

・地域について (活動場所までの交通手段、地域の強みと弱み)

・地域活動の組織体制



質的分析の結果

インタビュー調査の結果をフレイルの割合の違いのある地域の差ごとに質的に分析

○インタビューの内容からの分析

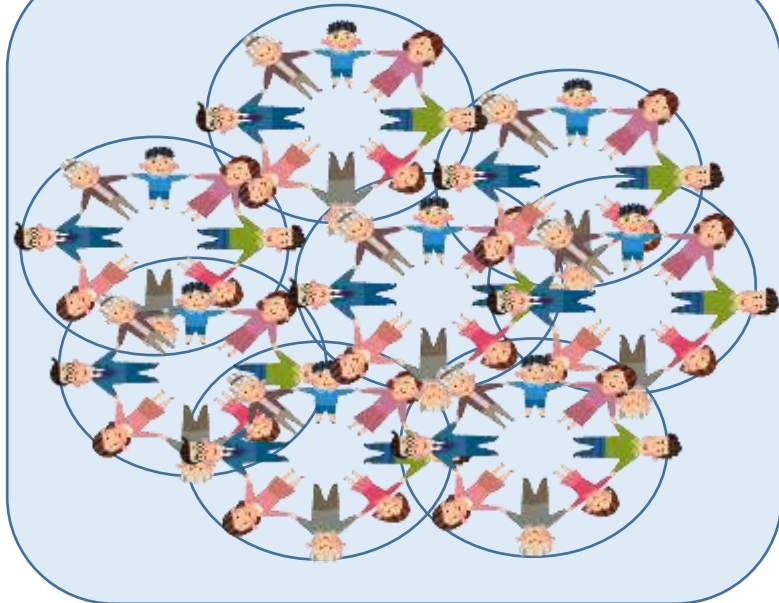
○インタビューのキーワードの頻度を分析

ソーシャルキャピタルからみた地域の差

【地域活動への参加者が多く、ルールが少ない】

- 地域サロンの参加者はリピーターが多いけれど、新規参加者も入ってきたりしてます。
- サロン以外の地域全体でのイベントや行事が頻繁に開催され、イベントや行事には全町会が参加しています。
- 関係者を巻き込むのが上手で協力者がどんどん増えていく
- 行事に関しては、さまざまな年代が参加しにぎわっています。子どもから高齢者までさまざまです。

橋渡し型SC



【地域活動への参加者が少なく、ルールが多い】

- 地域サロンの参加者はリピーターが多く、新規参加者を増やすためにはどうしたらいいのだろうかと悩んでいます。
- リピーターが多いので、新しい人は入りづらい雰囲気があるみたいです。
- 一部の地域は元気で団結力がある

結束型SC



地域の差とインタビュー内容の 要点

○地域活動参加者について

○サロンや行事の周知方法

○地域の強み

地域のどのような差があるのか？

地域活動への参加者が多く、フレイルが少ない

地域活動への参加者が少なく、フレイルが多い

【地域活動参加者について】

- 地域サロンの参加者はリピーターが多いけれど、新規参加者も入って来たりしてます。
- サロン以外の地域全体でのイベントや行事が頻繁に開催され、イベントや行事には全町会が参加しています。
- サロン参加者は後期高齢者、担い手は前期高齢者です。
- 行事に関しては、さまざまな年代が参加しにぎわっています。子どもから高齢者までさまざまです。
- サロンも行事も中心部でやっているの、歩いて来たり、歩けない人は民生委員さんと来たり、アクセスはいいですね
- 近所かわからないけれど、車を出してくれる方が何人か乗合で送ってもらっています
- 地域サロンの参加者はリピーターが多く、新規参加者を増やすためにはどうしたらいいのだろうかと悩んでいます。
- リピーターが多いので、新しい人は入りづらい雰囲気があるみたいです。
- 参加している人は、
- イベントをやり、参加者を増やそうと思っているが、どんなイベントをするかについて結論は出いていないんです。
- 地域サロン参加者は後期高齢者、担い手は前期高齢者の方です。前期高齢者の方は、まだ私たちはサロンに行く年代ではないと思っているのか、サークル活動を行っています。
- 後期高齢者の方は、足腰が悪くなるとサロンまで行く足がない。足腰が悪い方に関しては難しいという声が出てます。

⇨地域組織とつながっているか、新規参加者に広げられているか、他の年代とつながっているか

地域のどのような差があるのか？

地域活動への参加者が多く、ルールが少ない

地域活動への参加者が少なく、ルールが多い

【サロンや行事の周知方法】

- 行事やイベントを通じてサロンの内容を知ってサロンに参加している様子です。
- 毎月広報誌を出していて、月ごとにサロンの情報を載せています。
- ホームページも作ったりしています。
- 毎月サロンのチラシを作ってそれを回覧で回しています。
- 地域の行事にふるさと協議会の人に参加して、こんなことしているのか～じゃあ次に参加しようかなと言って参加したりしてます。
- サロンの代表者が地域の行事の紹介をサロン内でしてくれてりして、友だち同士で参加しようと声を掛け合っているみたい
- 周知活動はチラシを貼るくらいですね。貼ってはいるけれど周知はされていない。来る人は口コミが大半ですね。
- カラーで広報誌は出していますが、年三回の発行です。
- 広報を見て参加するのは難しい
- サロンやサークルは、それぞれの組織が広報や掲示板を通じて載せている感じ

【地域の強み】

- 行動力があり、ネットワークを作りが上手
- 関係者を巻き込むのが上手で協力者がどんどん増えていく
- 団結力があり活動が活発でまとまっている
- 一部の地域は元気で団結力がある

⇒情報の発信、情報のつなぎ、異なる活動・組織とのつながりの差

アンケートにご協力ください



-----以下、アンケート回答欄-----

質問1

あなたの氏名を教えてください。

氏名 () ・ 答えたくない

質問2

あなたの性別について、あてはまるところに○を記してください。

男性 ・ 女性 ・ 答えたくない

質問3

あなたの年齢について、あてはまるところに○を記してください。

40代未満 ・ 40代 ・ 50代 ・ 60代 ・ 70代 ・ 80代 ・ 90代以上

質問4

アプリの使い方について、どの程度理解できましたか。
あてはまるところに○を記してください。

よく理解できた ・ まあまあ理解できた ・ あまり理解できなかった ・

まったく理解できなかった

理解できなかった点を具体的に教えてください。

：

質問 5

アプリの中で特に使ってみたい機能はどれですか。
あてはまるところすべてに○を記してください。

個人トーク（1対1） ・ グループトーク ・ 通話 ・

ビデオ通話 ・ 掲示板 ・ カレンダー ・

その他（ ）

質問 6

今後アプリをどのように活用したいと思われませんか。
あてはまるところすべてに○を記してください。

- ・ 地域の困りごとやニーズをキャッチした際の相談
- ・ 外出や社会参加、交流につながる場や活動の情報発信
- ・ オンラインを活用した交流
- ・ 実行委員会の運営にかかわる情報共有
- ・ その他（ ）

具体的にどのように活用したいですか。

また、活用にあたっての疑問・不安などを自由に記載ください。

：

ささえ愛実行委員会の皆様

アンケートにご協力ください



-----以下、アンケート回答欄-----

質問 1

あなたの性別について、あてはまるところに○を記してください。

男性 ・ 女性 ・ 答えたくない

質問 2

あなたの年齢について、あてはまるところに○を記してください。

40代未満 ・ 40代 ・ 50代 ・ 60代 ・ 70代 ・ 80代 ・ 90代以上

質問 3

ご自宅にインターネット回線はありますか。



ある(有線) ・ ある(無線,ワイファイ) ・ ない ・ わからない

★裏面に続きます。

ささえ愛実行委員会の皆様

アンケートにご協力ください



-----以下、アンケート回答欄-----

質問 1

あなたの性別について、あてはまるところに○を記してください。

男性 ・ 女性 ・ 答えたくない

質問 2

あなたの年齢について、あてはまるところに○を記してください。

40代未満 ・ 40代 ・ 50代 ・ 60代 ・ 70代 ・ 80代 ・ 90代以上

質問 3

ご自宅にインターネット回線はありますか。



ある(有線) ・ ある(無線,ワイファイ) ・ ない ・ わからない

★裏面に続きます。

質問4

現在、スマートフォン（アイフォン・アンドロイド）をお使いですか。



使っている ・ 使っていない ・ わからない



使っている場合

質問5

質問5でスマートフォンを「**使っている**」に○をした方にお聞きします。あなたが普段お使いの機能について、あてはまるところすべてに○を記してください。

電話 ・ メール ・ LINE（ライン） ・ カメラ ・ ゲーム ・

その他（ ）

質問6

自宅でも今回のようなオンラインの体操やサロンなどに参加してみたいと思えますか？

参加してみたい ・ 参加したくない ・ わからない

理由（ ）

質問7

あなたの周りに今回のようにオンラインのサロンや体操などの参加に興味を持ちそうな人は何人くらいいますか

（ ）人くらい

質問8

今回の感想をご自由にお聞かせください

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

アンケートにご協力ください



-----以下、アンケート回答欄-----

質問1

あなたの性別について、あてはまるところに○を記してください。

男性 ・ 女性 ・ 答えたくない

質問2

あなたの年齢について、あてはまるところに○を記してください。

40代未満 ・ 40代 ・ 50代 ・ 60代 ・ 70代 ・ 80代 ・ 90代以上

質問3

LINE WORKSでどのような機能を活用されましたか。
あてはまるもの全てに○を記して下さい。

個人トーク（1対1） ・ グループトーク ・ 通話 ・

ビデオ通話 ・ 掲示板 ・ カレンダー ・

その他（ ） ・

活用していない

質問4

LINE WORKSをどのような目的で活用されましたか。
あてはまるもの全てに○を記して下さい。

- ・ 地域の困りごとやニーズをキャッチした際の相談
- ・ 外出や社会参加、交流につながる場や活動の情報発信
- ・ オンラインを活用した交流
- ・ 実行委員会の運営にかかわる情報共有
- ・ その他（ ）
- ・ 活用していない

質問 5

あなたは、今後もLINE WORKSを活用したいと考えますか。
○を記してその理由も教えてください。

活用したい ・ 活用したくない

理由：

質問 6

ささえ愛実行委員会として、今後もLINE WORKSを活用していくべき
と考えますか。○を記してその理由も教えてください。

はい ・ いいえ ・ わからない

理由：

質問 7

今後のささえ愛実行委員会でああなたが「話し合いたいこと」や「してい
きたいこと」について教えてください。

「話し合いたいこと」：

「していきたいこと」：

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

あけぼの町会の皆様

アンケートにご協力ください



-----以下、アンケート回答欄-----

質問 1

あなたの性別について、あてはまるところに○を記してください。

男性 ・ 女性 ・ 答えたくない

質問 2

あなたの年齢について、あてはまるところに○を記してください。

40代未満 ・ 40代 ・ 50代 ・ 60代 ・ 70代 ・ 80代 ・ 90代以上

質問 3

LINE WORKSでどのような機能を活用されましたか。
あてはまるもの全てに○を記して下さい。

個人トーク（1対1） ・ グループトーク ・ 通話 ・

ビデオ通話 ・ 掲示板 ・ カレンダー ・

その他（ ） ・

活用していない

質問 4

LINE WORKSをどのような目的で活用されましたか。
あてはまるもの全てに○を記して下さい。

- ・ 地域の困りごとやニーズをキャッチした際の相談
- ・ 外出や社会参加、交流につながる場や活動の情報発信
- ・ オンラインを活用した交流
- ・ あけぼの町会の運営にかかわる情報共有
- ・ その他（ ）
- ・ 活用していない

★裏面に続きます。

質問 5

あなたは、今後もLINE WORKSを活用したいと考えますか。
○を記してその理由も教えてください。

活用したい ・ 活用したくない

理由：

質問 6

あけぼの町会として、今後もLINE WORKSを活用していくべきと考えますか。○を記してその理由も教えてください。

はい ・ いいえ ・ わからない

理由：

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。